

第二項ヲ以テ定メタル義務ヲ果サシメンカ爲メニ強徴法ヲ行フニ際シ組合長ノ權内ニアル處分ハ第三者ヲシテ代理セシムルヲ得ル(獨逸訴訟法第七十七條第三項)

此ノ代理人ハ第二十二條第二項ノ規則ニ從ヒ組合員ニ對シテ訴訟ヲ起スノ權利アリ凡ソ組合ニ加入スル者ハ其加入以前ニ生シタル組合ノ負債義務ヲモ負擔スヘシ之レニ反對シタル契約アルモ第三者ニ對シテ効力ナキモノトス

第二十五條 組合員ノ債主ハ其權利ヲ満足セシメ或ハ鞏固ニスルカ爲メニ組合ノ財産ニ屬スル物件貸金或ハ權利ニ對シテ請求ノ訴ヲ起スヲ得ス又組合ノ現在スル間ハ組合ノ貸金ト組合ノ負債主ノ貸金トヲ差引勘定スルヲ得ス

第二十六條 前條ノ規則ハ組合員ノ財産ニ對シテ不動産或ハ動産抵當權ヲ有スル債主ニ對シラモ亦適用スヘシ
此ノ債主ノ動産及不動産抵當權ハ組合ノ財産ニ屬スル物件貸金權利或ハ

負債主タル組合員ノ受領スヘキ分前ニ及フ

或ル組合員カ組合財産中ニ合併シタル物件ニ對スル權利ニシテ已ニ其合併以前ヨリ成立シタルモノハ前記ノ規則ノ爲メニ變更スルヲナシ

第二十七條 企業中ニ組込ミタル土地ノ所有主更迭セタル時ハ新地主ハ舊地主ノ代員トシテ組合ニ加入スヘキモノトス

第二十八條 地券臺帳ニ記入シタル土地ニ關スル權利カ第三者ニ對シテ權利上ノ効力ヲ有スルヲ定メタル民法上ノ規則ハ第二十四條乃至第二十七條ニ抵觸スルヲナシ

組合長ノ届出ニ依リ規程中ニ記入シタル土地(第十二條第三項)ハ水組合ニ加入シタル旨ヲ地券臺帳ニ記入スヘシ組合長ハ規程書中ニ其土地ヲ記入シタル日ヨリ起算シテ十四日以内ニ此届出ヲナスヘシ
組合員ノ所有地ニシテ未ダ組合中ニ組込マサリシ土地ヲ新クニ組込ミタル時モ亦此規則ニ依ルヘシ

第二十九條 組合ヲ脱シタル者アレハ組合長ハ其日ヨリ起算シテ十四日

以內ニ組合名簿ヲ取扱フ所ノ裁判所ニ其趣ヲ届出ヘシ
組合員ヨリ届出テタル時ハ水組合ノ名簿ヲ取扱フ所ノ裁判所ハ組合名簿
中ニ脱會ヲ主張スル旨ヲ標記シ之ヲ組合長ニ通知スヘシ此ノ標記ハ組合
長ノ承諾ヲ受ケ或ハ法官ノ裁判ニ依リ正當ノ脱會タルヲ確定スル場合
ニ於テ組合員ノ權利ヲ鞏固ニスルモノナリ

第三十條 脱會シタル組合員ハ其脱會シタル後二ケ年間ハ其脱會ノ時現
在シタル負債ニ對シ他ノ組合員ト同一ナル義務ヲ帶フルモノトス

第三十一條 組合ヲ解散スル場合左ノ如シ

(一)組合規程中ニ定メタル年限ノ經過

(二)組合ノ決議

(三)財産限ノ處分

第三十二條 財産限ノ處分ヲ受ケタルカ爲メニアラスシテ組合ヲ解散ス
ル時ハ十四日以内ニ組合長ヨリ其趣ヲ組合名簿ニ記入セシテ願出テ此
期限内ニ組合ノ廣告ヲ登載スヘキ新聞雜誌ヲ以テ二回廣告ヲナスヘシ

此廣告ヲナシタル後一年以内ニ債主ハ該組合ノ總勘定ノ際請求スヘキモ
ノアルヲ通知スヘシ此通知ヲ怠レハ其財産ノ分配ニ與ルヲ得ス

第三十三條 財産限裁判所ニ於テハ其職務上ニ於テ水組合ニ對シ財産限
處分ヲ開キタル旨ヲ其組合名簿ニ記入スヘシ此際第十二條第十項ノ新聞
雜誌ヲ以テ廣告スルヲ要セス財産限裁判所ニ於テ姓名簿ヲ取扱ハサル時
ハ速カニ財産限裁判所ヨリシテ其姓名簿ヲ取扱フ所ノ裁判所ニ對シ財産
限リノ處分ヲ開キタルヲ姓名簿ニ記入スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第三十四條 財産限リノ爲メニアラスシテ組合ヲ解散シタル後ハ組合
長或ハ組合ノ規程若シハ決議ニ從ヒテ任命シタル者ヲシテ總勘定ノ決
算ヲ行ハシム

第三十五條 決算者等ノ姓名ハ組合長ヨリ又決算者中ノ一名ヲ免除シ或
ハ其權利ヲ取消シタルヲハ殘餘ノ決算者ヨリ十四日以内ニ其姓名簿ヲ取
扱フ所ノ裁判所ニ向ヒテ其旨ヲ姓名簿中ニ記入セシテ請求スヘシ
第三十六條 決算者ヲ任命シ及其一名ヲ退職セシメ或ハ其權利ヲ取消ス

トニ關シ其事實ヲ姓名簿ニ記入シ或ハ第三者ニ於テ之ヲ了知シタル時ハ
第三者ノ意見ニ反對シテ之ヲ行フコトヲ得ヘシ

第三十七條 決算者ハ當務ヲ終了シ解散シタル組合ノ義務ヲ果シ其請求
權アル物ヲ徵集シ組合ノ財産ヲ擧ケテ貨幣ト更換スヘシ決算者ハ法廷或
ハ法廷外ニ於テ組合ノ代理者トナリ組合ニ代リテ差引勘定ヲ爲シ當務ヲ
終結スルカ爲メニ決算者ハ新規ノ事務ヲ行フコトヲ得ヘシ組合ノ規程或ハ
決議ニ從ツテ特ニ定メタル規則ナキハ組合ノ不動産ハ決算者ニ於テ競
賣處分ヲ行フモノトス

第三十八條 決算者(第三十七條)ノ職權ノ範圍ニ制限ヲ設クルモ第三者ニ
對シテ權利上ノ効力ナキモノトス

第三十九條 數名ノ決算者ヲ置キタル場合ニ於テ各自ニ之ヲ處分シ得ヘ
キコトヲ明ラカニ定メサル時ハ總勘定ニ屬スル處分ハ決算者ノ共議シテ施
行シタルモノニ非サレハ權利上ノ効力ナキモノナリ

第四十條 決算者ハ組合員ノ決議ニ基キテ其事務ヲ執行スヘシ若シ之ニ

違背シタルカ爲メニ生シタル損害ハ決算者ヨリ組合員ニ對シ連帶責任ヲ
負フヘシ

第四十一條 組合員中ニ財産ヲ分配スルハ共同負債ヲ消却シタル後タル
ヘシ

未ダ返濟期限ニ至ラサル負債及爭訟中ノ負債ニ對スル金額ハ返濟期限及
爭訟落着ノ日マテ準備シ置クヲ要ス

第四十二條 組合ヲ解散スルモ未ダ決算ヲ了セサル間ハ從前組合員交
互及組合員ト第三者トノ權利ノ關係上ニハ組合規則及本法律ノ規則ヲ適
用ス

組合ヲ解散スル時裁判中ナリシ訴訟ハ決算ヲ了スルマテハ該組合ニ於テ
關係スヘキモノトス
組合ニ渡スヘキモノハ決算者ノ一人ニ之ヲ渡セハ其義務ヲ果セルノ効力
アリ

第四十三條 決算ヲ了シタル後組合ノ書類帳簿ハ保存シ置キ組合員及其

權利ヲ相續スル者ノ望ニ應シテ之ヲ開示シ或ハ貸附スヘシ書類帳簿中ニ
爭點アレハ組合名簿ヲ取扱フ所ノ裁判所ニ於テ之ヲ判定スヘシ

第四十四條 組合名簿ニ記入スルハ無手数料トス

第三章 公設組合

(壹)公設組合總則

第四十五條 公設組合ヲ編成スルニハ公共ノ利便タルヲ證明スルヲ要ス

第四十六條 第六十五條ノ場合ノ外公設組合ニ加入スヘキヲ強促セラ
ル、コトナシ

第四十七條 町村集合体及協會等ノ此ノ組合ニ加入スルニハ政府ノ許可
ヲ得ルヲ要セス世襲不動産所有主カ此ノ組合ニ加入スルニハ内戚ノ許可
ヲ得ルヲ要セス

第四十八條 組合員ノ投票權ハ規程ヲ以テ之ヲ定ム
貳名以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ於テハ一名ニシテ總投票權ノ五分ノ貳
以上ヲ占ルムヲ得ス

第四十九條 公設組合ハ政府ノ監視ヲ受ク政府ハ組合ノ事業施行上能ク
規程及法律ニ違ハサルヤ否ヤヲ監視ス

水路(梓筏ヲ流スヘキモノ)及他ノ舟路ヲ布設シ改良スル組合ノ監視ハ縣廳
ニ於テシ其訴願ヲ呈スヘキ衙門ハ州廳トス其他ノ事業ノ爲メニ設ケタル
組合ノ監視ハ郡區委員會ニ於テシ其訴願ハ縣參事會トス

右等ノ衙門ハ組合ヲ置キタル土地ヲ管轄スル所ノ衙門ナルヘシ

第五十條 若シ組合ニ於テ法律上或ハ規程上負擔スヘキ義務及ヒ出金ヲ
其豫算表中ニ記入セス或ハ臨時ニ之ヲ承諾スルヲ怠リ或ハ拒ム時ハ右
ノ監視廳ハ其理由ヲ具シテ之ヲ豫算表中ニ記入スヘキヲ命シ或ハ臨時
出金額ヲ確定スヘシ

郡區委員會ノ命令或ハ算定ニ對シテ不服アレハ其監視ヲ受クル所ノ組合
ハ二十一日以内ニ行政裁判ノ處分ヲ仰クヲ得ル

第五十一條 組合ニ於テ不動産ヲ却賣シ及公債ヲ起シテ負債額ヲ増加ス
ル時ハ豫メ監視廳ノ認可ヲ經ルヲ要ス

豫メ監視廳ノ認可ヲ得ヘキ他ノ場合ヲモ規程ヲ以テ定メ置クヲ得ル

第五十二條 公設組合ノ財産ハ其負擔義務ヲ有ス

公設組合ノ財産ノミヲ以テ其債主ヲ満足セシムルニ足ラサレハ組合長ニ於テ規程ニ基キテ定メタル損益分配ノ割合ニ應シ不足額ヲ組合員ヨリ出金セシムヘシ

組合ノ負擔ニ對スル出金ハ公ノ負擔ト同一ニ見做スヘシ
企業ニ關係シタル土地ハ其損益分配ノ割合ヲ以テ組合ノ義務ヲ負擔スヘシ不足額ヲ補充スルカ爲メニ此ノ土地ヲ競賣スルヲ得ル

組合中ニ加入シタル土地ヲ分割スルヲアレハ其各部分ノ負擔ノ割合ヲ確定セサルヘカラス

第五十三條 組合ニ附屬スルヲ殊ニ負擔義務ニ關スル爭議アレハ組合長

之ヲ裁判スヘシ此ノ裁判ニ對スル不服アレハ二十一日以内ニ郡區委員會ニ訴フヘシ縣廳ノ監視ヲ受クル所ノ組合ナレハ縣行政裁判所ニ訴フヘシ此ノ控訴ハ組合ノ義務ヲ負擔スヘシトノ前裁判ノ執行ヲシテ控訴ノ裁判

ヲ受クルマテ停止セシムルヲナシ

普通裁判所ニ控訴スルヲ得ル場合ニ於テハ郡區委員會若クハ縣行政裁判所ノ裁判ニ對シ更テニ行政裁判的ノ控訴ヲ爲スヲ許サス

第五十四條 組合長ハ其職權上組合員ニ下シタル命令ヲ實行セシムルカ

爲メニ該組合員ノ費用ヲ以テ執行處分ヲ行ヒ或ハ必要ナル場合ニテ於テ豫告懲戒法ニ據リ三拾馬克以下ノ科料金ヲ命スルヲ得

此ノ科料金ハ組合ノ金庫ニ收ムヘシ

強徴處分ニ對スル訴願不服ハ千八百七十六年六月二十六日ノ法律第三十四條及第三十六條第一項ノ規則ニ從ヒ縣廳ノ監視ヲ受クル組合ナレハ縣行政裁判所ニ他ノ組合ナレハ郡區委員會ニ訴フヘシ

第五十五條 負擔金殘額及第五十四條ニ記載シタル罰金費用ハ行政的ノ

執行處分ニ附スルヲ得

此ノ執行處分ハ組合ニ屬スル土地ノ賃借人及其他ノ使用權ヲ有スル者ニ對シテモ亦之ヲ行フヲ得ル

第五十六條 組合ノ規程中ニハ左ノ事項ヲ記載セサルヘカラス

- (一) 組合ノ名稱及場所
- (二) 共同企業ヲ實行スルノニ關スル組合ノ目的
- (三) 組合員及保證アル繪圖ヲ附シタル企業關係地或ハ其一部分ノ明細書
- (四) 共同工事ノ使用法及維持法
- (五) 組合員ノ負擔スヘキ義務
- (六) 損益負擔及投票權ノ割合
- (七) 土地ヲ分割スル時ニ際シ負擔額ヲ分配スル割合
- (八) 組合長及役員ノ撰擧法及組織役員及其代理人ノ任命法
- (九) 組合員ヲ召集スル場合及其方法
- (十) 總集會ノ決議ヲ要スヘキ事件
- (十一) 仲裁裁判ノ編成法及其裁判ヲ受クヘキ事件
- (十二) 組合ヨリ公告ヲ發スル方法及公告ヲ登錄スヘキ新聞雜誌ノ名稱
- (十三) 組合員入會規約

第五十七條 組合規程及其變更ハ第五十九條第六十八條乃至第七十條ノ

外高等行政官衙ノ組織ヲ變更スルマテハ所轄大臣ノ認可ヲ經ルヲ要ス第六十五條ノ場合ニ於テハ千八百四十三年二月二十八日ノ法律第五十六條及千八百六十七年五月二十八日ノ勅令第一條ニ從フヘシ

第五十八條 組合規程及其變更ハ認可ヲ經タル後官報ニ記載シテ公告セラレヘシ

公告セラレタル組合規程カ効力ヲ得ルノ時ヨリシテ組合ハ成立チタルモノトスヘシ

第五十九條 現在ノ組合ヲ脱スルハ第六十六條第三項第六十八條及第七十條ノ外組合及組合員双方ノ協議ニ依リ監視廳ノ認可ヲ經サルヘカラス監視廳ニ於テハ該組合員ノ債主ノ損益如何ニ注意シテ此ノ認可ヲ與フヘシ第六十條 組合長ハ組合ノ利益上必要ナル場合殊ニ左ノ場合ニ於テハ組合員ヲ召集スヘシ

(一) 組合ノ財産權利ニ屬スル強徵處分ノ無効ニ屬シタル時

(二)組合員三分ノ一以上ヨリ目的ヲ示シテ召集ヲ請求シタル時
若シ組合長ニ於テ右ノ請求後二ヶ月ヲ經ルモ組合員ヲ召集セサル時ハ監
視廳ヨリ組合員ヲ召集スヘシ

第六十一條 左ノ場合ニ於テハ所轄大臣ヨリ組合ノ解散ヲ命スヘシ

(一)組合員僅カニ二名ノミニシテ其一名ヨリ解散ヲ請求スル時

(二)規程ノ認可ヲ經タル時ヨリ起算シテ滿一年ヲ經ルモ企業ヲ實施セス或
ハ既ニ着手シタル事業ヲ一ケ年以上中止シ又組合員ノ負債ノ爲メニ滞
滯ヲ生シ若クハ規程中認可ヲ與フルノ要點トナルヘキモノ變更セラレ
タル時

第六十二條 組合ハ其解散ヲ議決スルヲ得ル

組合ノ解散ハ投票權ノ三分ノ二以上ノ決議ニ由リ所轄大臣ノ認可ヲ得ル
ヲ要ス

第六十三條 組合ノ解散ハ所轄大臣ヨリ組合長ニ指令ヲ下シタルト同時
ニ其効ヲ有スルモノトス

第六十四條 組合ヲ解散シタル後組合長若クハ組合ノ規程或ハ決議ニ從
ヒテ任命スヘキ者ニ於テ總決算ヲ爲スヘシ

(貳)土地改良ノ爲ニスル排水或ハ灌溉組合ニ關スル特則

第六十五條

土地改良ノ爲メニ新クニ排水或ハ灌溉組合ヲ團結スルニ際
リ左ノ場合ニ於テ其企業關係地ノ所有主カ組合ニ加入スルヲ承諾セサ
レハ強制法ヲ以テ之ヲ加入セシムルヲ得

(一)土地ノ改良ヲ以テ企業ノ目的トシテ

(二)異論者ノ所有地内ニ延長スルニアラサレハ此ノ目的ヲ達スルノ便宜ヲ
得ス且ツ

(三)關係地ノ面積及土地ノ純益高ニ依リ計算シテ其多數者カ該企業ヲ賛成
スル時

(三)項ニ掲ケタル可否ヲ決スルニハ該企業ニ關係スル土地ノ所有主ニ限リ
其數ニ加ハルヲ得ルモノトス

該企業ノ爲メニ土地ノ収獲ヲ増加スルノ見込ナシ或ハ右ノ改良ヨリハ寧

口他ノ特別ナル使用ニ供スルヲ以テ反ツテ所有主ノ利益多シト爲スノ場
 合ニ於テハ強制法ヲ以テ此ノ地主ヲ組合ニ加入セシムルヲナシ
 第六十六條 組合ノ負擔ヲ分擔スルコトニ關シテ特約ナキ時ハ其共同企業
 ノ爲メニ生シタル利益ヲ得ルノ割合ニ比例シテ之ヲ組合員ニ分擔セシム
 ヘシ
 排水工事或ハ灌溉工事ヲ實施シタルノ後チ其組合ニ屬スル土地ニシテ毫
 モ其工事ノ利益ヲ蒙ラサル時ハ其所有主ハ此ノ狀況ヲ變セサル間ハ全ク
 其負擔ヲ免除セラレシムルヲ請求シ得ヘシ
 又組合ニ屬スル土地ニシテ該工事ノ爲メニ永ク損害ヲ蒙ルモノアレハ其
 所有主ハ之ヲ組合ヨリ分離セシムルヲ請求シ得ヘシ而シテ該地ハ組合ノ目
 的ヲ達スルニ緊要ナリト見做ス時ハ組合ニ於テ公賣處分法ニ依リテ之ヲ
 買取ルヘシ
 此ノ公賣處分ヲ行フノ必要ナルト否トヲ判定スルハ湧水防禦ノ目的ノ爲
 シニ土地ヲ公賣スルノ時ニ於ケル方法ニ據ルヘシ

第六十七條 組合員ノ投票權ノ關係ニ就キ特約ナキ時ハ組合ノ費用ヲ分
 擔スルノ割合ニ從ヒテ之ヲ定メ且各組合員チシテ少ナクモ一個ノ投票權
 ヲ有セシムヘシ

第六十八條 若シ共同事業中ニ編入スレハ組合ノ目的ヲ達スルコトヲ障礙
 スヘキ土地アレハ假之ヒ其地主ノ意ニ反スルモ組合ニ於テ此土地ヲ分離
 (第五十九條)セシムルヲ請求シ得ヘシ

此ノ分離ヲ請求セラレタル者ハ充分ノ賠償ヲ受クヘシ然レモ共同企業ノ
 爲メニ此ノ地價カ増加スヘシト見積リテ賠償額ヲ計算スルコトヲ得ス

第六十九條 若シ隣地所有主ヨリ其所有地ニ排水或ハ灌溉ヲ行フカ爲メ
 ニ組合ニ加入セシムルヲ請求シ其加入ヲ許スモ從前ノ組合員ノ需用ヲ満足
 セシムルノ憂ナキ時ハ組合ニ於テハ其加入ノ望ニ應スヘキノ義務アリト
 ス斯クシテ新タニ加入シタル組合員ハ該組合ニ對シ相當ナル工業費ヲ拂
 ハサルヘカラス此ノ組合員ハ共同工事ヲ使用スルカ爲メニ生シタル所ノ
 特別ナル費用ヲモ分擔セサルヘカラス

第七十條 第六十六條第二項及第三項第六十八條及第六十九條ノ場合ニ於ケル爭議ハ普通裁判所ノ處分ヲ仰グヘキ時ノ外ハ縣行政裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス

(參)公設組合創立手續

第七十一條 各地主ハ郡(區)委員會ノ命令ニ從ヒ其所有地内ニ於テ公設組合編成ニ必要ナル準備ヲ爲サシムルヲ承諾セサルヘカラス然レモ之レカ爲メニ生シタル損害ハ充分ナル賠償ヲ得ヘシ必要ナル場合ニ於テハ裁判上ニ於テ此賠償額ヲ確定スヘシ損害賠償ヲ保證セシムルカ爲メニ郡(區)委員會ニ於テハ起業ノ準備ヲ爲サシムル以前企業者ヲシテ保證金ヲ納メシメ且其額ヲ定ムルヲ得該地方ノ關係者ヨリ保證金ヲ納メ置クヘキヲ請求スレハ企業者ハ之レニ應スルノ義務アリ

右ノ準備ヲ爲スヲ許セハ郡(區)委員會ニ於テ豫テ其公告ヲ登錄セシムル所ノ新聞雜誌ヲ以テ之ヲ公告スヘシ總テ右ノ準備ヲ爲スニハ企業者ハ其場所ト時日トヲ記載シテ遅クモ二日以前其地ノ戸長ニ届出ツヘシ而シテ

戸長ハ其關係地主ニ特別ノ報知ヲ爲シ或ハ其土地慣例ノ方法ニ據リテ之ヲ公告スヘシ戸長ハ企業者ヲシテ自費ヲ以テ鑑識者ヲ携帯セシメ若シ損害ヲ生シタル場合ニ於テハ直チニ之ヲ鑑定セシムルノ權利アリ其鑑定シタル損害ハ裁判所ノ判定ヲ仰ク時ノ外企業者ヨリ直チニ關係者地主借地人土地管理人ニ賠償スヘシ企業者此ノ賠償ヲ爲サレハ關係者ノ請求ニ由リ戸長ハ該企業者カ復タ其準備ヲ爲スヲ拒ムノ義務アリトス

家屋及垣ヲ繞ラシタル園庭中ニ入ラサルヲ得サルモ其地主ノ承諾ヲ得難キ時ハ企業者ハ其都度地方警察署ノ特許ヲ仰クヘシ地方警察署ニ於テハ其場所ヲ開キテ企業者ノ準備ノ需ニ應スヘキヲ其地主ニ達スヘシ

郡(區)委員會ノ特許ナクシテ建築物ヲ破壊シ及樹木ヲ伐除スルヲ得ス郡(區)委員會ノ決議ニ對シ普通裁判所ニ訴フヘカラサルモノハ二十一日以内ニ縣參事會ニ訴願スヘシ

第七十二條 公設組合ヲ編成スルハ

(一)本法律ノ規則ニ從ヒ其組合員タルヲ得ヘキ地主或ハ組合ノ請求ニ依

リ或ハ

(二)一般ノ公益ニ關スルキハ全企業地或ハ其大部分ヲ管轄スル所ノ縣廳ノ請求ニ依ルヘシ

第七十三條 此請求書ハ全企業地或ハ其大部分ヲ管轄スル所ノ州長ニ提出スヘシ

第七十四條 公設組合編成ノ請求ヲ爲スニ必要ナル材料左ノ如シ

(一)企業ヲ解明スルニ必要ナル圖面及説明書

(二)企業費募集ノ方法

(三)企業ヲ實行スヘキ土地及之ニ接近シタル社會ノ圖面

(四)創立事務費豫集ノ方法

第七十五條 企業者自カラ此必要ナル材料ヲ調製スルヲ得ス或ハ之ヲ欲セサルキハ州長ハ企業者ノ請求ニ從ヒ之レカ委員ヲ任命スヘシ

第七十六條 檢査上其請求ヲ認可スヘカラサルヲ明カナレハ其請求書ハ州長ノ裁決ヲ以テ之ヲ却下スヘシ

第七十七條 之ニ反對シタル場合ニ於テハ州長ハ其創立手續ヲ指揮スヘキ委員ヲ任命スヘシ此委員ハ土地整理事務局ノ職務ヲ帶フルモノトス

凡テ州長ハ請求ノ手續ヲナシ其手續ヲ指揮スルカ爲メニ生スヘキ費用ヲ支辨セシムルカ爲メニ請求者ヲシテ相當ナル保證金ヲ納メシムルコトヲ得

本法律ヲ以テ特定シタル規則ナキキハ關係者ヲ召集スルノ方法ハ土地整理事務上ニ使用スル所ノ規則ニ從フ

第七十八條 該企業按ニシテ關係者總体ノ認承スル所トナレハ該委員ハ組合規程第五十六條ヲ起草シ此ノ規程ニ對シ關係者ノ同意ヲ需メ然ル後ヲ其職務上ノ證明ヲ爲スヘシ委員ハ規程ノ承諾ヲ得ンカ爲メニ關係者ヲ召集スルニ際リ其不在者ハ出頭者ノ決議ニ同意シタルモノト見做スヘキヲ豫メ告知シ置クヘシ

第七十九條 新クニ編成スヘキ組合ノ爲メニ其入會ヲ肯セサル關係地所有主ニ對シ強制法ヲ請求スヘキ時ハ委員ハ其土地ノ面積地券帳ニ載セタ

ル純益金額及其所有主ヲ確定シ該地主及必要ナル場合ニ於テハ鑒定者ヲモ招キ其事業ノ利害故障ノ有無不同意者ニ對シテ強制加入法ヲ行フヘキ法律上ノ成規組合ノ編成法組合規程費用募集ニ關スル企業者ノ申立等總ヘテ緊要ナル諸點ヲ商議シテ關係者ノ贊成ヲ謀ルヘシ

第八十條 第七十九條ノ場合ニ於テハ豫メ期日ヲ定メテ關係者ヲ召集スルキハ其不在者ハ其出頭シタル關係者ノ多數說ニ同意シタルモノト見做サルヘシ

組合編成ノ投票ニ於テハ關係地ノ面積及地券臺帳ニ登記シタル純益額ノ多分ヲ占ムル所有主等ノ同意ヲ得レハ組合ノ編成ヲ可決シタルモノトナス其他ノ投票ニ於テハ總テ土地ノ純益金ノ多數ニ從テ說ノ多少ヲ定ム

第八十一條 組合編成ノ同意ヲ得或ハ第八十條ノ場合ニ於テ多數ノ同意ヲ得タルキハ委員ハ關係者(第八十條ノ場合ニ於テハ其同意者及不同意者)ニ全權委員ヲ撰任スヘキヲ命スヘシ

全權委員撰任ノ目的ヲ以テ關係者ヲ招集シタル時ノ採決法モ亦第八十條

第一項ニ同シ第七十八條ノ場合ニ於テ他ニ特定ノ規則ナキハ唯人員ノ多少ニ從ヒテ說ノ多少ヲ定ム

關係者ノ員數五名以上ナル時ハ全權委員ノ撰定ヲ止ム

第八十二條 委員ニ於テ其事務ヲ完了シタル時ハ所轄大臣ハ其規程ヲ認可スヘキヤ或ハ第五十七條ニ依リ國王ノ勅令ヲ以テ之ヲ許可スヘキヤヲ定ムヘシ

第八十三條 公設組合ヲ編成シタルキハ其監視廳ハ直チニ其組合長及役員ヲ撰定任命スヘキヲ令スヘシ

第八十四條 總ヘテ此委員ノ事務ヲ執行スルコト及裁判所其他官衙ニ於テ行フヘキ事務ニ對シテ手数料及印稅ヲ納ムルヲ要セス現金ヲ以テ支拂ヒタルモノ、ミヲ計算スヘシ請求書ヲ却下セラレ或ハ其却下ヲ請求シタルカ爲メニ國庫ヨリ支辨セラレサル時ハ右ノ現金ハ企業者ニ於テ負擔シ其他ノ場合ニ於テハ組合ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

第八十五條 組合ヲ編成シタル後未ダ委員ノ商議ヲ決了セサル前ニ於テ

企業者ヨリ其企業上必要ナル準備ノ爲メニ適當ニ使用シタル費額ヲ組合ニ負擔セシムヘキヲ請求スレハ所轄大臣ハ組合ニ命シテ之ヲ負擔セシムルヲ得ル

(肆)決算法

第八十六條 組合ヲ解散(第六十一條以下)スル時ハ監視廳ヨリハ其官報ニ登錄シ又組合長ヨリハ組合ノ公告ヲ登錄スルヲ定メタル新聞誌ヲ以テ之ヲ報告スヘシ

組合長ノ廣告中ニハ決算ヲ掌トル者(第六十四條)ノ姓名ヲ掲ケ債主ヲ促カシテ此ノ決算者ノ一名ニ其請求スヘキモノアルヲ報知セシムヘシ此廣告ヲ爲シタル後一ケ年ヲ經ルモ届出テサルモノハ配當中ニ加ヘス

第八十七條 第三十五條乃至第四十二條ノ規則ハ公設組合ノ決算上ニモ亦之ヲ應用ス

第三十五條及第三十六條ニ基キ姓名簿ニ記入セシムルヲ代リニ公設組合ニ於テハ其官報ヲ登錄スルヲ定メタル新聞誌ヲ以テ廣告スル所ノ監

視廳ニ届出ヲ爲スヘシ

第八十八條 決算完了シタル後チハ此解散シタル組合ノ帳簿及書類ハ監視廳ニ於テ保存スヘシ

組合員及其權利ノ相續者ハ此帳簿及書類ヲ閱覽シ及使用スルノ權利アリ
(伍)現在セル組合ニ關スル規則

第八十九條 本法律ヲ實行スルノ日ニ於テ千八百四十三年二月廿八日ノ法律第五十六條乃至第五十九條千八百五十三年五月十一日ノ法律第一章第二章及千八百六十八年五月廿八日ノ敕令ニ依リテ既ニ設立シタル組合ハ本法律ニ於テ公設組合ト見做スヘキモノトス

右ノ如キ組合ニハ第七條第九條第十條第四十七條乃至第五十五條第五十七條乃至第六十四條第六十六條第二項乃至第四項第六十八條乃至第七十條第八十六條乃至第八十八條ノ規則ヲ應用ス而シテ第六十一條第二項ニ定メタル期限ハ此等ノ組合ニ於テハ本法律實行ノ日ヨリ起算スヘシ

第九十條 他ノ規則ニ基キテ設立シタル組合ハ従前ノ規則ニ依ル然レモ

此組合ニシテ第一條ニ示シタル目的ヲ有スル時ハ第七十條乃至第八十五條ノ規則ニ從ヒ本法律ニ所謂ユル公設組合トナスコトヲ得ヘシ

(陸)官衙

第九十一條 官衙ノ命令決議及裁判ニ對スル訴願ハ二十一日以内ニ之ヲ提出スヘシ

本法律ノ規則ニ基キタル訴願ニ對スル州長ノ判決ハ終審ノ裁判トス然レモ本法律ノ規則ニ基キ最初州長ヨリ下シタル命令及判決ニ對スル訴願ハ所轄大臣ニ於テ之ヲ裁判ス

第九十二條 第五十條第五十三條第七十一條及第九十一條ニ載セタル期限ハ決シテ踰ユヘカラサルモノニシテ命令決議及裁判ヲ下スト共ニ其經過ヲ始ム然レモ其當日ハ其内ニ算入セサルモノトス

第九十三條 州長及州長ノ任命シタル委員ハ其場所ニ臨ミテ徵収處分ヲ行ヒ政府ノ指令ヲ乞ヒ證人及鑑定者ヲ招集シ其說ヲ聞取スルノ職權ヲ有ス
第九十四條 州長ハ委員ノ指揮ニ關スル訴願ノ終審裁判ヲ爲スヘシ

第九十五條 ホーヘンツォルレン國ニ於テハ本法律中州長ニ屬スル事務ハ縣令ニ屬ス

第九十六條 土地整理事業ニ聯帶スル所ノ排水及灌漑事業ヲ調理スヘキ土地整理事務局ノ職掌ハ本法律ノ爲メニ變更スルコトナシ

第九十七條 (千八百七十五年六月二十九日ノ州治條例ヲ奉セサル諸州ノ特則ヲ示スモノニシテ反譯スルノ必要ナシ)

第九十八條 本法律ニ於テ行政裁判ノ處分ニ附スヘキ事件(第七十條ニ關シ千八百七十五年七月三日ノ法律ヲ奉セサル地方ニ於テハ縣廳ヲ以テ縣行裁判所ニ代ユヘシ)

裁判法及控訴法ハ千八百七十五年七月三日ノ法律ニ據ル

第四章 罰則

第九十九條 組合長或ハ決算者ニシテ組合員及役員ノ出入(第十七條第十八條第二十九條規程ノ變更(第十九條)組合ノ解散(第三十二條)決算者ノ任免及其職權ノ取消ヲ(第三十五條)第八十七條)届出或ハ通知スルコトヲ怠リ又組

合ノ解散ヲ公告シ第三十二條第八十六條地券基帳ニ記入スルヲ(第二十八條)ヲ延引シタル時ハ百五十馬克以下ノ罰金ニ處ス

第五章 終結

第百條

總テ本法律ニ抵觸スヘキ規則ヲ廢止セシム

第百一條

本法律ハ千八百七十九年十月一日ヨリ實行セシム

朕茲ニ朕カ名ヲ手署シ國璽ヲ鈐セシム

千八百七十九年四月一日伯林ニ於テ

維廉

奉勅

伯爵ツ、ストルベルク

外九名

排水及灌溉

排水及灌溉ニ關スル法律ハ學國舊領諸州ニ於テハ分別シテ之ヲ設ケ新領諸州ニ於テハ一法律ヲ以テ之ヲ定ム此等ノ法律ハ積水面ノ高サニ制限ヲ設ケ流水ニ濱スル地主ヲシテ水流中ノ人爲天然ノ障礙物

ヲ除去スルノ義務ヲ負ハシメ或ル工業ニ對シ之ヲ抗拒シ或ハ賠償ヲ請求スル等ノヲ定ムルモノトス

堤防制度

學國ノ堤防ニ關シテハ舊來區々ノ法律規則アリテ頗ル錯雜ヲ極メタリシカ千八百四十八年一月二十八日ノ堤防條例

堤防條例

天祐ヲ享有シテ學國國王タル朕維廉國務省ノ建議國會及參事院ノ意見ニ由リ現行堤防條例ノ不完全ナルヲ證シタルヲ以テ更ニ王國一般ニ向テ布令セシムルヲ左ノ如シ

(一)堤防組合ニ屬セサル堤防

第一條

一時堤防外ニ漲溢スル洪水ヲ防禦スル所ノ堤防或ハ之ニ類似シ

タル壤土ハ縣廳ノ許可ヲ得ルニ非ラサレハ全溢水區(洪水區トハ洪水ノ時水ノ汎溢スヘキ地方ヲ云フ)

内ニ於テ造築シ移轉シ高築シ或ハ多少之ヲ破壞スルヲ得ス

此禁制ニ違背シタルモノハ當ニ違警罪ヲ以テ罰ハレ五十ターレル以下ノ

罰金ヲ科セラル、ノミナラス必要ナル場合ニ於テハ其土地ノ形狀ヲ從前ノ通りニ復セラル、モノトス

堤防常時ノ損害ヲ防禦スルニハ本法律ノ規則ヲ應用セス

第二條 許可(第一條)ヲ與フル以前縣廳ニ於テ重大ナル事業ナリト認ムル時ハ其關係者ノ故障ノ有無ヲ問フヘシ

關係者ノ不分明ナル場合ニ於テハ縣廳ヨリ故障アル者ハ一定期限内ニ其趣ヲ届出ツヘシ期限後ノ故障ハ採用セサル旨ヲ公告スヘシ

此ノ公告ハ該縣ノ官報ニ二回登錄シ且該町村普通ノ方法ヲ以テ一般ニ通報スヘシ

第三條 縣廳ニ於テ洪水ノ涸落ヲ妨クヘシト認ムル時ハ堤防ノ造築移轉或ハ高築(第一條)ノ許可ヲ與ヘサルヘシ

第四條 多數地主ノ所有地ヲ保護スルカ爲メニ設ケタル在來ノ堤防ノ全體或ハ其一部分陷亡シ或ハ天災ノ爲メニ破壊シタル時ハ縣廳ハ之ヲ從前ノモノト同一ナル高サ及厚サニ修繕スヘキヲ督促スルヲ得

縣廳ハ又此ノ種ノ堤防ニ關シ從前ノ規模ト狀態トヲ維持スルニ必要ナル方法ヲ指定シテ之レニ據ラシムルノ權利アリ

第五條 縣廳ハ堤防ヲ維持シ或ハ修繕スヘキ義務アル者ニ對シ行政上ノ執行處分ヲ行フノ職權ヲ有ス

第六條 堤防ヲ維持シ或ハ修繕スヘキ義務者不明ナルカ或ハ之レカ爲メニ爭議ヲ生シタル時ハ縣廳ハ以前ヨリ之ヲ維持シ來リタル者ヲシテ一時之ヲ負擔セシム之ヲ維持シタル者不分明ナルカ或ハ其負擔ニ堪ヘサル時ハ該堤防ノ爲メニ保護セラル、モノト郡長ニ於テ認ムル所ノ土地ノ所有主ヲシテ之ヲ負擔セシム危急ノ場合ニ臨ミ右等ノ地主ヲ調査スルノ間合ナキ時ハ該町村ノ有籍者ト否トヲ問ハス縣廳ニ於テハ該堤防所轄町村悉皆ノ地主ヲシテ其所有地ノ大小ニ應シテ之ヲ負擔セシム

第七條 右ノ如キ場合(第六條)ニ於テハ縣廳ハ一時其土木ヲ負擔スヘキ者及其負擔配當法ヲ指定スヘシ
右ノ指定ニ對スル訴願ハ大藏大臣ニ差出シテ其裁決ヲ乞フヲ得ヘシ然

レ此ノ訴願ヲ爲スニハ指定セラレタル翌日ヨリ起算シテ四週日内ニ縣廳ニ届出且其説明ヲ受ケサルヘカラス此ノ期日内ニ届出ルモ其説明ヲ得ルヲ能ハサレハ其儘ニテ直チニ大藏大臣ニ訴願スヘシ期日後ニ届出タル事件ハ一切受理セサルモノトス

縣廳ノ議決ハ此等ノ訴願ノ爲メニ其實行ヲ停止スルヲナシ

第八條 一時假リニ堤防ノ維持修繕ヲ負擔セシメラレタル者ハ其正當ノ義務者ニ對シ出金額及負擔ノ代價ヲ賠償センコトヲ法律上ニ於テ請求スルヲ得

第九條 縣廳ヨリ指令サレタル出金額及負擔ハ公ノ負擔類ト同シカラシム

第十條 時々土木ノ負擔ヲ査定セサルヲ得サル場合(第六條及第七條ニ於テハ將來ノ負擔ヲ確定スルカ爲メニ關係者ノ申立ナキモ縣廳ハ堤防組合

(第十一條以下)ヲ組織スルニ必要ナル勸奨ヲナスコトヲ得

精細ノ調査ニ依リ堤防組合ヲ組織スルノ必要ナラサルコトヲ知レハ縣廳ハ

復タ該堤防將來ノ維持法ヲ指示スルノ權利ヲシトス

承諾或ハ裁判ニ依リテ義務者タルヘキモノ確定シ且ツ此義務者ニシテ之ヲ負擔スルノ資力アルトハ更ラニ堤防組合ヲ組織スルヲ勸奨スルヲ要セス

(二)堤防組合

第十一條 公共ノ損害ヲ防禦シ或ハ著シク農業ヲ進捗セシムルカ爲ニ堤防及之ニ附屬シタル防水及土地改良工事ヲ起シ擴張シ或ハ維持スルヲ要スルトキハ均シク洪水ノ損害ヲ蒙ル土地ノ悉皆ノ所有主ハ共同シテ右等ノ工事ヲ起シ且ツ維持スルカ爲ニ國王ノ認可ヲ經テ堤防組合ヲ團結スルコトヲ得ヘシ然レモ之ヲ團結スルノ以前ニ於テ悉皆ノ關係者ノ異議ノ有無ヲ問フヘシ必要ナル場合ニ於テハ第二條ノ方法ニ依リテ之ヲ廣告スヘシ

第十二條 此ノ組合ハ殊ニ次ノ如キ場合ニ於テ組織スルヲ要ス
(イ)未タ堤防ノ設ナキ低地ノ所有主ヲシテ堤防ヲ築キ及土地改良工事ヲ起シ且ツ之ヲ維持スルノ義務ヲ負擔セシメントスル時

(ロ)既ニ堤防ノ設アル低地ノ所有主ヲシテ從前一二ノ關係者ノミヨテ建築シ且ツ維持シ來リタル所ノ堤防及土木ヲ改良シ且ツ維持スヘキ義務ヲ負擔セシメントスル時

(ハ)右ノ如キ堤防及其保護ヲ受クル所ノ地主ヲ現ニ他ニ存スル堤防組合ニ加入セシメントスル時

(ニ)現在ノ堤防組合ニ屬スル堤防及土地改良工事ヲ擴張シテ該堤防組合ニ屬セス又堤防ノ設ナキ土地ニ及ホスヲ要スル時

第十三條 一低所内ニ在リテ其利害ヲ共ニスル所ノ地主等ハ通常堤防組合ヲ結フヲ要ス然レモ其低地ノ一部分ニ限リ著シキ小額ノ費用ヲ以テ其目的ヲ達シ得ルキハ組合ニ加入スルヲ要セス

第十四條 堤防ノ維持上利害ヲ共ニスル多クノ堤防組合ハ國君ノ認可ヲ經テ合併シ或ハ共同シテ其堤防ヲ管理シ又堤防ノ破壊シ或ハ非常ノ災害ニ罹リタル時ニ互ニ扶助スルノ契約ヲ爲スヲ得

第十五條 各堤防組合ハ其規程ヲ調製スヘシ此規程中ニハ次ノ事項ヲ記

載スヘシ

(イ)組合ノ規模

(ロ)堤防義務或ハ土地ヲ保護シ或ハ改良スル工事ヲ起シ且ツ維持スルニ必要ナル費額及負擔

(ハ)組合ノ義務ノ爲メニ制限セララル、地主ノ權利

(ニ)官府ニ委託スヘキ監視權

(ホ)堤防事務局ノ組織權利及義務

(ヘ)堤防組合員或ハ其代理者ノ堤防管理法ニ參與スルノ權利

(ト)堤防ノ効用

第十六條 堤防義務ハ總テ堤防ノ爲メニ保護セラレ或ハ工事ノ爲メニ改良シタル各農地屋敷地等假令ヒ他ノ負擔ヲ免カレ或ハ特權ヲ有スルモノト雖モ規程ヲ以テ定メタル割合ニ從ヒ一般ニ之ヲ負擔セサルヘカラス義務負擔ノ割合ハ通常堤防ノ爲メニ免ル、損害及之レカ爲メニ得ル所ノ利益ノ大小ニ從ヒテ之ヲ定ム特別ナル理由アレハ他ノ分擔法ニ據ルヲ得

將來何等ノ方法ニ據ルモ堤防義務ノ免除ヲ得ヘカラス又經時効ノ爲メニ之ヲ免カル、コトナシ

第十七條

堤防組合員中ニ堤防義務ヲ分擔セシムルコトハ假令從前特別ナル權利上ヨリシテ組合員ノ間ニ他ノ分擔法ノ行ハル、アルカ或ハ至ク他ニ負擔セシムル等ノ約束アルモ必ス第十六條ノ規則ニ基クヘシ
斯ノ如キ場合ニ於テハ其特別ナル權利ヲ有スル者カ堤防組合設立ノ爲メニ賦課セラレタル負擔ハ組合設立以前舊堤防ノ維持或ハ修繕ヲ負擔シタル義務者ニ對シ相當ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

此ノ賠償義務ハ相當ナル代價ヲ以テ解除スルコトヲ得ヘシ

第十八條

堤防組合ニ對シテ負擔スヘキ義務ハ土地ニ附帶セルモノニシテ之ヲ解除スルコト能ハス恰モ公ノ負擔ニ同シニ權衝突ノ場合ニ於テハ堤防義務ヲ以テ他ノ負擔ヨリ重カラシム

第十九條

堤防義務ヲ果サシムルニハ公ノ負擔ニ於ケルカ如ク堤防局ニ於テ行政ノ強徴法ヲ行フコトヲ得ル此ノ強徴法ハ義務地ノ借地人使用人或ハ

他ノ所有主ニ對シテモ亦施行スルコトヲ得ル而シテ彼等ハ更ラニ之ヲ義務本人ヨリ請求スヘシ

第二十條

堤内地及堤外地ノ所有主ハ堤防局ノ命令ニ由リ防水工事或ハ改良工事ニ必要ナル土地ヲ相當代價ニテ堤防組合ニ賣渡シ或ハ右等ノ工事ニ必要ナル材料即砂土糾草等ヲ掘採シ之レカ爲メニ生シタル損害ノ賠償ヲ得レハ之レヲ掘採セシムルノ義務アリトス此ノ賠償金額ヲ算定スルニ際リ價格外ノ代價ハ計算中ニ加ヘサルモノトス

第二十一條

堤外地或ハ川岸堤防共有溝渠及水閘ノ近傍ノ土地ヲ所有シ堤防組合ニ屬セサル者ノ所有權ノ制限モ亦堤防規程ヲ以テ精細ニ定メ置クヘシ

第二十二條

或ル土地ハ第十六條ニ基キ堤防義務ヲ負擔スヘキモノナルヤ否或ハ堤防義務ノ分擔如何ニ關スル爭議ハ堤防局ニ於テ裁決シ裁判所ニ訴ルコトヲ許サス

第二十三條

本法律發布ノ際既ニ存在スル堤防組合ノ規程ハ之レカ爲メニ

効力ヲ失フモノニアラス然レモ必要ナリト見做セハ修正ヲ行フヲ要ス堤防規則ヲ變改シ及之ヲ廢止スルニハ國君ノ許可ヲ經サルヘカラス

(三)通則

第二十四條 縣廳ハ破損ヲ招クヘキ堤防ノ使用ヲ制限シ或ハ全ク之ヲ禁止スルノ權利アリ制限若クハ禁止セラレタル使用權ニ對シテハ堤防義務者ヨリ該權理者ニ賠償ヲ與フヘシ

第二十五條 洪水ニ對シテ低地ヲ保護スルカ爲メニ堤防ヲ維持セサルヘカラサル危急ノ場合ニ臨ミテハ警察署ノ命令ニ從ヒ水害ヲ蒙ルヘキ土地ノ悉皆ノ居住者又必要ナル場合ニ於テハ其近傍ノ居住者ハ無償ニテ防禦ニ必要ナル助力ヲ爲シ器械及舟車ヲ支給セサルヘカラス
斯ノ如キ場合ニ臨メハ警察署ハ必要ナル強徴法ヲ行ヒ水害防禦ニ必要ナル材料アレハ何處カラニテモ之ヲ取來ラシムルヲ得ル而シテ此材料ノ代價及之レカ爲メニ生シタル損害ハ堤防義務者ヨリ之ヲ辨償セシムヘシ然レモ價格外ノ代價ハ計算中ニ加ヘサルモノトス

第二十六條 第二十五條ノ規則ハ堤防組合ノ規定中ニ他ノ約束ナキ時ニ限り組合ニ屬スル堤防ニモ亦應用ス

第二十七條 堤防或ハ土地改良工事ニシテ砲砦ノ用ニ適スルモノヲ建築シ或ハ變更スルニハ砲砦近傍ノ建築及土木ニ關スル千八百二十八年九月十日ノ法律第十二條ニ從フヘシ

第二十八條 總テ本法律ニ抵觸スル普通法典ノ規則就中其第二編第十五章第六十三條乃至第六十五條或ハ各地ノ現行法律ヲ廢止ス
茲ニ朕カ名ヲ署シ國璽ヲ鈐セシム

千八百四十八年一月二十八日

伯林府ニ於テ

非黎德維廉

奉勅

フォン・サフトグニ

以下四名

ヲ以テ殆ント画一ノ制度ヲ布キタリ此ニ堤防ト稱スルモノハ水邊ニ

濱スル土地ノ漲水ヲ防禦スルカ爲メニ設ケタル人工積土ニシテ其内
部ニ集リタル水ヲ排除スヘキ水閘ヲ設ケタルモノナリ水害ハ該地方
一般ニ蒙ルトコロノ損失ナルヲ以テ其關係者ハ夙トニ共同シテ堤防
組合ナルモノヲ設ケタリ堤防組合ニ屬セサル土地ニ新クニ堤防ヲ設
ケ或ハ堤防ノ模様ヲ變更スルニハ縣廳ノ許可ヲ得ルヲ要ス又堤防ノ
破損シタル場合ニ於テハ義務者ヲシテ速カニ之ヲ修築セシム凡ソ公
害ヲ除キ或ハ土地ヲ改良スルニ必要ナル場合ニ於テハ該地方ノ關係
者ハ堤防組合ヲ結ビ堤防ヲ築キ且之ヲ保持スルノ義務アリ堤防義務
ハ解除スヘカラサル負擔ニシテ二權衝突ノ場合ニ於テハ他ノ義務ヨ
リ重キモノトス此ノ如キ組合ハ千八百五十三年十一月十四日ノ堤防
組合準則

帝國堤防組合準則

通則

第一條

堤防組合ハ一種ノ協會ニシテ其裁判管轄ハ堤防規程ヲ以テ之ヲ

定ム

第二條

組合ニ於テ維持スヘキ堤塘溝澮水閘橋梁其他組合ニ屬スル土地
ハ堤防長ブダイヒハツニ於テ其帳簿ヲ調製シ堤防局ニ於テ之ヲ認定ス帳簿中
變更シタル箇條アレハ毎年ノ決算報告ニ際シ堤防局ニ報告スヘシ

第三條

組合ノ土木ヲ維持スヘキ年々ノ常負擔額ハ規程ヲ以テ之ヲ定ム
若シ組合ノ目的ヲ達スルカ爲メニ更テニ多額ヲ要スルコトアル時ハ臨時負
擔額トシテ組合員ヨリ徴収スヘシ殊ニ最初準則ニ基キテ組合ノ土木ヲ修
築スルノ費用ハ此ノ方法ニ據リテ之ヲ徴収ス此ノ費用ノ消却ヲ終ルマテ
ハ年々少ナクモ定負擔額ニ四倍セル金額ヲ徴収スルヲ常トス

第四條

若シ堤防常負擔額ニシテ規則ノ如ク組合ノ目的ニ使用シタル後
餘利ヲ生スルコトアレハ準備金中ニ繰込ニ安全ナル方法ヲ以テ之ヲ利倍ス
準備金額ハ堤防規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ準備金ハ組合ノ常費ニ使用セス
唯左ノ目的ニ限リテ之ヲ使用スルコトヲ得

(イ) 氷塊或ハ洪水ノ爲メニ破損シ或ハ他ノ非常ノ損害ニシテ常收入金ヲ以

濱スル土地ノ漲水ヲ防禦スルカ爲メニ設ケタル人工積土ニシテ其内
部ニ集リタル水ヲ排除スヘキ水閘ヲ設ケタルモノナリ水害ハ該地方
一般ニ蒙ルトコロノ損失ナルヲ以テ其關係者ハ夙トニ共同シテ堤防
組合ナルモノヲ設ケタリ堤防組合ニ屬セサル土地ニ新タニ堤防ヲ設
ケ或ハ堤防ノ模様ヲ變更スルニハ縣廳ノ許可ヲ得ルヲ要ス又堤防ノ
破損シタル場合ニ於テハ義務者ヲシテ速カニ之ヲ修築セシム凡ソ公
害ヲ除キ或ハ土地ヲ改良スルニ必要ナル場合ニ於テハ該地方ノ關係
者ハ堤防組合ヲ結ビ堤防ヲ築キ且之ヲ保持スルノ義務アリ堤防義務
ハ解除スヘカラサル負擔ニシテ二權衝突ノ場合ニ於テハ他ノ義務ヨ
リ重キモノトス此ノ如キ組合ハ千八百五十三年十一月十四日ノ堤防
組合準則

李國堤防組合準則

通則

第一條 堤防組合ハ一種ノ協會ニシテ其裁判管轄ハ堤防規程ヲ以テ之ヲ

定ム

第二條

組合ニ於テ維持スヘキ堤塘溝澮水閘橋梁其他組合ニ屬スル土地
ハ堤防長ダイボウチヤウトシテ於テ其帳簿ヲ調製シ堤防局ニ於テ之ヲ認定ス帳簿中

變更シタル簡條アレハ毎年ノ決算報告ニ際シ堤防局ニ報告スヘシ

第三條

組合ノ土木ヲ維持スヘキ年々ノ常負擔額ハ規程ヲ以テ之ヲ定ム
若シ組合ノ目的ヲ達スルカ爲メニ更テニ多額ヲ要スルヲアル時ハ臨時負

擔額トシテ組合員ヨリ徴収スヘシ殊ニ最初準則ニ基キテ組合ノ土木ヲ修

築スルノ費用ハ此ノ方法ニ據リテ之ヲ徴収ス此ノ費用ノ消却ヲ終ルマテ

ハ年々少ナクモ定負擔額ニ四倍セル金額ヲ徴收スルヲ常トス

第四條

若シ堤防常負擔額ニシテ規則ノ如ク組合ノ目的ニ使用シタル後
餘剰ヲ生スルヲアレハ準備金中ニ繰込ミ安全ナル方法ヲ以テ之ヲ利倍ス

準備金額ハ堤防規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ準備金ハ組合ノ常費ニ使用セス

唯左ノ目的ニ限リテ之ヲ使用スルヲ得

(イ)氷塊或ハ洪水ノ爲メニ破損シ或ハ他ノ非常ノ損害ニシテ常收入金ヲ以

テ支辨スルヲ能ハサル堤防ヲ修繕スルヲ

(ロ)在來ノ排水開ヲ改築スルヲ

(ハ)土地改良工事ヲ施行スルヲ

第五條 堤防ノ常負擔額ノ餘剩準備金ノ定額ニ超過スルニ至レハ常負擔額ヲ減殺スヘシ

第六條 行政ノ執行處分ヲ煩ハサ、ルカ爲メニ堤防組合員ハ其都度沙汰ヲ待タズ常負擔額ヲ折半シ毎年一月二日及七月一日ノ二期ニ堤防金庫ニ納ムヘシ臨時負擔額モ亦同様堤防長ノ指定スル期日ニ之ヲ納ムヘシ

第七條 堤防費ノ負擔ハ其他ノ堤防義務ト同シク土地ニ附帶シタル負擔ニシテ決シテ解除スヘカラサルモノトス此ノ負擔ハ公ノ負擔ト同視スヘキモノニシテ二權衝突ノ場合ニ於テハ他ノ負擔義務ヨリ重カラシム堤防義務ヲ果サシムルカ爲メニ堤防長ハ他ノ公ノ負擔額ニ於ルカ如ク強微處分ヲ行フヲ得

強微處分ハ負擔義務ヲ有スル土地ノ賃借人使用人或ハ他ノ所有主ニ對シ

テモ亦之ヲ施行スルヲ得此ノ場合ニ於テハ彼等ハ義務本人ヨリ其賠償ヲ請求スルヲ得ヘシ

土地所有主ノ更迭シタル場合ニ於テハ其更迭シタル旨ヲ届出堤防地籍ノ修正ヲ請求シ修正ヲ得ルマテハ尙ホ従前ノ地主ヲ以テ義務者ト見做スヘシ

土地ヲ分割スルニ際シテハ各部分ノ割合ニ應ジテ其堤防負擔義務ヲ定ムヘシ最小部分ト雖モ毎年ノ最小負擔額一片以上ナルヘシ

第八條 土地ヲ分割シ及地主ノ更迭シタル時ノ外左ノ場合ニ於テハ何時ニテモ堤防地籍ノ修正ヲ請求スルヲ得

(イ)堤防地籍ヲ編成スルノ基礎ト爲シタル測量ニ五歩以上ノ違算アルヲ明了ナル時

(ロ)堤防事務上ノ目的ヨリシテ堤防移轉ノ必要ヲ來タシ是レカ爲メニ従前ノ堤内地堤防外ニ出ツルカ或ハ従前ノ堤外地堤防内ニ入りシ時
(ハ)堤防内ノ土地組合ノ共有地トナリシ時

(三)堤防破壊ノ爲メニ堤内地深ク掘レ窪ニ或ハ砂ヲ蒙リテ其収獲従前ノ半ニ達セズ且之ヲ回復スルニハ非常ノ費用ヲ要スル時
右ノ理由ヨリシテ堤防地籍ノ修正ヲ請求スル時ハ堤防局ニ於テ其常否ヲ裁定ス

第九條 第八條ノ場合ニアラスシテ堤防地籍ノ誤謬及農業法ノ變更土地ノ收獲ノ増減ノ爲メニ普通事務年度内ニ堤防地籍ノ修正ヲ請求スルコトヲ得ス然レモ非常ニ土地ノ變更シタル時ハ地方警察署ハ該地主ノ届出ニ由リ堤防局ノ意見ヲ問ヒタル後其修正ヲ命スヘシ
十ヶ年ヲ經過シタル時ハ縣廳ニ於テハ堤防局ノ請求ニ由リ堤防地籍ノ改正ヲ命スルコトヲ得此ノ改正ノ方法ハ最初ニ之ヲ編成シタル方法ニ同シ

堤防負擔ノ免除及延期

第十條 堤防負擔ノ免除及延期ノ請求ハ堤防局ニ於テ之ヲ許否スヘシ
第十一條 堤防ノ破壊シタルカ爲メニ掘レ窪ニ或ハ砂ヲ蒙リタル土地ノ所有主ハ第八條ニ從ヒ堤防負擔ノ變更ヲ請求シ其請求ヲ許否セラルハマ

テハ總テ堤防破壊後ノ負擔ノ延期ヲ請求スルコトヲ得ヘシ此ノ請求ノ裁決ヲ得クル時ハ新定ノ負擔額ヲ納ムヘシ此ノ負擔額ハ其期限後二ヶ年即チ四期ニ之ヲ納メシム必要ナル場合ニ於テハ行政上ノ強徴法ヲ施行スルコトヲ得ル

第十二條 被害地所有主ヨリ堤防地籍修正ノ請求ヲ提出セサル時ハ被害者ハ一ヶ年乃至五ヶ年間其被害地ノ常負擔額ノ免除及臨時負擔額ノ延期ヲ得ヘシ此ノ被害地ノ掘レ窪ニ或ハ砂ヲ蒙リタルカ爲メニ之ヲ修繕スルノ費用ト土地ノ純益額トヲ比較シ堤防局ニ於テ一ヶ年乃至五ヶ年間ノ免除或ハ延期ヲ與フヘシ而シテ此納金殘額ハ其期限後二ヶ年即四期ニ之ヲ納メシム必要ナル場合ニ於テハ行政ノ強徴法ヲ行フコトヲ得

物品供給義務

第十三條 氷塊漂流ノ期近キニ迫リ或ハ洪水堤足ヲ浸タス時ハ其危險ノ退去スル迄ハ組合ノ堤防ハ絶ヘズ防禦者ヲ備ヘ置カサルヘカラス堤防ノ防禦ニ必要ナル役夫ハ堤防長ニ於テ之ヲ備入レ堤防金庫ヨリ其費用ヲ拂

ヒ或ハ其關係地方ヨリ之ヲ徵集スヘシ

第十四條 水塊漂流或ハ洪水暴漲ノ爲メニ堤防危急ヲ告ケ堤防長ニ於テ其備入レタル僅々ノ役夫ニテハ之ヲ防禦スルニ困難ナリト思考スレハ組合員ハ堤防長ノ指揮ニ應ジ堤防ノ守護ニ必要ナル役夫舟車及馬上使丁ヲ派遣シ防禦ニ必要ナル材料ヲ調達スルノ義務アリ

堤防長ハ危急ノ場合ニ接スレハ其必要ナル材料ヲ隨所ヨリ取來ラシムルノ權利アリ而シテ此等ノ材料ノ代價及之レカ爲メニ生シタル損害ノ賠償ハ堤防義務者ニ於テ負擔スヘシ然レモ格外ノ代價ハ其中ニ算入セス

第十五條 堤防長ハ堤防中守護防禦スヘキ要所ハ豫ネテ石或ハ杭ヲ以テ之ヲ標示シ置キ堤防官吏ノ職權ヲ侵サ、ル様注意シ水防夫ヲ指揮シテ臨時危急ノ場合ヲ防禦セシムルヲ得

堤防長ハ水塊漂流或ハ洪水ノ期節ニ先ヲ豫メ堤防々禦ノ材料ヲ準備シ置クヲ得

第十六條 板繩及杭ノ代價ハ堤防金庫ヨリ仕拂フヘシ他ノ材料(腐糞糞程

及勞力ハ各地ノ堤防負擔額ニ應ジ成ルヘシ組合員ニ於テ之ヲ負擔スヘシ防禦ノ材料ハ堤防組合ノ財産ニ歸ス

最モ危急ナル場合ニ於テハ堤防長ノ請求ニ應ジ其危險ニ迫リタル地方ニ住シテ苟モ勞働スルヲ得ル男子ハ悉ク無報酬ニテ防禦ニ盡力セサルヘカラス其地ノ警察署ニ於テハ千八百四十八年一月二十八日ノ堤防條例第二十五條ニ基キ堤防長ノ請求ニ由リ速カニ其指揮スル所ニ從フヘキ旨ヲ嚴達スヘシ

柔弱病身ナル者婦女子及十六歳未満ノ兒童ハ堤防々禦ニ召集シ或ハ送附スルヲ得ス堤防々禦者ハ各一挺ノ鋤ト一柄ノ小斧トヲ携ルヲ要ス手車大斧提燈等ノ要具ニシテ組合ノ倉庫ニ具ヘタルモノ、外該町村及其地主ヨリ支給セサルヘカラス

第十七條 召集セラレタル防禦者ハ堤防官吏或ハ其代理者ヨリ解散ヲ命ゼラル、マテハ能ク該官吏ノ指揮ニ從フヘシ防禦者及役夫ニシテ堤防官吏ノ指揮ニ從ハス或ハ之レニ抗拒シタル時ハ法律上特ニ重キ罪科ニ處ス

ルノ定メナキモノハ五シルベルグロツシエン以上三ターレル以下ノ罰金
或ハ之レニ相當セル禁錮ニ處ス

召集ニ應ゼス或ハ縦マ、ニ防禦スヘキ場所ヲ立去リテ其勞ヲ免レント欲
シタル者ハ五ターレルノ罰金ヲ科シ或ハ之ニ相當セル禁錮ニ處ス

防禦ニ必要ナル材料ヲ供給セス或ハ其不充分ナル供給ヲナシ又舟車使丁
ヲ出サ、リシ者ハ堤防金庫ニ次ノ科料金ヲ納ムヘシ

(一) 厩糞壹「ターデル」「ターデル」ハル
四石五斗ナリ 五ターレル

(二) 藪稈壹束 六「シルベルグロツシエン」

(三) 舟壹艘或ハ車一輛 五ターレル

(四) 馬上使丁壹名 三ターレル

(五) 厩糞及藪稈ノ醜惡ナルモノヲ供シ或ハ不充分ナリシトキハ以上ノ科
料金ノ半額ヲ納メシム

此ノ他右ノ義務ヲ怠リタル者ハ其負擔スヘキ材料ノ費用ヲ追徴セラルヘ
シ

土地所有權ノ制限

第十八條 在來ノ堤防ノ維持法ヲ或ル組合ニテ引受ケタル時ハ其堤防ノ

所有權ト使用權トハ組合ニ歸ス然レハ堤防局ハ其近隣ノ地主ニシテ其堤
防ノ維持及保護ニ任シ無代價ニテ修繕用ノ土砂ヲ供給スル者ニハ堤防上
ニ牧草ヲ栽培スルヲ得セシム

生牆樹木及灌木ハ堤防上ニ在ルヲ許サス堤防内ニ圍ミタル私有堤防ハ
従前其附屬シタル關係者ノ所有ニ歸ス

第十九條 堤内地ニハ左ノ制限規則ヲ設ク

(イ) 堤防ノ内部ニ接シタル土地ハ堤足ヲ距ルヲ三尺以内ハ耕作シ樹木ヲ植
付ケ又牧草ヲ培養スルヲ得ス

(ロ) 堤防ノ内足ヲ距ルヲ二百尺以内ノ土地ニ於テ石、砂土、泥炭ヲ採掘シ池、井、
溝渠等ヲ設クルヲ得ス又五十尺以内ノ土地ニ新タニ家屋ヲ建築スヘ
キ爲メニ礎石ヲ置クヲ得ス

(ハ) 本溝ノ兩岸二尺ノ土地ハ耕作ヲナシ及家畜ヲ放牧スルヲ禁スヘシ

(二)新ノ如キ溝渠ノ兩岸三尺以内ノ土地ニハ樹木ヲ植ヘ或ハ生垣ヲ設クルヲ得ス

(ホ)本溝渠ニ接シタル土地ノ所有主ハ其浚渫ノ際其地上ニ泥土ヲ堆積スルヲ許サ、ル可ラス此泥土ハ該地主ノ所有ニ歸スト雖モ浚渫後四週日以内又收納以前ナレハ收納後四週日以内ニ溝渠ヲ距ルル十尺以上ノ場所ニ之ヲ移カ、ルヘカラス特別ナル理由アレハ堤防長ハ其延期ヲ許スヲ得ル

(ニ)堤防長ノ許可ヲ經スシテ堤内ノ卑濕地ニ堤防及橫堤防ヲ建築シ或ハ變更スルヲ得ス

第二十條 堤外地ニハ次ノ制限規則ヲ設ク

(イ)總テ堤外地ノ所有主ハ水涯ヲ距ルル百尺以内ノ土地ニ於テ組合ノ材料ヲ積置クニ必要ナル場所アレハ之ヲ賃附シ又此等ノ材料ヲ運搬スルヲ許シ之レカ爲メニ報酬ヲ求ムルヲ得ス堤足ヲ距ルル十尺以内ノ土地ハ堤外地ニ於テモ亦耕作シ或ハ糾草ヲ剝取ルヲ得ス

(ロ)堤外地ニ翼堤ヲ築キ樹木ヲ植ヘ及其他ノ工事ヨシテ水流警察ニ於テ洪水ノ涸落及氷塊ノ漂流ヲ妨クヘシト見做セハ之ヲ置クヲ許サス

(ハ)沙磧、楊柳其他ノ雜木ヲ植ヘテ河床ノ不規則ヲ生スルノ恐レアル時ハ水流警察ヨリ之ヲ禁スヘシ

第十九條及第二十條ノ規則ニ觸レタル例外ノ許可ハ其都度縣廳ノ認承ヲ得テ堤防長ヨリ之ヲ與フヘシ

第二十一條 堤内地及堤外地ノ所有主ハ堤防長ノ指揮ニ從ヒ防禦及土地改良工事に必要ナル土地ヲ組合ニ賣渡スヘキ義務アリ右等ノ工事に必要ナル材料、砂土、糾草等ヲ堀取ルヲアレハ之カ爲メニ生シタル損害ノ賠償ヲ得ヘシ元ト堤防タリシ所ヨリ此等ノ材料ヲ採集スルコトハ其所有主ニ賠償ヲ與フルヲナシ

第二十二條 水害或ハ堤防ヲ距ルル百尺以内ニ堤外地ニ樹木ヲ植ユルヲ必要トスルコトハ其地主ハ堤防長ノ命令ニ從ヒ一定時間内ニ自カラ之ヲ植ユルカ或ハ賠償ヲ得テ其必要ナル土地ヲ組合ニ賣渡スヘシ

第二十三條 第二十一條及第二十二條ノ賠償金額ヲ定ムルニ際リテハ格外ノ代價ハ計算中ニ加ヘス

此金額ハ所有主ヲ立合シメ堤防局ニ於テ之ヲ算定シ或ハ緊急ナル場合ニ於テハ堤防局ノ許可ヲ得テ堤防長ニ於テ之ヲ確定シ且ツ之ヲ仕拂フヘシ賠償金額確定ノ通知ヲ得タル後ヲ四週日以内ハ其不服ノ裁判ヲ仰クヲ得ヘシ

裁判ヲ仰クヲ好マサルモノハ同期限内ニ縣廳ニ訴願スルヲ得ヘシ材料ヲ採集シ及工事ヲ施行スルコトハ賠償額ニ對スル抗拒ヲ爲メニ停止スルコトナシ

官署ノ監督

第二十四條 堤防組合ハ政府ノ監督ヲ受クヘシ

地方警察署ヲ以テ該縣ノ監視廳トナシ農務省ヲ以テ高等監視廳トナス其他町村役所ニ委任シタル監督アリ

縣廳ハ其他ノ規程ヲ遵奉シ工事維持法其當ヲ得組合ノ土地使用法及負債

消却法各其宜シキニ適フヤ否ヤニ注意スヘシ

縣廳ハ堤防局及堤防長ノ決議ニ對スル訴願ニシテ裁判所ノ判決ヲ乞フ可カラサルモノヲ裁定シ必要ナル場合ニ於テハ執行處分ヲ行フヘシ

右等ノ決議ニ對スル訴願ハ其通知ヲ受ケタル後ヲ左ノ期限内ニ呈出スヘシ

(イ)堤防長ヨリ申渡シタル組合下等役員ノ處罰ニ對スル訴願ハ十日以内

(ロ)臨時負擔額常負擔額ノ免除及其他賠償ニ關スル決議ノ訴願ハ四週日以内

此訴願ハ縣廳或ハ堤防長ニ差出スヘシ堤防長ハ之ニ其意見書ヲ附シ速カニ縣廳ニ進達スヘシ

其他ノ訴願ニ對シテハ一定ノ期限ナシ

第二十五條 縣廳ヲシテ堤防管理法ノ得失ヲ知ラシメシカ爲メ毎年歲計豫算法堤防一覽表堤防局會議錄及堤防金庫ノ決算ヲ縣廳ニ差出スヘシ縣廳ハ堤防金庫ノ臨時調査ヲナサシメ堤防檢査及堤防局ノ會議ニ委員ヲ派

出シ事務章程ヲ指定シ千八百五十年三月十一日ノ法律ニ基キ堤防、溝渠、植
 物其他組合ノ工事ヲ保護スルニ必要ナル警察規則ヲ發布スルノ權利アリ
 第二十六條 水害ニ際シテハ其地ノ郡長及縣廳ヨリ派遣シタル委員ハ其
 見込ミヲ以テ必要ナル防禦法ヲ行ハシムルノ權利アリ猶豫スヘカラサル
 ノ場合ニ臨メハ其場所ニ於テ自カラ必要ナル命令ヲ下スヲ得ヘシ堤防
 官吏ハ悉ク此命令ニ從ハサルヘカラス

第二十七條 若シ堤防局ニ於テ其規程或ハ其他ノ法律上ニ定メタル組合
 ノ負擔ヲ歲計豫算表中ニ記載シ或ハ臨時ニ其許可ヲ得ヘキヲ怠リ或ハ
 拒ムキハ縣廳ハ堤防局ノ意見ヲ聽キタル後テ其職權ヲ以テ豫算表中ニ記
 入セシメ或ハ臨時ノ出金額ヲ確定シテ其徵集ヲ命スヘシ
 此命令ニ對シテ堤防局ハ十日以内ニ農務大臣ニ訴願スルヲ得

第二十八條 縣廳ハ堤防官吏ヲシテ其成規ノ俸給ヲ得セシムルヲ注意
 スヘシ若シ之ニ對スル訴願アレハ之ヲ裁決スヘシ然レモ之レカ爲メニ法
 廷ノ裁判ヲ受クルモ亦妨ケナシ

堤防事務局

(一) 堤防長

第二十九條 堤防長ハ堤防事務局ノ首位ヲ占メ其土地ノ堤防警察ヲ掌理
 ス堤防長ハ堤防組合員ヲ代表スヘキ堤防局員中ヨリ投票ノ多數ニ由リ六
 ケ年滿期ヲ以テ撰舉スルモノトス
 此ノ撰舉ハ縣廳ノ證認ヲ要ス縣廳ニ於テ之ヲ證認スルヲ拒メハ堤防局
 ニ於テハ之ヲ改撰スヘシ改撰スルモ尙ホ證認ヲ得ス或ハ被撰者ニ於テ其
 撰舉ニ應セサル時ハ多クモ三ケ年ノ滿期ヲ以テ縣廳ヨリ之ヲ任命スヘシ
 同一ナル方法ニ據リ同時ニ堤防長ノ代理者ヲ撰舉スヘシ此ノ代理者ハ堤
 防長ノ久シク其職ヲ執ルヲ能ハサル時ニ其職務ヲ代理スルモノトス
 個々ノ場合ニ於テハ堤防長ハ堤防監察或ハ堤防局ノ他ノ役員ヲシテ其職
 務ヲ代理セシムルヲ得ル
 堤防長及其代理者ハ堤防局ノ公會ニ於テ縣廳ノ委員ヨリ誓約ヲ爲サシメ
 ラルヘシ

堤防長ハ堤防監督堤防局ノ役員及他ノ堤防官吏ニ對シ堤防局ノ常集會ニ於テ拍手ノ誓約ヲ爲サシムルノ義務アリ

第三十條 堤防長ハ堤防組合ノ事務官トシテ左ノ事務ヲ掌理ス

- (イ)法律勅令及所轄官署ノ決議ヲ實施スルコト
- (ロ)堤防局ノ議事ヲ準備シ及其決議ヲ實行スルコト
- 堤防局ノ決議ニシテ法律ニ違背シ或ハ公衆ノ不利益ナリト思考スレハ堤防長ハ縣廳ノ裁定ヲ乞ヒ事宜ニ依リテハ堤防局ノ次回ノ會議ニ於テ其再審熟議ヲ遂ケンコトヲ試ムルコト
- (ハ)堤防組合ノ土地及收得ヲ管理シ歲計豫算表或ハ特別ナル堤防局ノ決議ニ基キタル收支ヲ指示シ會計ヲ監視シ堤防局ニ報知シテ會計檢査ヲ執行スルコト
- 堤防局ニ於テハ此ノ檢査ノ立合トシテ一名若クハ數名ノ委員ヲ派遣スヘシ
- 臨時會計檢査ニハ其都度堤防局ヨリ特定委員ヲ派遣ス
- (ニ)裁判事件其他總テ組合外ニ對シテ組合ノ代理者ト爲リ組合ノ名義ヲ以テ官署及私人ト商議シ文書ヲ往復シ組合ノ證書類ヲ調製スルコト

リ仕出ス證書類ニハ必ス堤防長若クハ其代理者ニ於テ署名スヘシ然レモ金額五十「タール」ノ契約或ハ勘定ヲ爲スニハ堤防局ノ認可ヲ受クヘシ金額五十「タール」以下ノ契約或ハ勘定ハ堤防長之ヲ斷行シ後ニ之ヲ堤防局ニ報知スヘシ

(ホ)組合ノ證書及書類ヲ貯藏スルコト

(ヘ)堤防名簿及堤防局ノ決議ニ基キ堤防負擔トシテ差出シタル金員及物品ヲ書留メ堤防地籍ニ基キ諸負擔ノ割合ヲ定メ怠納者ノ負擔金及罰金ヲ徵集スルコト

組合ノ下等役員或ハ普通地方警察署ノ手ヲ經テ執行處分ヲ行フコト及負擔ノ割合ヲ定メラレハ(堤防名簿)之ヲ實行スル十四日以前ヨリ之ヲ公告スルヲ要ス

(ト)堤防事務ノ實地ヲ檢査スルカ爲メニ堤防監督ト協議シ毎年五月及十月ノ二回ニ堤防及溝渠ヲ見分スルコト

其實見シタル事物及之レニ關スル決議ハ實見簿ニ記録スヘシ

(チ)毎歴年度ノ終末ニ堤防事務成績ノ年報ヲ堤防局ニ差出ス

等三十一條 歲計豫算表及決算表ハ堤防會計員ニ於テ調製シ毎年五月十五日以前ニ堤防長ノ檢閲ニ供ス堤防長ハ之レニ其意見ヲ附シ六月ノ集會ノ節堤防局ニ提出シテ其認定ヲ請フヘシ

歲計豫算表ハ此ノ認定前十四日間又決算表ハ認定後十四日間堤防局ニ於テ指定スル場所ニ於テ堤防組合員ノ縦覽ニ供スヘシ

堤防長ハ總テ堤防金庫ニ向ケタル拂込手形ヲ處理ス堤防監督ハ其委任セラレタル金額以内ノ拂出手形ヲ仕出シ後テニ堤防長ニ報告スヘシ

第三十二條 堤防地籍ハ堤防局或ハ縣廳ノ裁定ノ寫本ヲ添ヘタル堤防長ノ命令書ニ基カサレハ之ヲ修正スルヲ得ス

第三十三條 下等役員第四十三條ニ對シ堤防長ハ科料金三「タ」以下ノ懲戒處分ヲ命シ必要ナル場合ニ於テハ一時其職務ノ執行ヲ停止セシムルヲ得

第三十四條 堤防長ハ堤防警察ノ違警罪ニ對シ千八百五十二年五月十四日ノ法律ニ基キ假リニ五「タ」以下ノ科料或ハ三日以内ノ拘留ヲ命スル

ヲ得ル

警察裁判官ノ參與スルヲナシ堤防長ノミニテ命シタル科料金ハ堤防金庫ニ納ムヘシ

第三十五條 堤防長ハ堤防局ノ議長ニシテ投票權ヲ有シ會員ヲ召集シ會議ヲ開閉シ議事ノ秩序ヲ整理スルノ任ヲ帶フ

(二)堤防監督

第三十六條 堤防監督ハ堤防組合ノ實業洪水及氷塊漂流ノ防禦ニ必要ナル方法ヲ掌理ス堤防監督タルヘキ者ハ免許建築師ノ資格ヲ有セサルヘカラス其撰舉及任命法ハ堤防長ノ撰舉及任命法ニ同シ

第三十七條 堤防監督ハ組合ノ工事ヲ起シ或ハ其土木ヲ維持スヘキ原案ヲ草シ堤防長ノ檢閲ニ供シ且堤防局ノ認可ヲ受クヘシ
新タニ堤防及水閘ヲ建築シ堤防ヲ高築シ除却シ其破壊シタル損所ヲ修繕スヘキ計策ハ縣廳ノ認可ヲ仰クヘシ

第三十八條 堤防監督ニ於テ之ヲ放棄シ若シハ猶豫スレハ組合ノ目的ヲ

害スヘシト見做ス所ノ工事ニシテ堤防局ニ於テ之ヲ認可スルコト拒ム時ハ堤防監督ハ縣廳ノ認可ヲ請ヒテ之ヲ實行スルコト得ル

第三十九條 堤防局或ハ縣廳ニ於テ可決シタル工事ノ實行ハ堤防監督ニ於テ之ヲ擔任スヘシ

堤防溝渠水閘水岸及樹木ニ關スル通常ノ監視及維持法ハ堤防ノ指揮ニ從ハシム

下等役員堤防部長看守者及防禦者ハ水害防禦ニ際シ逐一堤防監督ノ揮指ニ從フヘシ

歲計豫算表中ノ維持費及認可ヲ受ケタル費額ハ事務ノ簡便ヲ謀リ堤防長ヨリ堤防監督ニ委任スルコト得

堤防監督ハ何等ノ場合ニ於テモ自カラ金錢ノ仕拂ヲ爲スコトナシ
堤防監督ハ每半年ノ堤防檢閲ニ立會フヘシ

第四十條 豫メ知了セサル臨時ノ工事ニシテ之ヲ遅延スレハ組合ノ目的ヲ害スヘキ危急ノ場合ニ接スレハ堤防監督ハ自カラ責任ヲ帶ヒテ該工事

ヲ斷行スルノ義務ト權利トヲ有ス此ノ場合ニ於テハ堤防監督ハ其命令シタル工事及其急速ヲ要スル理由ヲ具シテ堤防長ニ報告スヘシ

堤防長之レニ同意ヲ表セサレハ縣廳ニ報告スヘシ
堤防局ノ次回ノ集會ニモ亦此ノ報告ヲ爲スヘシ

右ノ工事ノ費用ニシテ堤防金庫ノ常收入ヲ以テ支辨スルコト能ハサル巨額ニ登リタル時ハ速カニ堤防局ノ臨時集會ヲ開キ事實ヲ報告シ臨時費ノ徵収法ヲ議定スヘシ

(三)堤防會計員

第四十一條 堤防會計員ハ堤防書記ヲ兼任スルコト得何時ニテモ免職セシムルコト得ヘキ約束ヲ以テ堤防局ヨリ任命シ堤防負擔定額ノ歩合ヲ以テ給料トス會計員ハ身元保證金ヲ納ムルヲ要ス

第四十二條 堤防會計員ハ堤防金庫及堤防地籍ヲ掌理ス
堤防會計員ノ要務左ノ如シ

(イ)堤防長ノ命令ニ從ヒ歲計豫算表ヲ調製スルコト

(ロ)堤防金庫悉皆ノ收入金ヲ収メ未納金目錄ヲ製シ堤防長ニ開示スルヲ
 (ハ)歲計豫算表及堤防長ノ命令ニ從ヒ常費及臨時費ノ仕拂ヲ爲スル現場ニ
 於テ備夫ノ賃銀ヲ拂渡スル此ノ場合ニ於テハ堤防長ノ認可ヲ受ケ堤防
 部長ヲシテ之ヲ代理セシムルヲ得

(ニ)堤防金庫ノ年計ヲ施行スルヲ

(ホ)堤防長ノ命令第三十二條ニ從ヒ堤防地籍ヲ修正スルヲ

(ヘ)堤防書記ヲ兼スル時ハ庶務及記録ニ從事シ堤防檢視及集會ノ記事ヲ調
 製スルヲ

(四)下等役員

第四十三條 工夫堤防溝渠水閘及組合地ノ特別看守ヲ司トル所ノ下等役
 員ハ堤防局ノ同意ヲ得堤防長之ヲ撰任ス堤防局ハ下等役員ノ員數職務章
 程ヲ定メ且此等ノ役員ハ何時ニテモ免職スルヲ得ヘキカ或ハ一定年限
 ヲ期シテ任スヘキカ或ハ終身之ヲ任スヘキカヲ定ム

第四十四條 此ノ職ニ就カシムヘキ人物ハ充分ナル實地ノ知識ト熟練ト

ヲ有スルヲニ關シテ堤防監督ノ保證ヲ得身體強壯ニシ普通ノ教育ヲ受ケ
 報告書ヲ製シ單一ナル談話ヲ筆記シ通常ノ賃銀算ヲ爲シ得ル者タルヘシ

(五)堤防部長

第四十五條 堤防長ハ堤防局ノ同意ヲ得テ堤防ヲ數監視區ニ別ツ各監視
 區ニ堤防部長二名ヲ置ク堤防部長ハ堤防局ニ於テ堤防組合員中ヨリ六ヶ
 年滿期ヲ以テ撰任シ堤防長之ヲ認證ス堤防長及堤防監督ヲ除クノ外堤防
 局員ハ總テ堤防部長ニ任セラル、ヲ得ル堤防部長ハ堤防長ノ機關ニシ
 テ其命令ニ從ヒ其擔任地方ノ堤防事務ヲ助成スルモノトス

第四十六條 堤防部長ハ常ニ其擔當區内ニ於ケル堤防其他組合ノ工事ヲ
 看守シ區内及隣區内ノ組合及溝渠檢閲ニ立會ヒ區内堤防ノ欠點組合員ノ
 請求及訴願ヲ堤防長或ハ堤防監督ニ進達シ堤防長及堤防監督ノ命ニ從ヒ
 簡單ナル檢査及商議ヲ爲シ現場ニ於テ下等役員及工夫ヲ監督スヘシ
 備夫ノ賃銀ヲ仕拂フ時ハ「ターレル」毎ニ六片ノ手數料ヲ得ヘシ

第四十七條 水塊漂流或ハ洪水ノ危害頗ル大ニシテ堤防ノ保護材料ノ採

集ヲ要スル時ハ堤防部長ハ堤防監督ノ命令ニ從ヒ其擔當區内ニ於テ防禦者及組合員ノ助成ヲ命シ必要ナル材料ヲ徵收シ堤防々禦法ヲ監督スヘシ

(六)堤防局

第四十八條

堤防局ハ悉皆ノ組合事件ヲ裁定シ堤防長或ハ堤防監督以下ニ通知ス堤防局ノ裁定ハ組合ニ義務ヲ負ハシムルノ効力ヲ有ス此ノ裁定ハ堤防長ニ於テ之ヲ執行ス

堤防局ノ役員ハ毫モ其撰學者及撰學區ノ委囑及委任ニ束縛セラレサルヘシ

堤防局ハ堤防事務ヲ監督ス故ニ其裁定シタル事件ノ實行組合收入ノ使用上ニ關シテ證明ヲ求ムルノ權利アリ此ノ目的ヲ達スルカ爲メニ證書類ヲ閱覽シ局員中ヨリ委員ヲ撰任スルヲ得

第四十九條

堤防局ハ次ノ役員ヲ以テ組織ス

(イ)堤防長或ハ其代理者(議長)

(ロ)組合監督

(ハ)堤防員總代

堤防規程ヲ以テ組合員總代ノ員數及其撰學及任命法ヲ定ム

第五十條

堤防局ハ毎年二回即六月初旬及十一月初旬ニ常會ヲ開ク

必要ナル場合ニ於テハ議長ヨリ臨時會ヲ召集スルヲ得役員四分ノ一以上ノ請求アル時モ亦臨時會ヲ開クヲ得ヘシ

第五十一條

此ノ召集ノ方法ハ其都度堤防局ニ於テ之ヲ定ムヘシ會議ヲ開カントスル時ハ至急ヲ要スル場合ノ外ハ少ナクモ七日以前ニ議題ヲ通知セサルヘカラス

第五十二條

堤防局ノ決議ハ議長ヲ加ヘテ役員ノ半數以上ノ同意ニ由ル同一ノ問題ニ關シ役員ヲ召集スルヲ三回ニ及フモ出席者ノ數不足ナレハ半數以下ノ說ヲ以テ決定スルヲ得第二回及第三回ノ集會ニ際シ出席員ノ數ニ不足アレハ半數以下ノ多數說ニ從ヒテ決定スヘキ旨ヲ告知スヘシ

第五十三條

決議ハ投票權ノ多數ニ從フ各役員ハ通常同等ノ投票權ヲ有ス可否同數ナレハ議長之ヲ決ス

第五十四條 堤防組合ノ權利義務ニ關シ組合ト反對ノ利害ヲ有スル者ハ其商議ニ與カルヲ得ス右ノ如キ關係者多キカ爲メニ議決權ヲ有スヘキ會議ヲ開クヲ能ハサル時ハ堤防長ニ於テ又堤防長モ右ノ如キ關係ヲ有スレハ縣廳ニ於テ組合ノ利益ヲ保護スルヲ注意スヘシ必要ナル場合ニ於テハ特別ナル議長代理ヲ撰任スルヲアルヘシ

第五十五條 堤防局ノ決議及出席シタル役員ノ姓名ハ特別ノ帳簿ニ記載シ置クヘシ

此ノ帳簿ニハ議長及少ナクモ三名ノ役員連署スヘシ三名ノ役員ニ代ユルニ堤防局ニ於テ撰任シ誓約ヲ爲シタル錄事ヲ以テスルヲ得

第五十六條 堤防局ニ於テ議定スヘキ要領左ノ如シ

- (イ) 組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル或ハ利益アル工事、築造ノ計畫及必要ナル費用、臨時負擔額及組合公債
- (ロ) 堤埝地籍ノ修正
- (ハ) 堤防負擔金ノ免除及延期

- (ニ) 物品及助力ノ分擔
 - (ホ) 分離シタル土地及徵收物品ノ賠償
 - (ヘ) 堤防役員ノ事務章程
 - (ト) 堤防長、堤防長代理、堤防監督、堤防會計員及堤防部長ノ撰擧及下等役員ノ員數
 - (チ) 堤防組合ノ役員ニ給與スヘキ給料、滿年賜金報酬及現金仕拂手数料ノ歩合
 - (リ) 堤防組合ノ土地及其他ノ財産ノ使用
 - (ヌ) 堤防金庫ノ歲計豫算及計算法
 - (ル) 五十「ク」レ「ル」以上ノ契約及ヒ勘定
- 第五十七條 縣廳ノ認可ヲ要スル者左ノ如シ
- (イ) 新ニ組合ノ公裁ヲ起スヘキ決議此際縣廳ハ利子及ヒ元金ノ消却法ニ注意スヘシ
 - (ロ) 新ニ堤防及ヒ水閘ヲ建築スヘキ計畫、堤防ヲ高築シ移轉シ或ハ除却スル

7 及ヒ堤防ノ破損所ヲ修繕スルヲ

(ハ)組合ノ土地ヲ賣却スルヲ

(ニ)堤防長及堤防監督ノ慰勞金ヲ定ムルヲ

堤防局ニ於テ不得止事實アリテ充分ナル俸給及ヒ慰勞金ヲ與フルヲ能ハサルキハ縣廳ヨリ之ヲ補助スルヲアルヘシ

第五十八條 堤防局中ニ在ル組合員ノ總代ハ年々其堤防及ヒ溝渠ノ檢閲ニ立合フヘキニ名ノ委員ヲ撰フヘシ然レモ各總代ハ此檢閲ニ參與スルヲ得ヘシ

組合員總代ハ堤防局ノ會議ノ外組合堤防ノ利益ニ注意シ下等役員ヲ監督シ發見シタル缺點及ヒ其區内ノ組合員ノ志願ヲ堤防長或ハ堤防局ニ開陳スルノ權利義務ヲ有ス

第五十九條 此一般ノ規則ハ其規程中此法律ニ基キテ設置シタル旨ヲ明瞭ニ記載シタル堤防組合ニ限リテ之ヲ適用スルモノトス

ニ基キテ組織スルモノトス堤防ヲ保持スルカ爲メニ其危險ナル場合

ニ於テハ該地方ノ人民ハ之カ防禦ヲ扶助スルノ義務ヲ帶フ凡ソ堤防規則ニ違背スルモノハ獨逸刑法第三百二十一條第三百二十六條及第三百六十條ノ罪科ニ處ス

獨逸刑法中堤防ニ關スル規則

第三百二十一條 凡ソ引水、樋門、堰堤、橋梁、水路、坑業等ノ用ニ供スル土木ヲ

破壊シ工夫ノ出入河流運河ノ通航ヲ妨礙シ人ノ生命及健康ヲ危シタル

モノハ三ヶ月以上ノ禁錮ニ處ス

右ノ行爲ノ爲メニ重傷ヲ被ラシメタル者ハ五ヶ年以下ノ徒刑ニ處シ死ニ至ラシメタル者ハ五ヶ年以上ノ徒刑ニ處ス

第三百二十五條 第三百二十一條乃至第三百二十五條ノ行爲ニシテ全ク過失ニ出タルモノハ一ヶ年以下ノ禁錮ニ處ス人ヲ死ニ至ラシメタル者ハ一ヶ月以上三ヶ年以下ノ禁錮ニ處ス

第三百六十條 左ノ罪ニ觸レタルモノハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ課シ或ハ拘留ニ處ス

第十項 避難若クハ公衆ノ危害困難ノ急ニ臨ミ敢テ自己ノ危害ヲ招ク
トナキニ警察官或ハ其代理者ノ命ニ應シテ救助ノヲ扶ケカリシ者
森林養護

森林繁茂スレハ氣中及地中ノ濕氣平等ニ配布シ山嶽ノ崩壊ヲ除キ雪崩ヲ防クヲ以テ土砂山腹ノ地ニ流出シ洪水平地ヲ没スルノ患ナシ故ニ森林ハ特ニ木材ヲ産スルノミナラス大ニ土地ヲ保護スルモノナリ然ルニ森林ナルモノハ面積廣シテ營業費多キノミナラス數十年ノ星霜ヲ經サレハ伐木スルヲ得ス故ニ小地主ノ力ニハ及ハサルヲ多ク現在ノ樹木ヲ維持セシムルヲ易カラストス
右ノ理由ナルヲ以テ森林ニ關スル施政上ノ問題ハ農業ニ比スレハ實ニ多シトス然ルニ近世人民ノ經濟ニハ無限ノ自由ヲ許シ毫モ政府ヨリ干涉スヘカラストハ原則ヲ偏信シタルヨリシテ森林上必用ナル政務ヲモ暫ク置キテ問ハサリシ事アリシ此故ニ民間ニ於テハ多ク森林ヲ濫伐シ且其土地ヲ不經濟的ニ分割シタルモノ少カラス今ヤ政府前

論ノ非ナルヲ悟リ森林蒼鬱ノ古ニ回復セシメントナシ勉ム
森林ヲ別テ官林及民林ノ二種トス千八百八十三年ノ調査ニ依ルニ
幸國ノ森林ハ八百萬ヘクタール(一ヘクタールハ一町歩ナリ)ニシテ其總面積ノ二割三分三厘三毛トス是レ凡ソ歐洲諸國ノ中等ニ位スルモノナリ瑞典及露國ハ其總面積ノ三割九步巴丁ハ三割七步瓦敦堡ハ三割七步巴威里ハ三割三歩ヘンハ三割一步エルサッス、ロトリゲン及境國ハ三割
匈牙利ハ二割二步伊國ハ二割二步瑞西ハ壹割九步白耳義及佛國ハ一割五步西班牙ハ九步荷蘭ハ六步丁抹ハ四步英國ハ三步ナリ又幸國ノ森林ノ貳割九步五厘ハ政府ニ屬シ壹割六步九厘ハ町村ニ屬シ五割三歩六厘ハ民有トス
官林ハ直接ニ政府ニ於テ之ヲ管理シ特ニ之ヲ維持スルノミナラス勉メテ之レヲ培植スルモノナリ斯官林ノ廣大ナルカ爲メニ政府ハ種々ノ機關ヲ置ク此等ノ機關ハ他ノ森林所有者ヲモ亦益スルモノナリ政府ハ濫伐ノ弊ヲ防シカ爲メニ町村病院學校等ニ附屬スル森林ハ政府

ヨリ特別ノ監視ヲ爲シ此ノ如キ森林地ヲ分割スルヲ制限シ凡ソ森林トシテ使用シ難キ分部或ハ之ヲ他ノ目的ニ使用スレハ森林ト爲シ置クヨリ多額ノ利益ヲ永遠ニ期スヘキ時ニ限り其分割ヲ許スモノトス

其他近時ノ法律ニシテ保護林及山林組合ニ關スルモノ多シ千八百七十五年七月六日及千八百七十八年二月二十五日ノ法律ノ如キ是レナリ

保護林ハ土砂流出、河岸崩潰、氷塊漂流、河水減少及暴風等ノ爲メニ其近傍若クハ一地方ノ被ルヘキ損害ヲ防禦スルカ爲メニ設クルモノナリ此ノ如キ森林ヲ種植シ及伐木スルニハ關係者或ハ地方組合ノ請求ニ由リ地方警察署ノ監視ヲ受クルヲ得ル若シ保護林ヲ設クルカ爲メニ損失ヲ被リタル者アレハ保護林ヲ設クルヲ請求シタル關係者ノ利益ノ大小ニ應シテ之ヲ賠償セムルヲアリ此ノ金額ヲ算定シ且當否ヲ判斷スルニハ森林保護裁判所ト稱スル郡委員會ニ於テ特別ナル

規則ニ從ヒテ之ヲ行フ

森林ノ土地甚ク分裂シテ適當ナル經濟法ヲ行フヲ能ハサルカ或ハ森林ノ保護上不便多キ地方ニ於テハ地主ノ多數說ニ從ヒ森林組合ヲ設クルヲ得ヘシ說ノ多少ハ投票權ノ大小ニ從ヒ投票權ノ大小ハ所有地價ノ多少ニ由ル此組合ヲ解クヲ及共有森林ノ樹木ヲ分配スルヲモ亦多數說ニ從フ森林組合ハ法人ノ資格ヲ有ス該組合ヲ設クルニハ森林保護裁判所ノ認承ヲ受ケ政府ノ監視ヲ受クヘシ以上森林ニ關スル法律ハ尙ホ少シク繁雜ヲ免レサル所アルヲ以テ未タ完全ナリトスルヲ得サレヒ之ヲ從前ノ放任主義ニ比スレハ森林回復ノ第一着トシテ見ルヘキモノナリ千八百八十年迄ニ保護林ヲ設ケタルヲ捨ケ所ニシテ其面積五百三〇〇〇ナリシ又二十二ノ森林組合ヲ結ビ其面積ハ二十八〇〇〇ナリシ

森林制度ニ關シテハ尙ホ繰述スヘキモノ多シト雖モ曩キニ武井山林局長ノ精細ナル調査アルヘキヲ以テ今之レヲ贅セズ

(四) 圃場及森林警察

圃場及森林ニ關スル犯罪ハ動モスレハ出來易キモノニシテ通常瑣些ノ者多シ故ニ其罪ヲ問フモ亦他ニ異ル所ナカルヘカラス加フルニ其罪ノ有無輕重ヲ探究スルモ亦容易ナラス故ニ普通ノ刑法及治罪法ノ規則ヲ酌量シテ其罪ノ有無輕重ヲ定メ私權上適當ナル賠償ヲ得セシムルヲ容易ニスルノ必要ヲ告クルニ至レリ是圃場及森林警察規則

李國圃林警察規則

天祐ヲ享有シテ李滬生國王タル朕維廉國會兩院ノ贊同ヲ得テ王國全版圖ニ布令セシムルコト左ノ如シ

第一章 罰則

第一條 本法律中犯罪ヲ以テ論スル行爲ニシテ特別ノ規則ヲ設ケザルモノハ刑法ノ規則ニ從フ

第二條 此ノ法律ノ違犯ニ對シ刑ノ酌量上重キニ從テ論スヘキモノ左ノ如

(一) 日曜日及祭日或ハ日没ヨリ日出ノ間ニ於ケル犯罪

(二) 犯罪者ニシテ其ノ罪ヲ隱蔽スヘキ手段ヲ施シタル時

(三) 犯罪者ニシテ圃場看守者森林看守者其他主任官吏被害者及抵當權利者ニ對シ自己ノ姓名住所ヲ告クルコトヲ拒ミ或ハ自己若シクハ助手ノ姓名住所ヲ偽詐シ或ハ前記ノ人物ヨリ呼掛ケラレタル時其處ニ止マラス逃走セントシ或ハ逃走シタル時

(四) 犯罪者ニシテ其ノ犯罪用ニ供スル器械或ハ携帯シタル兵器ヲ渡スコトヲ拒ミタル時

(五) 三名以上合同シテ犯罪ヲ爲シタル時

(六) 犯罪再犯ニ涉ル時

第三條 茲ニ再犯(第二條ノ(六)ト稱スルハ此法律ニ基キ罪ニ處スヘキ行爲ニ對シ李國內ニ於テ裁判所或ハ警察署ノ處刑ヲ蒙リタル者ニシテ二ヶ年以内ニ同一ノ所行若シクハ類似ノ所行ヲ爲スコトヲ云フ

類似ノ所行トハ左ノ如シ

(一)同條ノ犯罪或ハ一條中ニ多クノ行爲ヲ擧ケタル時ハ該條中ノ諸行爲
(二)竊取及竊取ノ未遂共犯、裨保及隱匿

第四條 犯罪者十二歳以上十八歳以下ナル時ハ其罪ヲ輕減スヘキ刑法第
五十七條第三項ノ規則ハ此ノ法律ニ對スル犯罪ニ適用セス

第五條 他人ノ監督ヲ受ケ或ハ他人ニ使役セラレ或ハ其家眷ニシテ罰金
賠償第六十八條及費用ヲ納ムルノ資力ナキ場合ニ於テハ其ノ父兄雇主等
ハ之ヲ辨償スルノ義務アリ而シテ此ノ義務ハ父兄雇主カ此ノ法律或ハ刑
法第三百六十一條第九項ニ從テ其罪ヲ論セラルト否トニ關係ナシ其ノ
犯罪ヲ爲スコトヲ知ラス或ハ之ヲ止ムルコト能ハサリシコト明確ナレハ
此ノ義務ヲ帶シムルノ限リニアラス

犯罪者未ダ滿十二歳ニ至ラサレハ前文ノ義務者ハ其ノ罰金賠償及費用ニ
對シテ直接ノ義務ヲ負ハシメラル犯罪者十二歳以上十八歳以下ト雖其ノ
犯罪ノ行爲タルコトヲ識別スルノ知識ナク或ハ其知覺ヲ失フタル情態ノ

爲メニ其ノ罪ヲ問ハレサル場合ニ於テモ亦然リ前文ノ義務者ニ對シテハ
罰金ニ代ルニ自由罪ヲ以テスルコトナシ(自由罪トハ懲役、禁錮、拘留等ノ如ク
自由ヲ剝奪セラルル、處刑ヲ云フ)

第六條 竊取及竊取ヲ裨保シ又隱匿シ其他法律ニ背キ故意ヲ以テ他ニ損
害ヲ蒙ラシメ刑法第三百三十三條及之ヲ裨保シタルコトニ關シ此ノ法律ノ
規則ヲ適用スルハ其贓物或ハ被害物ノ代價十馬克ニ超ヘサル時ニ限ル

第七條 此ノ法律ニ從ヒテ處罰スヘキ竊取或ハ故意ヲ以テ他人ノ物ヲ損
害スルコトニ合力シタル者ハ其違犯ノ充分ナル罪科ニ處セラレ

第八條 竊取ノ未遂犯、裨補及隱匿其他此法律ニ於テ有罪ト定メ且ツ故意
ヲ以テ他人ノ物ヲ障害スルコトヲ裨補シタル者ハ竊取及故意ノ損害ニ關ス
ル十分ノ罪科ニ處ス

刑法第二百五十七條第二項及第三項ノ規則ヲ適用ス

第九條 刑法第二百二十三條ノ場合ヲ除クノ外權利ナクシテ他人ノ土地ニ
侵入シ權利者ヨリ退去ヲ促スモ退去セサル時ハ十馬克以下ノ罰金或ハ三
日以内ノ拘留ニ處ス其犯罪者ヲ探究スルハ唯他ノ告訴ニ依ル

第十條 刑法第三百六十八條第九項ヲ除クノ外權利ナクシテ他人ノ所有地中ニ乘馬シ荷車或ハ乘車ヲ引入レ家畜ヲ逐込ミ材木ヲ運轉シ犁ヲ使用シ及既ニ耕作ノ準備ヲ爲シタル圃場ニ踏込ミタル者ハ十馬克以下ノ罰金ヲ課シ或ハ三日以内ノ拘留ニ處ス唯權利者ノ請求ニ依リテ其罪ヲ問フモノトス

此地先ニ通スル所ノ公道ノ性質疎惡ナルカ或ハ他ニ障礙アリテ止テ得ス實際其土地ヲ通過セサルヲ得サル時ハ無罪トス

第十一條 籬牆ヲ周ラシタル地外ニ家畜ヲ放テ其必要ナル看守或ハ保約ヲ欠キタル者ハ十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ三日以内ノ拘留ニ處ス此ノ規則ハ警察署規則ヲ以テ變更スルコトヲ得ヘシ然レモ前項ノ罪ヨリ重キニ處スルコトヲ得ス

第十三條 夜間ニ放牧シ特個若シクハ共同シテ放牧スルコトハ警察規則ヲ以テ之ヲ整理ス

第十四條 權利ナクシテ他人ノ地内ニ家畜ヲ放牧スルモノハ五十馬克以下ノ罰金ニ處シ十四日以内ノ拘留ニ處ス

ス

第十五條 左ノ土地ニ於テ牧場罪第十四條ヲ犯シタルモノハ五馬克ヨリ少ナカラス百五十馬克ヨリ多カラサル罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

(一) 揭示標ヲ以テ立入ルコトヲ禁シタル土地

(二) 土地ノ周圍ニ籬牆ヲ設クルノ義務及習慣ナキ地方ニ於テ周圍ニ籬牆ヲ設ケタル土地

放牧スルコトヲ得サル土地ノ境界内ニ家畜ノ侵入スルモ其看守ノ責任ヲ帶フル者之ヲ防遏シ能ハサリシコト明了ナラサル時ハ其ノ罪ヲ問ハス

土地ノ周圍ニ籬牆ヲ設クルノ義務ヲ負ハシメ或ハ習慣上籬牆ヲ設クル地方ニハ此ノ第二項ノ規則ヲ適用セス

第十條 刑法第三百六十八條第九項ヲ除クノ外權利ナクシテ他人ノ所有地中ニ乘馬シ荷車或ハ乘車ヲ引入レ家畜ヲ逐込ミ材木ヲ運轉シ犁ヲ使用シ及既ニ耕作ノ準備ヲ爲シタル圃場ニ踏込ミタル者ハ十馬克以下ノ罰金ヲ課シ或ハ三日以内ノ拘留ニ處ス唯權利者ノ請求ニ依リテ其罪ヲ問フモノトス

(三)所有主ト雖モ未タ家畜ヲ放牧セサル堤塘

(四)耕作シタル圃場或ハ秣場庭園苗木畑葡萄園葎生地柳生垣溝渠ノ岸地苗木ヲ植付ケタル森林及森林用苗木畑

(五)森林中ニ馬或ハ山羊ヲ放牧スルコト

第十六條 牧場犯罪ノ爲メニ法律上有效ナル處刑ヲ受ケタル牧者ハ其處刑申渡ノ日ヨリ起算シテ十四日以内ニ其雇主ヨリ解雇セラレ可シ

第十七條 左ノ罪ヲ犯シタル者ハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

(一)法律ニ基キ家畜ヲ引當トシテ取押スルコト(第七十七條)ヲ拒ミ或ハ拒マンコト試ミタル者

(二)刑法第百十三條及第百十七條ノ場合ノ外家畜ヲ引當トシテ取押ユル權利ヲ有スル者カ其ノ權利ヲ執行スルコト(第七十七條)ニ對シ暴威暴力ヲ以テ抵抗シ或ハ之ヲ防禦スル者

(三)刑法第百三十七條及第二百八十九條ノ場合ヲ除クノ外權利上引當ニ取

ラレタルモノヲ猥リニ取返ヌ者

(四)權利ナキコトヲ知リテ他人ノ物件ヲ引當トシテ取押ユル者

第十八條 各種ノ庭園葡萄園菓樹園苗木畑圃場秣場牧場道路溝渠等ニ生シタル菓實穀實其他ノ生産物ヲ竊取シタルモノハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

刑法第三百七十條第六項ニ適スルモノハ被害者ノ告訴ニ依リテ其罪ヲ糾スモノトス

第十九條 第十八條ニ從ヒテ罰ス可キ竊取ニシテ左ノ事情アルモノハ五馬克乃至百五十馬克ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

(一)多量ノ物件ヲ持去ニ適當ナル器械車或ハ牛馬ヲ使用シタル者

(二)斧鋸鉈鋤或ハ之ニ類似シタル器械ヲ使用シタル者

(三)周圍ノ籬牆等ヲ越ヘテ其中ニ入りタル者

(四)家長或ハ雇主ニ對シテ之ヲ行ヒタル者

(五)油松樹脂樹液樹根樹皮或ハ萌芽ヲ竊取シ森林盜ヲ以テ論ス可カラサル

モノ

第二十條 第十八條ニ從ヒ罰スヘキ犯罪ニシテ左ノ事情アルモノハ禁錮ニ處ス

(一)兵器ヲ携帯シタルモノ

(二)周圍ノ籬牆ヲ破リ其ノ中ニ入りタル者

(三)合鍵或ハ普通ノ開閉ニ用サル他ノ器械ヲ以テ圍地ノ入口ヲ開キタル者

(四)森林盜ヲ以テ論ス可カラサル犯罪ニシテ立木菓木或ハ裝飾灌木ヲ盜タル者

(五)看守者カ其ノ看守ヲ委托カレタル土地ニ於テ爲シタル時

宥恕スヘキ事情アレハ五馬克ヨリ少ナカラス三百馬克ヨリ多カラサル罰金ニ代ルヲ得ヘシ

第廿一條 左ノ罪ヲ犯シタル者ハ一週日以上一ケ年以下ノ禁錮ニ處ス

(一)犯罪者ノ竊取第三犯以上ナル時

(二)贓物ヲ隠匿スルヲ以テ常ノ業ト爲ス者

第二十二條 竊取犯第十八條乃至第廿一條ニハ刑法第二百四十七條ノ規則ヲ適用ス

第二十三條

第十八條乃至第二十一條ノ場合ニ於テハ罰金ヲ科シ或ハ自由罪ニ處スルノ外犯罪者カ携帯シタル兵器(第二十條)ハ該犯罪者ノ所有物ナルト否トヲ問ハス之ヲ沒収ス

右ノ場合ニ於テハ犯罪ヲ爲スニ適當シタル器械ニシテ犯罪者ノ携帯シタルモノハ其所有物ナルト否トヲ問ハス之ヲ沒収ス犯罪者カ携帯シタル家畜ト贓物ノ運搬用ニ供スヘキ器具トハ沒収セス

第二十四條 第十八條及第三十條ノ場合ノ外權利ヲシテ左ノ事ヲ行ヒタル者ハ拾馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ三日以内ノ拘留ニ處ス

(一)界畔、道路、牧場及溝渠ニ生シタル草或ハ他ノ牧草類ヲ芟取リ或ハ拔取ル者

(二)樹木灌木或ハ生垣ノ葉ヲ摘ミ或ハ枝ヲ折リテ損害ヲ致シタル者
右ハ被害者ノ告訴ニ由リテ其罪ヲ問フモノトス

第二十五條 權利ナクシテ左ノ事ヲ行ヒタル者ハ三十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ一週日以内ノ拘留ニ處ス

(一)圃場、秣場、牧場、庭園、菓樹園或ハ葡萄園ニ入リテ肥苴トナルヘキモノヲ採集スル者

(二)獸骨ヲ掘出シ或ハ之ヲ蒐集スル者

(三)收穫後ニ殘留シタルモノヲ採收スル者

第二十六條 權利ナクシテ左ノ事ヲ行ヒタル者ハ五十馬克以下ノ罰金ニ處シ十四日以内ノ拘留ニ處ス

(一)刑法第三百六十六條第七項ノ場合ノ外石、玻璃及陶器ノ缺砂、礫、塵埃ヲ他人ノ所有地ニ投棄シ或ハ積置ク事

(二)麻布洗濯物或ハ之ニ類似シタル物品ヲ漂泊シ乾燥スル等ノ目的ヲ以テ地上ニ張り或ハ敷ク事

(三)斃死シタル動物ヲ放置シ斂埋シ及投棄スル事

(四)蜜蜂巢ヲ設置スル事

第二十七條 權利ナクシテ左ノ行爲アリシ者ハ五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ十四日以内ノ拘留ニ處ス

(一)千八百七十四年五月三十日漁業律第五十條第七項ノ場合ノ外亞麻或ハ大麻ヲ浸製スル事

(二)水中ニ毛皮ヲ浸シ或ハ洗ヒ及綿羊ヲ洗フ事

(三)刑法第三百六十六條第十項ノ場合ノ外水ヲ汚濁シ或ハ他ニ水ノ使用ヲ困難ニシ或ハ妨礙スル事

第二十八條 權利ナクシテ左ノ罪ヲ犯シタルモノハ五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ十四日以内ノ拘留ニ處ス

(一)圃場ニ殘シ置キタル他人ノ器具ヲ使用シタル者

(二)籬牆ヲ以テ圍繞シタル土地ニ通スル道路及入口ノ鎖鑰ヲ開キ或ハ放開スル事

(三)他人ノ所有地内ニ溝渠ヲ布設スルコト

第二十九條 刑法第三百六十七條第十二條ノ場合ノ外官衙ノ命令ニ違背

シ左ノ事ヲ怠リタル者ハ百五拾馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス
(二)石切場、土砂礫、灰礬土、石灰或ハ粘上ノ掘取場及鑛坑等欄柵ヲ繞ラシ或ハ土ヲ堆積シ置クヘキ義務アル場所ニ欄柵ヲ設ケ或ハ土ヲ堆積スルコト

(二)結水上ニ穴ヲ穿チタル時ハ明瞭ナル標示ヲ設ケテ之ヲ警戒スルコト

第三十條 權利ナクシテ左ノ所行ヲ爲シタル者ハ百五拾馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

(一)刑法第三百五條ノ場合ノ外他人ノ私有道或ハ其附屬物ヲ破壊シ汚穢シ或ハ其使用ヲ困難ナラシムル事

(二)止ムヲ得サルノ場合(第十條第二項)ニアラスシテ公道或ハ諸道ノ入道上ニ車馬ヲ行リ或ハ車馬道ヲ標示シタル柱石ヲ取除キ若クハ之ヲ不明トニスル事

(三)刑法第二百七十四條第二項ノ場合ノ外石、杭、標札、小堤、溝澮其他總テ土地若クハ道路ノ境界、通行止、測量用及警戒ノ爲メニ設ケタルモノ又水量標、指道標ヲ破壊シ撲滅シ取捨或ハ不明トニスル事

(四)籬牆欄柵或ハ之ヲ設ケタル土地ニ通スル道路或ハ入口ヲ閉鎖スヘキ裝置ヲ撲滅シ或ハ破壊スル事

(五)刑法第三百四條ノ場合ノ外立木、灌木、草類、蔬菜及樹木ヲ扶持スル杭木其他ノ裝置ヲ破壊スルコト若シ幼稚ナル樹木、菓樹或ハ裝飾灌木ヲ損害シタル時ハ十馬克ヨリ少ナカラサル罰金ヲ科スヘシ

第三十一條 刑法第三百二十一條及第三百二十六條ノ場合ノ外權利ナクシテ他人ノ土地ノ灌溉用水ヲ引用シ或ハ溝澮等用水ノ濫泄ニ供スヘキモノヲ新設シ變更シ破壊シ或ハ除去シタル者ハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

第三十二條 刑法第三百八條ノ場合ノ外豫メ地方警察署若クハ戶長役場ニ届出スシテ自家ノ泥炭地、灌木地、草地ヲ燃燒シ或ハ此ノ燃燒方ニ關スル警察規則ヲ奉セサル者ハ百五十馬克以上ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス
第三十三條 刑法第三百六十八條第十一項ノ場合ノ外濫リニ他人ノ所有地内ニ於テ獵獲スヘカラサル鳥類ヲ捕ヘ弧張其他唱歌鳥ヲ捕獲スヘキ裝

置テ設ケ鳥巢ヲ毀テ鳥類ノ卵雛ヲ奪ヒタル者ハ三十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ一週日以内ノ拘留ニ處ス

孤張其他鳥類ヲ捕獲スヘキ裝置ハ之ヲ沒取セラル

第三十四條 刑法第三百六十八條第二項ノ場合ノ外有益動物ヲ保護シ有害動物ヲ驅除スルニ關スル警察規則ニ違背シタル者ハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

第三十五條 權利ナクシテ左ノ行爲アル者ハ百馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ一週日以内ノ拘留ニ處ス

(一)樹木、木材、泥炭其他ノ森林產物ヲ堆積シテ之レニ附シ置キタル符號番號等ノ標目ヲ消却シ不明了ニシ偽擬シ或ハ變更スルヲ

(二)伐採シタル樹幹又ハ積ミ置キタル木材泥炭或ハ樺皮ヲ損害シ崩壞シ或ハ其支柱ヲ除クヲ

第三十六條 森林中ニ於テ權利ナクシテ左ノ事ヲ行ヒタル者ハ五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ十四日以内ノ拘留ニ處ス

(一)樹木ヲ伐採シ或ハ木材牧草蓐草及樹脂ヲ採集スルノ用ニ供スヘキ器械ヲ携帯シテ公道或ハ使用ノ權利アル道路ノ外ニ居ルヲ

(二)材木ヲ堆積シ或ハ

(三)柵柵ヲ超ユルヲ

(四)樹苗ヲ植付タル場所ニ踏込ムヲ

(五)樵夫ノ樹木ヲ斧伐シ及鋸斷スル場所或ハ落葉枯枝等ノ採集ヲ許サ、ル場所ニ立入ルヲ

第一項ノ場合ニ於テハ罰金或ハ拘留ノ外犯罪者ノ所有物ナルト否トヲ問ハズ其器具ヲ沒收スヘシ

第三十七條 森林地ニ於テ權利ナクシテ次ノ所行アル者ハ百馬克以下ノ罰金ヲ科シ十四日以内ノ拘留ニ處ス

(一)再生ヲ期スル廣葉樹ノ萌蘗ヲ変リ或ハ石ヲ置キテ其發生ヲ害スルヲ

(二)蟻或ハ其卵子ヲ捕集シ及蟻巢ヲ破壞スルヲ

第三十八條 他人ノ森林ノ木材ヲ購求シ其地主ノ許可ヲ得ズシテ未タ其

受取證ヲ受領セサル以前或ハ約定ノ時日若クハ道路外ニ右ノ木材ヲ輸送スル者ハ五馬克以下ノ罰金ヲ科ス

右ハ權利者ノ告訴ニ由リテ其罪ヲ糺スモノトス

第三十九條

他人ノ泥炭地或ハ森林ニ於テ其所有主ヨリ許可證ヲ受領シ一定ノ部分ニ於テ泥炭木材其他森林產物ヲ採收スル者誤リテ他ノ部分ヨリ之ヲ採収シタル時ハ百馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ四週日以内ノ拘留ニ處ス

右ハ權利者ノ告訴ニ由リテ其罪ヲ問フモノトス

第四十條

森林若クハ泥炭地ノ伐採權ヲ有スル者或ハ賃借人ニシテ左ノ所行アル時ハ百馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ四週日以内ノ拘留ニ處ス

(一)未タ開發セサル部分或ハ其權利ノ執行ヲ許サ、ル期節或ハ之レカ爲メニ定メタル時日ノ外ニ於テ其權利ヲ執行シ或ハ許可セラレタル伐採器或ハ運搬器ニ異ナルモノヲ使用スルヲ

(二)林務官或ハ地主ノ特許證或ハ證明書ヲ所持セスシテ法律規則或ハ習慣

ニ背キタル所行ヲ爲スヲ

(三)權利ノ執行上秩序ト平安ヲ維持スルガ爲ニ設ケタル法律或ハ警察規則ニ背キタル所行

第一項ノ場合ニ於テハ罰金或ハ拘留ノ外犯罪用ニ供シタル器具ハ犯罪者ノ所有物ナルト否トヲ論セス之ヲ沒收スヘシ
右ハ權利者ノ告訴ニ由リテ其罪ヲ糺スモノトス

第四十一條 森林中ニ於テ其使用權ヲ執行スルニ際リ特許證或ハ法律若シクハ警察規則及習慣ニ基キ受領攜帶スヘキ証書ヲ攜帶セサルモノハ十馬克以下ノ罰金ヲ科シ三日以内ノ拘留ニ處ス
右ハ權利者ノ告訴ニ由リテ其罪ヲ問フモノトス

第四十二條 森林產物ヲ採收スルノ權利ヲ有シ其分量ニ制限ナキモ自家ノ需用ニ供スルニ止マルヘキモノニシテ其採取シタル森林產物ヲ賣却シタル時ハ百馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ四週日以内ノ拘留ニ處ス

第四十三條 薪材或ハ材木運搬ニ關スル法律或ハ警察規則ニ背キ或ハ法

律規則ニ背キテ薪材或ハ材木ヲ市邑ニ輸入シタル者ハ五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ十四日以内ノ拘留ニ處ス小柴杞柳松枝等モ亦同シ
伐採ノ權利アルヲ證明セサレハ其材木等ハ沒收スヘシ

第四十四條 左ノ行爲アル者ハ五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ十四日以内ノ拘留ニ處ス

- (一) 松明燭火等ヲ點シテ森林中ニ入り或ハ危險ヲ顧ミス之ニ近寄ル
- (二) 森林中ニ於テ火氣ヲ帶フル物ヲ散落シ擲棄シ或ハ不注意ノ取扱ヲ爲ス

三 刑法第三百六十八條第六項ノ場合ノ外其地ノ戸長ノ許可ヲ經スシテ森林内或ハ其近傍ニ於テ又林務官ノ許可ヲ經スシテ其官林内或ハ近傍ニ於テ焚火ヲ爲シ或ハ其許可ヲ經タルモ必用ナル監視ヲ怠タル

四 刑法第三百六十條第十項ノ場合ノ外森林ノ火災ニ關シ警察署戸長役場或ハ其代理者森林所有主等林務官ヨリ扶助ノ請求アルニ際リ之レカ爲メニ著シキ自家ノ損失トナルヲナキニ其請求ニ應シテ之レカ扶助ヲ爲

サ、ル

第四十五條 森林内或ハ其近傍ニ於テ左ノ所行ヲ爲シタル者ハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

(一) 民林ナレハ所轄戸長官林ナレハ主任林務官ノ許可ヲ經スシテ炭竈ヲ設置スル

(二) 右ノ戸長或ハ林務官ニ届出スシテ炭竈ニ點火スル

(三) 火ヲ點シタル炭竈ノ監視ヲ怠タル

(四) 充分ニ消火セサル炭ヲ竈内ヨリ取出シ或ハ之ヲ運搬スル

第四十六條 森林地及落葉下草等ヲ燃燒スルニ關スル警察規則ヲ犯シタル者ハ十馬克以上百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス

第四十七條 百[ヘ]ク[ル]以上ノ面積ヲ有スル森林ノ周邊七十五[メ]ートル以内ノ距離ニ於テ火ヲ焚ク場所ヲ設ケント欲スル者ハ火焚場設立ヲ許可スル官衙ノ許可ヲ得ルヲ要ス右ノ許可ヲ得サル間ハ警察署ニ於テ右ニ關スル家屋ノ建築ヲ認可スルヲナシ

第四十八條 火焚場ヲ設置スルカ爲メニ森林ノ火災ヲ恐ル、場合ニ於テハ該官衙ニ於テハ此ノ願ヲ拒否シ或ハ火災豫防ノ契約ヲ爲サシムルヲ得

該官衙ハ右ノ火焚場ニシテ軒ヲ連ネタル村落中ニ設クルカ森林所有主自カラ之ヲ設ルカ或ハ公賣所分法ニ據リテ之ヲ設クル時ハ此ノ願ヲ拒否スルヲ得ス然レモ火災豫防ノ契約ヲ爲サシムルヲ得ヘシ

第四十九條 森林所有主ト建築主ト別人ニシテ其許可ヲ願出タル時ハ右ノ趣チ森林所有主ニ通知シ故障アレハ二十一日内ニ官衙(第四十七條)ニ届出ツヘキ旨ヲ達スヘシ

森林所有主ヨリ故障ヲ申出タル時ハ官衙(第四十七條)ニ於テ之ヲ検査シ必要ナル場合ニ於テハ建築者ト森林主トノ意見ヲ聞キ及證據ヲ檢シテ之ヲ許否スヘシ

第五十條 建築願ヲ拒否シ或ハ契約ヲ爲サシメテ之ヲ許可シ及申出タル故障ヲ却下スルハ官衙ノ判決ニ從フ此ノ判決ニハ理由ヲ附シテ建築者及

森林所有主ニ明示スヘシ

右ノ判決ニ對シテ不服ノ廉アレハ森林所有主及建築者ハ十日以内ニ行政裁判ノ所分ヲ仰クヲ得ヘシ

(イ)郡警察署ノ判決ニ對シテハ郡委員會ニ訴出ツヘシ

(ロ)郡長及區警察署ノ判決ニ對シテハ縣行政裁判所ニ訴出ツヘシ

第五十一條 右ノ許可ヲ得サル以前ニ火焚場ノ建築ニ着手シタル者ハ百五十馬克以下ノ罰金ヲ科シ或ハ拘留ニ處ス官衙(第四十七條)ハ該建築ヲ停止シ既ニ築造シタルモノヲ取拂ハシムルヲ得

第五十二條 千八百七十六年八月二十五日ノ發布ニ係ル土地ヲ分割スルカ爲メニ公ノ負擔ヲ分割スルヲ及新シニ居住地ヲ開クヲニ關スル法律ハ本法律ノ爲メニ變更スルヲナシ

火焚場(第四十七條)ヲ設クルカ爲メニ兼テ居住地新開願ヲ要スル場合ニ於テハ本法律第四十八條乃至第五十條ト前記ノ法律第十三條乃至第十七條ノ規則ニ據ル

第二章 處分法

第五十三條 本法律ニ違背シタル者ハ陪席裁判所ノ處分ヲ受クヘシ
地方警察署ニ於テ假リニ罪科ヲ定メ又假リニ沒收ヲ行フノ職權ハ之レカ
爲メニ變更スルコトナシ

陪席裁判所檢察官ノ職務ハ現任林務官ニ委任スルコトヲ得ヘシ

第五十四條 犯罪者ニ資力ナクシテ罪金ニ代ルニ拘留ヲ以テセントスル
ニ際リ其代償義務者モ亦無資力ナルコト明瞭ナレハ義務者ニ代償ヲ督促ス
ルコトナクシテ犯罪者ヲ拘留ニ處スルコトヲ得ヘシ

第五十五條 本法律ニ於テ特別ノ規則ヲ定メサルモノハ陪席裁判所ノ處
分法ハ普通ノ治罪法ニ據ル

第五十六條 數罪俱發數人共犯ノ場合ニ於テハ互ニ關係(治罪法第三條及
第二百三十六條)ナキモノト雖モ之ヲ合シテ一同時ニ判決處分ヲ行フコト
得

第五十七條 本法律第二十條及第二十一條ノ場合ニ於テハ被告ノ出廷セ

サル時ハ欠席裁判ヲ行フコトヲ得ヘシ

第五十八條 此裁判ニ對シテ不服アレハ刑事局ニ控訴スヘシ刑事局ニ於
テハ主席者ヲ加ヘテ三名ノ法官臨席シテ之ヲ判決ス可シ

第五十九條 此控訴廳ノ判決ニ對スル再審ヲ請フコトハ本法律第二十條及
第二十一條ノ犯罪ニ關スル時ニ限ル

第六十條 圃場及森林ヲ保護スルカ爲メニ發布シタル警察規則ニ違犯シ
タル者ハ本法律ニ掲ケタル處分法ヲ應用ス

圃場及森林ヲ保護スル警察規則ニ違背シタル罪或ハ本法律ニ違背シタル
罪ト刑法第三百六十一條第九項ノ農産物及森林ヲ保護スル規則ヲ犯シタ
ル罪ト相伴ヒタル時ハ本法律ノ處分法ヲ應用ス

第六十一條 本法律ニ於テ被害者ノ告訴ニ由リテ其罪ヲ糾スモノハ其告
訴ノ却下ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

第三章 圃場及森林看守者

第六十二條 本法律ニ於テ圃場看守者或ハ森林看守者ト稱スルモノハ市

邑村邑或ハ地主ヨリ圃場若シクハ森林ヲ保護スルカ爲メニ置キタル者ヲ云フ

圃場若シクハ森林ノ看守者ヲ設クルニハ警察官ニ委任シタル規則ニ從ヒ其ノ認證ヲ得ルヲ要ス若シ此ノ如キ規則ナクハ郡長ノ認證ヲ得ルヲ要ス

第六十三條 圃場或ハ森林ヲ保護スルカ爲メニ政府ヨリ任命セラレタル者ハ圃場看守者或ハ森林看守者ト同一ノ權利ヲ有ス

第六十四條 村邑ニ於テハ其組合中ヨリ圃場名譽看守者ヲ撰任スルヲ得ル

村邑ニ於テ名譽看守者ヲ撰舉シタル時ハ管轄廳ノ認證ヲ得ルヲ要ス圃場名譽看守者ハ總テ其職務上看守者ト同一ナル權利ヲ有ス

第六十五條 圃場看守者圃場名譽看守者或ハ森林看守者ハ職標ヲ携帯シ其職務ヲ執行スルニ際シ他ノ請求ニ依リ之ヲ示サ、ル可カラス

第六十六條 圃場看守者圃場名譽看守者及山林看守者ハ總テ圃場警察事

件ニ關シ證據人トナルモノナルカ故ニ豫シメ其ノ職務ニ對スル宣誓ヲ爲シ置ク可シ

第四章 賠償及物品取押

第六十七條 本法律ニ對スル犯罪ノ爲メニ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルハ民事ノ訴訟法ニ依ル可シ

第六十八條 竊取罪ヲ犯シ法官ノ裁判ヲ受ケタル場合ニ於テハ法官ハ被害者ノ請求ニ依リ本罪ノ傍ラ犯罪者ヲシテ其贓物ノ地方相當ノ代價ヲ被害者ニ償ハシムヘシ

被害者ノ請求ニ對シテハ償金ノ裁定ヲ請求スルヲニ關スル治罪法ノ規則

(第四百四十三條乃至第四百四十五條)ヲ應用スヘシ
代價ノ賠償ヲ請求スルモ更ラニ損害ノ賠償ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノニアラス

第六十九條 牧場犯罪(第十四條)ニシテ本法律第十條及刑法第三百六十四條第十項ニ觸レタル時ハ被害者ハ其明了ナル損害ノ賠償或ハ賠償金ノ中

其ノ一ヲ撰フヲ得可シ

賠償金ノ請求ハ被害ノ證明ニ關係ナシ

賠償金ヲ請求シタル時ハ損害賠償ノ權利ハ消滅スルモノトス然レモ最初ニ損害賠償ヲ起シタル時ハ始審廳ノ裁判申渡迄ハ損害賠償ノ代リニ賠償金ヲ得ンヲ請求シ得ヘシ本法律第十條及第十四條或ハ刑法第三百六十八條第九項ノ場合ニ於テ家畜同時ニ數地主ノ所有地ニ踏込ミタル時ハ其賠償金ハ一回ノミ之ヲ拂ハシム故ニ最初ニ地方警察署ニ届出タル者ニ之ヲ與フ可シ若シ數人同時ニ申出タル時ハ賠償金ヲ平等ニ分配スヘシ

第七十條 賠償金ノ請求權ハ四週日ヲ以テ期滿得免ノ期トス此日數ハ動物ノ踏込ミタル日ヨリ起算スヘシ

損害賠償ノ訴ヲ起シタル時ハ期滿得免期ノ經過ハ停止スルモノトス

第七十一條 賠償金額ヲ定ムルヲ左ノ如シ
(一) 收納以前ノ耕地人工牧場或ハ所有主自カラ未タ使用セサル秣場若シクハ牧草ヲ播種シタル牧場及籬牆ヲ周ラシタル牧場庭園苗木畑葡萄園菘

生地、柳生地、堤塘、溝澮、樹苗ヲ植付ケタル森林ニ動物ノ踏込タル時ハ

(イ) 馬、牛或ハ驢馬一頭ニ付 二〇〇馬克

(ロ) 豚、山羊或ハ綿羊一頭ニ付 一〇〇馬克

(ハ) 鷄一羽ニ付 〇三〇馬克

(ニ) 他ノ家禽一羽ニ付 〇二〇馬克

(三) 總テ他ノ場合ニ於テハ

(イ) 馬、牛或ハ驢馬一頭ニ付 〇五〇馬克

(ロ) 豚、山羊或ハ綿羊一頭ニ付 〇〇二馬克

(ハ) 家禽一羽ニ付 〇〇二馬克

第七十二條 亘多ノ動物一時ニ踏込タル時ハ第七十一條ニ從ヒテ負擔スヘキ賠償總額ハ左ノ金高ニ超過スヘカラス

(一) 第七十一條第一項ノ場合ニ於テハ
馬、牛、驢馬、豚、山羊、綿羊 六〇馬克
家禽 一五馬克

(二)第七十一條第二項ノ場合ニ於テハ

馬、牛、驢、馬、豚、山羊及綿羊

一、五馬克

家禽

二、〇馬克

第七十三條 第七十一條及第七十二條ノ賠償金額ハ郡會ノ請求ニ依リ縣委員會ノ決議ヲ以テ其全部或ハ其一部分ニ對シテ之ヲ二倍シ或ハ半減スルヲ得ヘシ縣委員會ノ決議ニ對シテ訴願ヲナスヲ得ス

第七十四條 凡テ賠償金ハ直接ニ動物ノ所有者ニ請求スルヲ得ヘシ數名ノ所有主共同シテ群畜ヲ飼養スル時ハ被害者ノ賠償ニ對シテ連帶義務ヲ有スルモノトス

第七十五條 第六十九條第三項ノ場合ニ於テ賠償金ヲ請求スルハ民事裁判法ニ依ル

凡テ他ノ場合ニ於テハ地方警察署ニ其ノ請求ヲ申出スヘシ地方警察署ハ關係者ノ陳述ヲ聽キ必要ナル檢査ヲ爲シ其判決ヲ下スモノトス賠償金ヲ請求スルカ爲メニ他ニ消滅スヘキ權利アルヲ明カニスレハ警察署ハ被

害者ヲシテ民事裁判上ノ請求ヲナスノ自由ヲ得セシムヘシ

第七十六條 地方警察署第七十五條判決ハ關係者ニ公達スシテ判決ヲ公達シタル后十日間ハ關係者双方ニ於テ郡委員會ニ控訴スルヲ得ヘシ市邑及人口一万以上ヲ有スル村落ニ於テハ縣行政裁判所ニ控訴ス此ノ場合ニ於テモ亦第七十五條第二項ノ規則ヲ應用ス郡委員會及縣行政裁判所ノ判決ハ終審ノ裁判トス

第七十七條 家畜ヲ放牧スヘカラサル土地ニ家畜ノ踏込ミタル時ハ圍場看守者森林看守者被害者及其土地ヲ管理スル者被害者ノ親屬、奴僕及其土地ニ於テ業ヲ執ル所ノ職工ハ直チニ其家畜ヲ取押ニルヲ得ヘシ

本法律第十條及刑法第三百六十八條第九項ノ規則ヲ犯シタルモノアル時ハ其ノ乘用或ハ運搬用ニ供シタル動物或ハ家畜ヲ取押ユルヲ得ヘシ

第七十八條 損害ヲ致シタルカ爲メニ取押ラレタル動物ハ賠償金及其取押及損害ノ鑑定上ヨリ生シタル費用ヲ負擔セシムヘキ抵當物トナス管轄戶長役場ニ對シ動物所有主ヨリ被害者ノ請求ニ適當スル所ノ金額或

ハ他ノ抵當物ヲ差入置シキハ此取押ラレタル動物ハ直チニ引渡サル、
ヲ得ヘシ

第七十九條 取押ヘタル動物ノ世話料及飼養料ハ地方警察署ニ於テ之ヲ
定ム

郡會ノ同意ヲ經縣委員會ノ決議ニ依レハ取押タル動物ノ世話料及飼養料
ノ一般ノ金額ヲ定ムルヲ得ヘシ縣委員會ノ決議ニ對シテ控訴スルヲ得
得ス

第八十條 動物ヲ取押タルモノハ之ヲ取押ヘタル後チ二十四時間内ニ其
地ノ戸長役場警察署ニ其旨ヲ届出ツ可シ市邑ニ於テハ其地方警察署ニ届
出ヘシ

戸長或ハ警察署ハ假リニ此取押ヘタル動物ノ管理法ヲ定ムヘシ
戸長ハ動物ヲ取押ヘタル旨ヲ直チニ地方警察署ニ届出ツヘシ

第八十一條 此届ケ出テ(第八十條第一項)ヲ怠リタルキハ動物ノ所有主ハ
其取押ヘラレタル動物ノ返却ヲ請求シ得ヘシ此ノ場合ニ於テハ被害者ハ

此取押ノ爲メニ生シタル費用ノ賠償ヲ請求スルヲ得ス

第八十二條 動物取押届ヲ爲シタル時ハ地方警察署ハ損害ノ大小賠償金
及費用ノ多寡ヲ検査シ全ク其抵當物ヲ取押ヘ置クヘキカ或ハ其一部分或
ハ全ク之ヲ返却セシムヘキヤ否又取押ヘタル動物或ハ其之レニ換ヘタル
抵當物ノ管理法ヲ判定スヘシ

取押ヘタル動物ノ一部分ヲ存セシムヘキ場合ニ於テハ其動物ヲ取押ヘラ
レタル者ヲシテ自費ヲ以テ其餘ノ動物ヲ引取ラシムヘシ

第八十三條 動物所有主ニ於テ不正ノ取押タル事實ヲ申立ル時ハ被害者
ニ於テ民事訴訟上ノ請求ヲ爲スハ自由タルヘシ

此ノ場合ニ於テハ警察署ハ取押ヘタル動物及之レニ換エタル相當ナル抵
當物ノ管理上假リニ命令ヲ下スヘシ此ノ命令ニ對シテハ訴願ヲ爲スヲ得
得ス

第八十四條 地方警察署ノ判定(第八十二條)ハ關係者ニ公達スヘシ此ノ公
達ニ接シタル後十日以内ハ雙方ノ關係者ハ郡委員會ニ控訴シ市邑及一萬

人以上ノ人口ヲ有スル村邑ニ於テハ縣行政裁判所ニ控訴スルヲ得ヘシ
茲ニモ亦第八十三條第一項ノ規則ヲ應用ス郡委員會及縣行政裁判所ハ右
ニ關スル終審應トス

第八十五條 法律上至當ナリトノ判決ヲ下シタル時ハ地方警察署ニ於テ
ハ取押ヘタル動物或ハ之レニ換ヘタル抵當物ヲ其地方普通ノ公告法ニ據
リテ競賣スヘシ

警察署ニ於テ判定シタル賠償額及取押ヘラレタル動物若クハ之レニ換ヘ
タル抵當物競賣ノ費用ヲ拂込ム時ハ動物所有主ハ其動物若クハ抵當物ヲ
請戻スヲ得ヘシ

第八十六條 競賣代金或ハ拂込金ハ悉皆ノ費用及賠償金ニ充ツヘシ
競賣代金或ハ拂込金ヲ以テ損害ノ賠償ニ充ツルハ取押ヲ爲シタル後三ヶ
月以内ニ損害賠償ヲ請求シタル時ニ限ルヘシ
賠償金及費用ヲ拂ヒタル後尙ホ競賣代金ニ餘剩アレハ之ヲ動物所有主ニ
返却スヘシ若シ所有主或ハ其居所不明ナル時ハ餘剩金ハ其地ノ救貧金

庫ニ納ムヘシ救貧金庫ニ納メタル後三ヶ月以内ナレハ動物所有主ハ餘剩
金ノ返附ヲ請求シ得ヘシ

第八十七條 被害者ニ於テ動物ヲ取押ヘテ賠償金ヲ請求スル時ハ右ト同
一ナル處分法ニ據ル

第八十八條 第四十九條第五十條第七十六條第八十條及第八十四條ノ期
滿特免後ハ其請求ノ權利全ク消滅スルモノトス

第五章 變遷規則及終結變遷規則トハ舊法律ヲ廢シ新法律ニ遷
ル時ニ涉ル間ノ規則ナリ第九十三條ノ
如キモノ
ヲ云フ

第八十九條

第九十條

第九十一條

第九十二條

(譯者云以上四條ハ各州ノ特則ニシテ反譯スルノ必要ナシ)

第九十三條 本法律實行ノ日ニ於テ未決ノ犯罪アレハ其以後ノ處分法ハ

治罪法執行規則第八條以下ニ掲ケタル規則ヲ應用ス
本法律實行ノ日ニ於ケル未決事件ノ裁判廳處分法及控訴法ハ従前ノ規則ニ從ハシム

第九十四條

(譯者云萊因州ニ關スル特則ニシテ反譯スルノ必要ナシ)

第九十五條 本法律ハ千八百八十年七月一日ヨリ實行セシム

第九十六條 同日以後ハ總テ本法律ニ抵觸スル法律規則ヲ廢止ス

第九十七條 本法律ノ執行ハ農業官有兼山林事務大臣ニ委任ス

以上

ヲ發布シタル所以ナリ國境交互ノ犯罪者ヲ搜索スルハ各隣國トノ條約ニ據ル

圃場及森林警察規則ノ外森林ノ竊盜ニ關スル法律アリ

従前ノ圃場及森林ニ關スル違警罪規則ハ頗ル不完全ナリシノミナラス農政及農林學ノ進步スルニ從ヒテ従前ノ如ク各州ノ區別ヲ嚴ニス

ルヲ要セス且新刑法ニ於テハ一定ノ原則ヲ踏ムヲ以テ今ヤ全國画一ノ制度ヲ布キタリ然レモ右等ノ罪科ヲ處理スルノ法ハ主トシテ刑法ニ據ルト雖モ亦多ク斟酌變更シタルモノアリ猥リニ他人ノ所有地ニ侵入シ或ハ之ヲ使用シタル罪及牧場ノ犯罪ニシテ贓物若クハ損害ノ價格拾馬克ニ達セス且森林盜伐ノ罪ヲ以テ論スヘカラサルモノハ法律文中地方ノ情態ニ從ヒテ斟酌確定スヘキノ餘地ヲ存セシム其ノ他圃林警察規則ハ豫防警察ノ性質ヲ有ス即顛落火災有害動物等ノ危害ヲ防禦シ或ハ竊盜ヲ防クカ爲メニ木材ノ運搬取入規則ヲ定ムルカ如キ是ナリ
犯罪者ノ處分法及罰金ヲ課スルノ等多少普通ノ治罪法ニ異ナル所アリトス
損害賠償ノ請求ハ訴訟法ニ由リ竊盜ニ係ルモノハ被害者ノ請求ニヨリ其代價ヲ償ハシムルノ外法官ハ罪ヲ科スルコトヲ得其牧場ノ犯罪及他人ノ所有地ニ家畜ヲ放逸セシメタル場合ニ於テハ被害者ハ四週

日以内ニ其動物ノ種類及頭數ニ應シタル賠償金ノ請求ヲ爲スヘシ其金額ハ關係者ニ通知シタル後地方警察署ニ於テ之ヲ裁定ス且賠償ノ請求ヲ保スルカ爲メニ右ノ家畜ヲ引當トシテ取押ヘ置キ二十四時間内ニ其處分方ヲ地方警察署ニ請求スヘシ若シ此家畜ヲ賣却シテ餘剩金ヲ生スレハ之ヲ其所有主ニ返却シ所有主ノ知レサル場合ニ於テハ之ヲ救貧金庫ニ納ムヘシ

圃場及森林ヲ保護スルカ爲メニ町村及地主ハ監視應或ハ郡廳若クハ政廳ノ認證ヲ受ケテ圃林監視者或ハ圃林名譽監守者ナルモノヲ置クヲ得ル此等ノ監守者ハ官吏ノ資格ヲ有シ職標ヲ帶フルモノナリ

森林ノ竊盜犯ニ關スル處分方ハ前記ノ如ク裁判法改正以來大ニ改正シ普通ノ裁判治罪ノ二法ニ異ナルモノ多シ森林ノ竊盜トハ木材木屑樹皮其他森林ニ産スルモノヲ盜取スルヲ云フモノナリ

罰金ハ贓物ノ代價ノ五倍トス然レモ其一馬克以下ナルキハ一馬克ヲ賠ハシム事情ニ因リ或ハ再犯ノ場合ニ於テハ其十倍ヲ科シ其最小額

ヲ二馬克トシ特ニ重キ事情アルカ或ハ再三犯ノ場合ニ於テハ更ニ罰金ヲ附加シ或ハ禁獄ニ處スルヲ得ル

森林犯罪ノ始審廳ハ治安裁判所トス

有害動物ノ驅除

圃場及森林ハ種々ノ小動物ノ爲メニ非常ナル損害ヲ蒙ルヲ多ク而シテ此等ノ動物ハ速ニ繁殖蔓延シテ該地方共同一致スルコアラサレハ之ヲ驅除スヘカラサルモノアリ此等ノ動物ノ發生スルト否トハ土地ト時候ノ關係ニ由リ諸方同一ナラス此故ニ驅除法ヲ實行セシムルハ地方ニ委任シ地方警察規則中各特別ナル驅除法ヲ設ク土撲鼠野鼠蟻蟻（森林ヲ害スル甲虫ノ一種）驅除法ノ如キ是ナリ又全國畫一ノ法令ヲ以テ定メタルモノハ馬鈴薯甲虫及葡萄虱ノ驅除法トス畜ニ有害動物ヲ驅除スルノ法ヲ定ムルノミナラス此等ノ無血虫ヲ啄ム所ノ有用鳥類ヲ保護スルノ規則ヲモ亦制定シタリ

有害植物即雜草ハ繁殖スルヲ有害動物ノ如ク速ニ且博ララス故ニ一

二ノモノヲ除クノ外各個人ノ驅除スルニ任ス
(五) 牧畜及獸醫制

牧畜ノ業ハ耕作ノ業ニ比スレハ大ニ古シ然レモ此ノ二者ノ消長ハ親密ノ關係ヲ有シ耕地ノ増大スルニ從ヒテ牧地ノ減少スルハ自然ノ數ナリ茲ニ牧畜ト稱スルハ馬牛羊豚山羊ヲ蕃殖スルハ勿論家禽蜜蜂蠶兒ヲ飼養スルヲモ亦含畜ス千八百八十三年ノ調査ニ因ルニ孛國家畜ノ總數ハ馬二百四十一万七千三百三十八頭牛八百七十三万七千九百九十九頭綿羊一千四百七十四万七千九百七十五頭豚五百八十一万八千七百三十二頭山羊百六十七万九千六百八十六頭ナリシ耕作ノ進歩スルニ從ヒテ牧畜上ニモ亦大ナル變化ヲ生シタリ則牧場ヲ變シテ圃場トナシ又他人ノ土地ニ放牧スルノ權利ヲ廢止シタル等ノ爲メニ牧地次第ニ減縮シ復タ昔日ノ如ク疎大ナル放牧ヲ行フヲ能ハス故ニ圃場ニ牧草ヲ培養シテ其欠乏ヲ補フニ至レリ牧畜上蕃殖ト飼養トノ方法大ニ進歩シタリト雖モ概シテ家畜ノ運動スヘキ場所ノ減少シタル

ガ爲メニ其生活上必要ナル運動ヲ欠キ特ニ馬ノ如キハプロイセンボ
イヤンシレトスウキク、ホールスタイン及ハンノール等ノ諸州ニ於テハ頗ル其頭數ヲ減シタリ然ルニ馬ハ價高キカ故ニ之ヲ蕃殖シテ利潤多キノミナラス兵備上緊要ナルモノナルヲ以テ孛國政府ハ種馬所ヲ置キ大ニ牧馬ヲ獎勵ス
種馬所ニ二種アリ種馬本場ハ種牡馬ヲ蕃殖セシムルヲ主トシトラケ
ーチン、ジラザツク及ベルベルベックノ三所ニ置ク唯種馬所ト呼フモノハ種牡馬ヲ置キテ地方ノ牝馬ト交尾セシムルヲ主トラスデンブルク
外十五ヶ所ニ之ヲ設ク共ニ全國ノ馬種ヲ改良スルニアリ即種馬本場
ヨリ各種馬所ニ配布シタル牡馬ハ各種馬場ヨリ年々諸方ニ配布シ其
地方ノ大小地主ヲシテ其牝馬ヲ牽來リテ交尾セシムルノ便ニ供シ其
産シタル駒ニハ種馬所ノ烙印ヲ捺ス此等ハ皆手数料ヲ拂ハシムルヲ
ナシ現ニ種馬本場ニハ純粹種及五分雜種ノ牝馬六百十五頭ト之レニ
相當セル牡馬ヲ養ヒ種馬所ニ配布シタル種牡馬ノ總數ハ二千百七十

五頭ナリ右ノ外種牡馬ヲ蕃殖セシメシカ爲メニ組成シタル育馬協會ナルモノアリ皆政府ノ補助金ヲ受ク政府ハ又善良ナル種牝馬ヲ飼フ者ヲ賞シ競馬競進會等ニ賞金ヲ出シ二三ノ州ニ於テハ特ニ委員ヲ撰ヒ此ノ委員カ適當ナリト認メタル牡馬ニ非ラサレハ交尾セシムルヲ禁スルモノアリ又地方廳ニ於テ種牝馬ヲ牽キ歩クヲ禁シ或ハ制限スルヲ得ル等皆ナ牧馬ヲ獎勵シ馬種ノ改良ヲ謀ルニアリ
 牧牛ヲ改良スルカ爲メニモ亦蕃殖用牝牛ヲ撰擇シ維持スルヲニ關シ各州ニ於テハ種々ノ規則ヲ發布シタリ
 牧羊ヲ獎勵シ牧夫ノ弊害ヲ矯正スル等ノ法律モ亦多シ緻軟ナル毛ヲ生スル善良綿羊ヲ蕃殖セシムルノ目的ヲ以テフランケンフルドニ模範牧羊場及牧羊學校ヲ置ク
 學國ノ養蠶ハ布利特黎大王ノ時既ニ之ヲ勸メ其後中絶シテ近時又大ニ政府ニ於テ之ヲ保護獎勵シ學國養蠶協會ナルモノヲ組織セシメタリ然レモ尙ホ微々タルモノニシテ茲ニ詳悉スルヲ要セス

獸醫制

獸醫ニ關スル制度ハ農務大臣ノ掌理スル所ニシテ其諮問機關ヲ家畜衛生實地委員會ト稱ス獸醫クラント欲スル者ハ獸醫學校ニ於テ教育ヲ受ケサルヘカラス獸醫術ヲ開業シ或ハ諸方ヲ巡廻シテ獸醫術ヲ行ハント欲スル者ハ更ラニ開業試験ヲ經テ免許狀ヲ受領セサルヘカラズ此ノ免許狀ハ獨逸帝國全体ニ向ヒテ有効ナルモノトス實地委員ヲ以テ組織シタル特別委員會ノ試験ヲ經レハ郡長若クハ縣令ノ顧問者ナル郡獸醫若クハ縣獸醫トナルヲ得ヘシ

獸疫警察

獸疫警察規則ハ帝國ノ法律ヲ以テ之ヲ布告セリ獸疫ニ關シテ政廳ヨリ布達シタル家畜交際ノ禁止及取締規則ニ違背スレハ刑法ヲ以テ其罪ヲ問ハル、ノ頗ル嚴ナリ鐵道局ハ總テ家畜ノ運搬用ニ供シタル車輛ニ其都度消毒法ヲ行フノ義務アリ又牛疫ハ他ノ傳染病類ト殊別シテ取扱ハシム是最モ劇烈ニシテ損害ノ及フ所廣ク且大ナルヲ以テナ

牛疫ハ其傳染性猛劇ニシテ暫時ニシテ一地方ノ牛種ヲ絶ツニ至ルヲ以テ最モ畏ルヘキノ獸疫トス該病ハ牛ニ固有ノ病ニシテ神系痛ト附帶シタル熱病ナリ終ニ腸厥衝ヲ發シテ斃ル、ナ常トス其傳染素ハ總テ病畜ノ排泄物分泌物中ニ存シ殊ニ揮發性ナルヲ以テ容易ニ他ニ傳染ス然レモ大氣中ニ於テハ容易ニ消失ス多クハ露國ノ平原ヨリ發生シテ歐洲ニ蔓延ス牛疫規則ハ其交際ヲ制限シ厩内ニ閉居セシメ或ハ疫牛若クハ牛疫ニ罹リタルノ疑アルモノヲ撲殺シ傳染素ヲ帶ヒタル物件ヲ燒燼シ或ハ埋沒シ且消毒法ヲ行ハシメ撲殺シタル牛及燒燼シ或ハ埋沒シタル物体ニ對シテハ評價人ノ鑑定ヲタル代價ヲ帝國政府ヨリ本人ニ賠償ス牛疫規則ヲ執行スルハ地方廳ノ職掌ナレモ帝國政府ハ特ニ之ヲ監督スルノミナラス必要ナル場合ニ於テハ特ニ委員ヲ任命スルヲアリ疫牛ヲ閉居セシムルヲニ關シテ必要ナル時ハ兵士ノ力ヲ籍ルヲ得ル牛ノ疫病ニ罹リ或ハ疫病ニ罹リタル疑アレハ直チ

ニ之ヲ報告シ且其居住地ニ於テ政廳ヨリ達セラレタル規則ノ實行ヲ扶助スルノ義務アリ若シ之レニ背ケハ各其罪ヲ問ハル此他ノ家畜傳染病ノ豫防モ亦運輸ノ道開ケ家畜賣買ノ範圍擴張シタルニ從ヒ帝國畫一ノ制度ヲ布クヲ要スルニ至リ千八百八十年六月廿三日ヲ以テ帝國家畜傳染病條例ヲ發布シ千八百八十一年三月十二日孝國ニ於テハ其執行規則ヲ發行シタリ(此ニ法律ハ管テ品川大輔ノ命ニ由リ小官之ヲ反譯シ現ニ本省記録課ニアリ)右ノ規則ニ據レハ總テ傳染病ニ罹リタル家畜ヲ輸入スルヲ禁止シ外國ニ於テ家畜傳染病ノ發生シタル或ハ一般ニ家畜ノ輸入ヲ禁止シ或ハ之ヲ制限シ又國境ニ於テ交通ノ制限及家畜ノ検査ヲ執行ス内國ニ於テ家畜傳染病發生シ或ハ其疑アルキハ其所有主或ハ代理者、獸醫及獸肉検査人ハ警察署ニ通知スルノ義務アリ而シテ傳染病ノ發生シタルト否トハ總テ家畜市場ヲ監視スル郡獸醫ノ診定ニ從フ若シ傳染病ニ罹リタル家畜アレハ之ヲ他ノ家畜ト雜居セシメ其使用若クハ放牧ヲ制限シ厩内閉居、庭内閉居及邑内閉居ヲ命シ種痘ヲ施シ獸醫ノ治療

ヲ受ケシメ又之ヲ撲殺セシメ死体及排泄物ニ消毒法ヲ行ハシメ家畜市場ニ停業ヲ命ジ獸醫ヲシテ流行地及其近傍ノ家畜ヲ検査セシムル等ナリ

家畜傳染病條例中ニ掲ケタル各種ノ疾病ニ關シ特別ナル規則左ノ如シ

(一)脾脫疽ニ罹リタル家畜ハ屠殺シ及剥皮スルヲ禁ス死体ヲ解剖スルハ獸醫ニ非ラサレハ之ヲ許サス且死体ハ燒捨或ハ埋沒スルヲ要ス脾脫疽ハ經過速ニシテ多クハ斃死ス植物ノミチ食フ動物(野獸)ヲモ又之レ在リニ發スルモノトス大氣及飲食物中ニ含有シタル傳染毒ノ爲メニ速ニ蔓延ス此傳染毒ハ體軀ノ内外ニ存在シ殊ニ地中ニ在リテ永ク發芽力ヲ有スルモノナリ此故ニ此病ハ或ル地方殊ニ水邊ノ土地ニ於テハ地方病トナリテ屢々發生ス然ルニ動物ヨリ動物ニ傳染スルハ稀ナリトス之ヲ防クニハ其血液排泄物及死体ヲ燒捨若シクハ埋沒スルニアリ

(二)狂癩ニ罹リタル動物及之レニ嚙マレタル犬猫ハ必ス之ヲ撲殺セシム狂犬ノ徘徊シタルヲ知レハ其ノ病ノ恐レアル期限内ハ該地方ノ家犬ヲシテ悉ク繋キ置カシム狂癩病ハ犬ニ最モ多シ然レモ又他ノ動物及人類ニモ之レヲ傳染ス傳染素ハ全体中ニ存スレモ特ニ唾液中ニ多ク故ニ咬嚙ノ爲ニ傳染ス家犬此病ニ罹レハ狂奔シテ猥リニ他ヲ嚙ムノ惡症ヲ發ス其經過速ニシテ治療スルヲナシ

(三)腦漏ハ馬驢騾ニ限リテ發スル病ニシテ此病ニ罹リタルモノハ撲殺シテ其死体ヲ燒捨或ハ埋沒ス通常唯其傳染ノ疑アルモノハ他ノ動物ト分離シ警察ノ視察ヲ受ケシム該病ハ必ス傳染ニ因リテ發スルモノニシテ家畜ノ排泄物ヨリ來ルヲ常トス皮膚ニ腫物ヲ生シ鼻涕ヲ流シ經過徐々ナレモ多クハ斃死ス

(四)アフトンゾイニ罹リタル牛羊豚及山羊ハ他ノ健康ナルモノト分離セシム病畜ノ生乳ハ人ノ飲料ニ供スル事ヲ許サスアフト

テングイへハ發熱症ニシテ口中及蹄間ニ水泡ヲ生シ其經過速
カナレハ斃ル、フ稀ナリ然レモ動物大ニ衰弱ス

(五)癆瘵ニ罹リタル牛ハ撲殺セシム事情ニ因リテハ傳染ノ疑アル
牛ヲモ又撲殺セシムルヲアリ癆瘵ハ牛ニ固有ノ肺癆衝ナリ他
ノ病牛ノ呼氣ヲ吸入シタルカ爲ニ傳染ス其經過緩漫ニシテ肺
ノ一部分ノミ凝固シテ癒ユル事アリ或ハ經過ノ速ナル事アリ
其激症ナルモノニ罹レハ百頭ニシテ五十頭ハ必ス斃ル且療治
スルヲ徐々ニシテ全快ヲ告ルヲ稀ナリ此病ハ多クハ家畜市場
ヨリ傳染蔓延スルモノナレモ經過期頗ル徐々ナルカ故ニ牛疫
ニ比スレハ防禦シカトシトス

(六)痘瘡群羊中ニ發生シタルモハ之ヲ分離シ他ノ健康ナルモノ(事
情ニ因リテハ近隣ノ群羊ニモ)ニ種痘セシム此他漫リニ種痘ス
ルヲ禁ス痘瘡ハ發熱發疹症ノ傳染病ニシテ其傳染素ハ頗ル
揮發性ヲ有ス然レモ一回此病ニ罹リタル群羊ハ再ヒ感染スル

ヲナシ種痘ハ現ニ傳染ヲ防禦スル時ニ限リ豫防ノ爲メニ漫リ
ニ種痘スルヲ許サズ痘瘡ニ罹リ斃死スルモノハ其一割乃至
二割ニ至ル

(七)獸毒ハ馬ニ發スル病ナリ又一種水泡ヲ生スル陰部ノ病ハ牛馬
共ニ之レアリ此病ニ罹リタル牛馬ハ交尾セシムルヲ許サズ
獸毒ハ馬ニ限リテ發スルモノニシテ交尾ノ際ニ感染ス其經過
緩漫ニシテ陰部及皮膚腫脹シ麻痺ヲ來シ時トシテハ之レカ爲
ノ斃ル陰部ニ水泡ヲ生スル病ハ牛馬共ニ交尾ノ爲メニ傳染
スルニ速カニ治癒シテ死スルヲナシ

(八)疥癬馬(驢)羊此病ニ罹レハ必ス獸醫ノ治療ヲ請ハシム疥癬ハ
寄生虫ノ爲メニ生スル腫物ニシテ速ニ蔓延シ且容易ニ傳染ス
疥癬浴ヲ施シテ根治セシム
屠畜舎及公ノ屠畜場ニ於テモ亦右等ノ規則ヲ遵奉ス警察ノ命
令ニ從テ撲殺シ或ハ其命令ヲ受ケタル後傳染病ノ爲メニ斃レ

タル家畜ハ國庫ヨリ賠償ヲ受クヘシ此賠償ハ其通價ニ照シテ之レヲ定ム然レモ腦漏ニ罹リタルモノハ其四分ノ三瘡瘵ニ罹リタルモノハ其五分ノ四ノ賠償金ヲ州廳ヨリ拂渡スヘシ州廳ニ於テハ其費用ハ特別ナル規則ニ隨ヒ馬驢騾及牛ノ所有主ニ配當スルモノトス又組合ノ協議ニ因リ瘡痘ノ爲メニ斃レタル綿羊ノ賠償法ヲ設クルヲ得セシム總テ此賠償額ハ一名ノ郡獸醫及郡委員若クハ府委員中ヨリ撰舉シタル仲裁人二人ヲ以テ組織シタル委員會ニ於テ之ヲ評定ス

此法律ノ執行ハ各國ノ政廳ニ任ス然レモ帝國大宰相ノ監督ヲ受ケ又必用ナル場合ニ於テハ帝國委員會ナルモノヲ置キ畫一ノ政令ヲ施行セシムルモノナリ

(六) 獸獵

獸獵權ハ從來土地上有權ヲ掌有シタル君主及領主ノ特權ニ屬シタルモノナリシカ後世他人ノ所有地ニ於テ隨意ニ獵狩スルヲ禁シタル

以來獸獵權ナルモノハ其土地ノ所有權ニ附帶シタルモノトナレリ此故ニ獸獵權ヲ他人ニ貸スヲ得ルト雖モ永久之レヲ以テ土地ト分離シタル一種ノ權利トスルヲ得ス獸獵權トハ銃殺スヘキ動物ヲ獲取シ得ヘキノ權利ナリ動物ノ銃殺スヘキト否トハ舊領諸州ニ於テハ各特別ナル獸獵規則及森林規則ヲ以テ之レヲ定ム此規則ナキ諸州ニ於テハ總テ國法ニ因ル

獸獵權ヲ保護スルハ權利ナクシテ獸獵ヲ行ヒタルモノヲ罰スルニアリ罪ニ處スルノ傍ラ攜帶シタル銃器及獵犬ヲ沒收ス

其他獸獵ノ裝服ヲナシテ他人ノ土地ニ入りタル者及獸獵シ得ヘキ野禽ノ巢ヲ損スルモノハ各刑法ニ問ハレ六拾馬克以下ノ罰金ヲ科セラレ或ハ十四日以内ノ拘留ニ處セラル

字國獸獵警察規則

第一條 各地主カ其所有地ニ於テ獵權ヲ執行スルニハ次ノ規則ヲ導奉ス

第二條 地主カ其獵權ヲ執行スルヲ得ルハ左ノ場所ニ限ルヘシ

(イ)一町村若シハ數町村ニ跨カル農地或ハ森林ニシテ其面積少クモ三百モルゲン(我ニ反五畝歩餘)ヲ有シ其間ニ他人ノ所有地ヲ雜ヘサル場所但シ道路或ハ池川等ノ其間ニ存スルハ此ノ限りニアラス

(ロ)絶ヘス周圍ニ垣ヲ繞ラシタル土地何ヲ以テ絶ヘス周圍ニ繞ラシタル垣ト見做スヘキヤハ郡長之ヲ定ム

(ハ)湖漁業ノ爲メニ設ケタル池及一個人ノ所有ニ屬スル島嶼

第三條 第二條ニ掲ケタル土地ニシテ四名以上ノ共有物タル時ハ其土地ノ獵權ヲ悉皆ノ地主ニテ執行スルヲ許サス

斯ノ如キ共有地獵權ノ執行ハ地主ノ内一名多クモ三名ニ委任スヘシ然レモ共有主ハ獸獵ヲ停止シ或ハ一獵夫ニ委任シテ獸獵ヲ行ハシメ若クハ賃貸スルハ自由ナリトス

町村或ハ集合体ノ所有地ニ屬スル獵權ノ執行ハ之ヲ賃貸スルカ或ハ一獵夫ニ委任セサルヘカラス

第四條 第二條ニ記載シタル場所ニ屬セサル土地ハ通常町村共有獸獵ト爲ス町村應ニ於テハ數個ノ町村區或ハ一町村區ノ一部分ヲ他ノ町村區ト合併シテ共同獸獵區ト爲スヲ得ヘシ町村應ハ又監視廳ノ認可ヲ經テ一町村内ニ於テ數個ノ獨立獸獵區ヲ設クルヲ得ヘシ然レモ其各獸獵區ハ

少ナクモ三百モルゲン以上ノ面積ヲ有セサルヘカラス第二條ニ載セタル土地ノ所有主ハ其所有地ヲ町村共有ノ獸獵區ト分離スルヲ得ヘシ通常ノ獸獵區ニ於テ右等ノ關係ヲ變更スルニハ三ヶ年ヨリ短カ、ジス六ヶ年ヨリ長カラサル契約ニ從フヘシ

第五條 孤立シタル農地ノ所有主ハ第二條ニ載セタル種類ノ土地ニアラサ

ルモ他ノ所有地ト犬牙錯雜セサル者ハ共有獸獵區ト分離スルヲ得ヘシ第六條 第五條ニ從ヒ共有獸獵區ト分離シタル土地ニ於テハ其分離シタル間ハ全ク獵權ノ執行ヲ停止セサルヘカラス斯ノ如キ土地ノ境界ハ常ニ

明了ニ之ヲ標示スルヲ要ス第七條 三千モルゲン以上接續シテ一人ノ所有ニ屬スル森林ニ全ク或ハ

過半圍繞セラレタル土地ノ所有主ハ第二條ニ載セタル土地ニアラサルモ町村ノ共有獸獵區ト分離スヘシ此ノ如キ土地ノ所有主ハ其周圍ノ森林所有主ノ請求ニ應シ有期貨貸契約ヲ結ビ所有地内ニ於テ獸獵スルヲ許スノ義務アリ

賃貸金額ヲ定ムルヲ關シテ議ノ熟セサル時ハ郡長之ヲ定ムヘシ郡長ノ裁定ニ對スル訴願ハ之ヲ裁判所ニ提出スルヲ得ヘシ

外圍ノ森林所有主ニシテ内地ノ所有主ノ申出アルモ其獵權ヲ賃借セサル時ハ内地ノ所有主ハ其内ニ於テ獸獵ヲ行フヲ得ル

數個ノ土地犬牙錯雜シテ少ナクモ三百モルゲン以上ノ面積ヲ有スル時ハ特立共同獸獵區トナス此ノ獸獵區ニモ亦普通獸獵區ト同一ナル規利ヲ適用ス

第八條 炮臺内及其周圍火藥庫等ノ近傍ニ於テ獸獵ヲ執行スルヲ關スル千八百四十八年十月三十一日ノ法律第五條ハ依然其効力ヲ有スルモノトス

第九條 町村廳ハ總テ獸獵事件ニ關シ一獸獵區ヲ形成スル土地ノ所有主ヲ代理ス種々ノ町村ニ屬スル土地ヲ合併シテ一獸獵區ト爲ス時ハ其代理ニ任スル町村廳ヲ以テ監視廳ト定ム

第十條 町村廳ハ其決議ニ由リ共有獸獵區ニ左ノ所分ヲ行フヲ得

(イ) 全ク獸獵ヲ停止スルヲ

(ロ) 關係地主ノ費用ヲ以テ獵夫ヲ備ヒ禽獸ヲ銃殺セシメテ其利益ヲ収ムルヲ

(ハ) 入札若クハ撰擧法ニ由リテ之ヲ他人ニ賃貸スルヲ

賃貸ノ契約ハ三ヶ年ヨリ短カ、ラス拾二ヶ年ヨリ長カルヘカラス

第十一條 賃貸料及備入レタル獵夫ノ銃殺シタル禽獸ノ代金ハ町村金庫ニ納メシメ町村廳ニ於テハ之レカ爲メニ生シタル費用ヲ差引キタル後所

有地ノ面積ニ應シ之ヲ共有獸獵區ノ各地主ニ配當スヘシ

第十二條 第二條ニ載セタル場所及共有獸獵區ノ獵權ハ決シテ三人以上連帶賃借ヲ爲スヲ許ス右ノ如キ契約アルモ無効トス

監視廳ノ認可ヲ得ルニアラサレハ外國人ハ獵權ヲ賃借スルヲ得ス又貸主ノ許可ヲ受ケスシテ復賃貸ヲ爲スヲ得サルモノトス

第十三條 共有獸獵區ノ賃借人及第二條ニ載セタル土地ノ所有主ハ其獵區ニ獵夫ヲ置クヲ得

第十四條 獸獵ヲ爲サント欲スル者ハ全國ニ向ヒテ一ケ年間効力ヲ有シ其姓名ヲ記載シタル獸獵免狀ヲ其居住地ノ郡長ニ請求シ獸獵ヲ爲スニ際リ常ニ之ヲ携帯セサルヘカラス

外國人モ亦內國人ノ保證アレハ保證人ノ居住地ノ郡長ニ右ノ獸獵免狀ヲ請求スルヲ得ヘシ保證人ハ外國人ニ關スル第十六條第十七條及第十九條ノ罪及審判費ニ對スル責任ヲ負フヘシ

獸獵免狀一個ニ付キ一年一「タ」レルヲ郡廳ノ金庫ニ納ムヘシ此ノ收入金ハ郡會ノ決議ヲ以テ之ヲ使用ス

獸獵免狀調製ノ爲メニ特ニ費用及印稅ヲ收メス

政府或ハ地方ノ山林及獸獵ノ職務ヲ奉スル者ハ其擔當區内ニ限リ獸獵ヲ

爲スカ爲メニ無稅獸獵免狀ヲ得ヘシ

此ノ無稅獸獵免狀ニハ該擔當區ノ地名ヲ記載スルヲ要ス

第十五條 左ノ人物ニハ獸獵免狀ヲ與ヘス

(イ) 獵銃ノ不注意ナル取扱ト公安ヲ害スルヲニ懸念アル者

(ロ) 法律上兵器ヲ使用スルノ權利ヲ剝脱セラレタル者警察ノ監視ニ附セラレタル者或ハ國民タルノ權利ヲ失ヒタル者

其他森林或ハ獸獵ニ關スル罪ヲ犯シ或ハ火器ヲ誤用シテ罪ヲ得タル者ニハ犯罪後五ケ年間獸獵免狀ヲ與ヘサルモノトス

第十六條 獸獵免狀請求ニ關スル前條ノ規則ニ注意セサリシ者ハ左ノ料

料金ヲ命ス

獸獵免狀ヲ受ケスシテ獸獵ヲ爲シタル者ハ五「タ」レル以上二十「タ」レル以下

獸獵免狀ヲ携帯セスシテ獸獵ヲ爲シタル者ハ五「タ」レル以下

他人ノ獸獵免狀ヲ以テ自家ノ免狀ナリト詐リ罪ヲ免カレンヲ謀リタル

者ハ五「タ」レル以上五十「タ」レル以下

第十七條 獸獵免狀ヲ携帯スルト雖モ獵權所有主ト同行或ハ其許可狀ヲ
携帯セスシテ他人ノ獸獵區内ニ於テ獸獵スル者ハ二「タ」レル乃至五「タ」
レルノ科料金を命ス

所有地内ノ獸獵ヲ全ク停止スヘキ義務アル者ニシテ獸獵ヲ爲シタル時ハ
拾「タ」レル乃至二拾「タ」レルノ科料金を命シ携帯シタル獸獵器ヲ沒取ス
ヘシ

自家ノ所有地ト雖モ其獵權ヲ第三者ニ賃貸シ或ハ關係地主共同シテ一獵
夫ニ委任シタル土地ニ於テ賃借人若クハ町村廳ノ許可ヲ經スシテ獸獵ヲ
爲シ或ハ其權利ナクシテ他人ノ所有地ニ於テ獸獵ヲ爲シタル者ハ野獸盜
或ハ獸獵犯罪ヲ以テ問ハレ一般ノ法律ヲ以テ處分セラレヘシ

第十八條 禁獵期及休養期ヲ定ムルハ千八百四十八年十月三十一日ノ法
律ヲ發布シタル際現行セラレタル法律ニ依ル

千八百四十二年十二月九日ノ勅令第一條第二條及千八百四十三年三月七

日ノ布達ハ再ヒ其効力ヲ有セシム其他禁獵期及休養期ニ關スル規則ノ違
犯ハ裁判官ノ鑑定ニ從ヒ五拾「タ」レル以下ノ科料金を命ス

第十九條 獸獵警察規則ヲ犯シタル時其家眷奴僕徒弟或ハ傭夫ヲ助手ト
シテ携ヘタル者ハ自己ノ命セラレタル罪科ノ外其携ヘタル者カ無資力ニ
シテ納ムルコト能ハサル科料金及損害賠償ヲ負擔スヘシ

第二十條 獸獵警察規則ノ犯罪ハ其當日ヨリ檢察官或ハ裁判官ニ告訴ス
ルマテ三ヶ月以上ヲ經過シタル時ハ復タ其罪ヲ問ハス

第二十一條 獵權ヲ執行スルコトヲ得サル者ト雖モ其所有地ニ鳴子、案山子
及垣ヲ設ケテ野獸ノ害ヲ防クコトヲ得ヘシ猪鹿ヲ逐フカ爲メニ矮少ナル家
犬或ハ通常ナル家犬ヲ使用スルコトヲ得

第二十二條 共有獸獵區ノ一部分タル土地或ハ周圍ノ森林所有主カ獵權
ヲ有スル土地ニシテ森林ノ近傍ニ接シ該森林中ヨリ野獸出テ、著シク損
害ヲ與フル時ハ郡長ハ被害地所有主ノ請求ニ由リ其實況ヲ検査シ休養期
中ト雖モ其獵權所有主ヲシテ野獸ヲ銃殺シテ其害ナキニ至ラシムルノ權

利アリ獵權所有主ニシテ此ノ命令ニ從ハス充分ニ被害地ヲ保護ヒサル時
ハ郡長ハ被害地ノ所有主ニ許可スルニ其所有地ニ入りタル野獸ヲ捕獲シ
或ハ銃殺スルヲ以テスヘシ
野兎非常ニ蕃殖シテ園圃ヲ害スルヲ甚シキ時モ亦前ノ如ク之ヲ獲殺スル
ヲ得ル

郡長ノ命令ニ對シテ上班行政廳ニ控訴スルヲ得ルモ郡長ノ命令ハ上班
行政廳ノ判決ヲ得ルマテ假リニ執行スルモノトス
郡長ノ許可ヲ得テ被害地所有主ガ獲殺シタル野獸ハ地方普通ノ彈藥料ヲ
以テ獵權所有主ニ返却セサルヘカラス而シテ此ノ際ハ二十四時間内ニ報
知スルヲ要ス

第二十四條 第七條ノ場合ニヨリ全ク獸獵ヲ爲スコ能ハサル森林内地ノ
所有地ニシテ著シク野獸ノ害ヲ被ルモ周圍ノ森林所有主郡長ノ命ニ應シ
テ充分ニ野獸ヲ銃殺セサル時ハ郡長ニ向ヒ實地ヲ檢査シテ其所有地ニ侵
入シタル野獸ヲ獲殺スヘキ許可ヲ得ンヲ請求スルノ權利アリトス

此ノ場合ニ於テハ獲殺シタル野獸ハ森林内地所有主ノ所得ニ歸ス

第二十三條及第二十四條ノ場合ニ於テハ郡長ノ許可狀ヲ以テ獸獵免狀ニ
代ユヘシ

第二十五條 野獸ノ爲ニ被リタル損害ハ法律上ノ請求ヲ爲スヲ許サス
然レモ獵權賃借人ハ其獵權賃借契約中ノ野獸ノ害ニ注意スヘキ箇條ヲ守
ルヘキハ勿論ナリトス

第二十六條 (廢條)

第二十七條 郡廳ニ屬セサル市府ニ在リテハ本法律ニ於テ郡長ニ委任シ
タル權利ハ其地ノ警察署ニ於テ執行シ郡廳ノ金庫ニ納ムヘキモノハ市府
ノ金庫ニ納メシム

第二十八條 標杭ヲ設ケタル炮臺區域千三百步以内ノ地ニ於テ獸獵ヲ爲
サント欲スル者ハ豫メ其炮臺司令官ヨリ獸獵免狀ノ檢査ヲ受ケサルヘカ
ラス

此ノ規則ニ違背スレハニタール以上五タール以下ノ科料金ヲ命ス

第二十九條 第十六條第十七條第十八條及第二十八條ノ場合ニ於テ犯罪者科料金ヲ納ムルノ資力ナキ時ハ之レニ相當シタル禁錮ニ處ス

第三十條 本法律ニ抵觸スヘキ規則ハ悉皆廢止ス

第三十一條 本法律ノ實行ハ農務大臣ニ委任ス

禽獸休養期ニ關スル法律(千八百七十一年二月廿六日發布)

天祐ヲ享有シテ宇滯生國王タル朕維廉國會兩院ノ贊同ヲ得ホーヘンツルレ州ヲ除クノ外王國全版圖ニ向ヒテ布令スルヲ左ノ如シ

第一條 獸獲ヲ禁止スルヲ左ノ如シ

(一)「エーレンチール」一種ノ 十二月一日ヨリ八月終ニ至ル

(二)「トートウルド」及「ダンムウイルド」共ニ一種ノ 牡三月一日ヨリ六月終ニ至ル

(三)全上ノ牝及子二月一日ヨリ十月十五日ニ至ル

(四)「レー」一種ノ 小鹿ノ 牡三月一日ヨリ四月終ニ至ル

(五)全上ノ牝十二月十五日ヨリ十月十五日ニ至ル

(六)全上ノ子周年

(七)「狸」十二月一日ヨリ九月終ニ至ル

(八)「アウエル」一種ノ「ピル」一種ノ 及「雄」六月一日ヨリ八月終ニ至ル

(九)鴨四月一日ヨリ六月終ニ至ル土地ニ因リ縣廳ヨリ鴨ノ休養期ヲ廢スル

得

(十)「トラッ」一種ノ 鴨野鴨及他ノ水鳥類(野雁及鷺ヲ除ク)五月一日ヨリ六月終

ニ至ル

(十一)「レーブフオン」一種ノ 十二月一日ヨリ八月終ニ至ル

(十二)「アウエル」一種ノ「ピル」一種ノ 雌鷓野兔二月一日ヨリ八月終ニ至ル

(十三)「レーブフオン」野兔及「レー」ヲ捕獲スルニ係蹄ヲ以テスルヲ許サス他

ノ害鳥類殊ニ鷓鷯等ハ常時獵獲スルヲ得ル

「ロートウイルド」及「グンムウイルド」及「レイ」ノ子ト稱スルハ其生レタル年ノ十月三十一日以前ノモノヲ云フ

第二條 縣廳ハ第一條第七項第十一項及第十二項ニ掲ケタル禽獸類ニ限

獨乙國取調書 農林及獵漁制度

リ耕作及獵獲上ノ便益ヲ謀リ毎年特別ナル規則ヲ發シテ此休養期ノ始及終ヲ變更スルヲ得ヘシ然レモ休養期ノ始メ或ハ終ノ第一條ニ示シタル時日ヨリ二週間以上早クシ或ハ遅クスルヲ得ス

第三條 地方ニ依リ禽獸ノ害ヲ防禦スルカ爲メニ休養期中ト雖モ法律上獲殺スルヲ許シタルモノハ此法律ノ爲メニ變更スルヲナシ

第四條 周圍ニ籬垣ヲ設ケタル園中ニ於テ禽獸ヲ獲殺スルヲ對シテハ此ノ法律ヲ應用セス然レモ此ノ如キ園中ニ於テ獲殺シタル禽獸類ヲ休養期中ニ賣却スルヲハ第七條ノ規則ニ從フヘシ

第五條 前記ノ休養期中ニ禽獸ヲ獲殺シ或ハ係蹄ヲ使用シテ之ヲ捕ヘタル者ハ(第一條第十三項)次ノ罰金ヲ科ス

- (一)「エーレンチャール」 一頭 五〇「ターレル」
- (二)「ロートウイルド」 一頭 三〇「ターレル」
- (三)「ダンムウイルド」 一頭 二〇「ターレル」
- (四)「レー」 一頭 一〇「ターレル」

(五)狸 一頭 五「ターレル」

(六)「アウエル」ノ雄或ハ雌 一羽 一〇「ターレル」

(七)「ビルク」ノ雄或ハ雌 一羽 三「ターレル」

(八)「ハーゼル」ノ雄或ハ雌 一羽 三「ターレル」

(九)雉 一羽 一〇「ターレル」

(十)鶉 一羽 一〇「ターレル」

(十一)「トラッペ」 一羽 三「ターレル」

(十二)兔 一羽 四「ターレル」

(十三)「レープフーン」 一羽 二「ターレル」

(十四)鴨鵝其他獵獲シ得ヘキ

水鳥 一羽 二「ターレル」

宥恕スヘキ事情アル時ハ裁判官ハ此罰金ヲ一「ターレル」迄ニ減少スルヲ得ヘシ

罰金ノ處分ヲ受ケタル者無資力ニシテ之ヲ納ムルヲ能ハサルキハ刑法第

第三百三十五條ニ從ヒ罰金ニ代ルニ禁錮ヲ以テス

第六條 獵權ヲ有スル者ト雖モ野禽ノ卵子或ハ雛ヲ捕フルヲ得ス然レ

モ解卵スルノ目的ヲ以テ野ニ産ミ置キタル雛ノ卵子ヲ取ルハ妨ケナシ

四月三十日以後ニ秧雞ノ卵子ヲ採ルモ亦然リ

此ノ禁制ヲ犯ス者ハ刑法第三百四十七條第十二項ヲ以テ定メタル罰ニ處

ス

第七條 既ニ休養期ニ入りテ十四日ヲ經タル後其獵獲ヲ禁ジタル禽獸ノ

全体或ハ一部分ニシテ未タ調理ヲ加ヘサルモノヲ行賣シ店頭市場其他ニ

於テ賣却スル者或ハ此販賣ノ媒介ヲ爲シタル者ハ其禽獸ヲ沒收シ三十

トレルノ罰金ヲ科ス此禽獸及罰金ハ其地ノ救貧金庫ノ収得ニ充ツ

第三條ニ示シタル例外ノ場合ニ於テ獲殺シタルモノヲ賣却セント欲スレ

ハ其地ノ警察署ノ證書ヲ受ケ販賣ノ權アルヲ證明スヘシ若シ之ニ違犯

シタルモノハ五トレル以下ノ罰金ニ處ス

第八條 凡テ本法律ニ抵觸スル法律規則類ハ之ヲ廢止ス

總テ獸獵ヲ制限スルヲナシ全ク之ヲ自由ニ放任スレハ之ヲ濫用スル
 モノナキニアラス故ニ生命財產ヲ保護シ且ツ農業森林ヲ害セサルノ
 範圍内ニ於テ禽獸類ヲ保存スルカ爲メニ獸獵上一二ノ制限ヲ設ク即
 チ地主ト雖モ唯籬牆ヲ繞ラシタル地面内或ハ少クモ三百モルゲン
 ルゲンハ凡我ニ面積ヲ有スル土地ニアラサレハ獸獵ヲ行フヲ得ス敷
 反一畝歩半リノ面積ヲ有スル土地ニアラサレハ獸獵ヲ行フヲ得ス敷
 名共有ノ土地ニ於テハ其三人以上獸獵ヲ爲スヲ得ス總テ此他ノ土
 地ハ該町村ノ共有獸獵區ト爲ス

共有獸獵地ノ所有主ノ獸獵權ハ邑廳ニ於テ之レヲ代掌シ獸獵ヲ停止
 シ或ハ權利者等ノ利益ヲ計ルカ爲メニ一名ノ獵夫ニ命シテ獸獵ヲ爲
 サシメ或ハ三ケ年乃至十二ケ年間ノ期限ヲ以テ三名以下ノ者ニ賃貸
 スルヲ得ル總テ獸獵ヲ行フニハ獸獵鑑札ヲ受ケ且ツ之ヲ携帯スヘシ
 獸獵權所有者ノ同道セサル時ニハ其委任狀ヲ携帯スルヲ要ス獸獵免
 許證ハ一ケ年間ノ期限ヲ以テ郡長ヨリ之レヲ渡スヘシ免許證ヲ受ク
 ル時ハ手数料ヲ收メシム

一地方ニ於テ得タル處ノ免許證ハ全國ニ向テ其効力ヲ有スルモノト
 ス手數料ハ通常三馬克ニシテチウエンブルクニ於テハ六馬克ハンノ
 ーブルクニ於テハ九馬克ヘツセンナツサウニ於テハ七馬克ホーヘンツ
 ルレンニ於テハ八馬克半トス地主ハ野獸ニ對シテ一定ノ防禦法ヲ行
 フヲ得ルト雖モ之レカ爲メニ他ニ賠償ヲ請求スルノ權利ナシ野禽
 野獸ノ休養期ハ全國一様ニ之レヲ定ム此等ノ法律ノ目的ハ獵夫多キ
 ニ過キ又不適當ナル獸獵ヲ爲スノ弊害ヲ防クニアレモ尙ホ犯則者多
 クシテ其目的ヲ全クスルヲ能ハス且大所有地ヲ分割シタル場合ニ於
 テハ其殘余ノ土地ヲ以テ町村ノ共有獸獵區ト爲スハ頗ル困難ナルモ
 ノアリ故ニ此法律ノ改正ヲ試ミタレモ未タ完全ナル結果ヲ得スト云
 フ

(七) 漁業

獵權ノ土地所有權ヨリ生シタルカ如ク漁權ハ素ト水ノ所有權ヨリ生
 シタルモノナリ然ルニ此ノ如キ權利ハ原則上特ニ止水ニ就キテノミ

談スヘキモノトス流水ニ於テハ特別ナル漁權ノ制アリ千八百四十五
 年九月二十三日ノ上裁判所ノ判決ニ依ルニ私川ノ漁權モ亦其水岸
 地主ノ掌有スル所トス公河ニ於ケル漁權ハ通常政府ニ屬ス漁權ノ判
 然タラサル場合ニ於テハ町村ヲ以テ其所有主ト定ム

漁業警察

直接ニ漁業ヲ獎勵スルノ傍ラ李國政府ハ又大ニ之ヲ保護スルヲ注
 意シ千八百七十年以降獨乙漁業協會ヲ設ケシメタリ是レ東海及北海
 ナ試験シ沿海漁業ヲ震起セシムルヲ以テ目的トシ年々政府ノ保助金
 ナ得ルモノナリ從來漁業ニ關スル各種ノ法令ハ頗ル多般ニシテ錯雜
 ナ極メタルヲ以テ成ルヘク通航工業及農業ヲ妨ケサルノ範圍内ニ於
 テ水族ノ蕃殖ヲ謀リ漁業ヲ勸ムルカ爲メニ千八百七十四年五月三十
 日漁業律ヲ發布シ其後千八百八十年三月三十日之ヲ增補改正シタリ
 該法律ハ蟹、蝦、牡蠣、貝類其他有要水族ノ捕獲ヲモ調理スルモノナレモ特
 ニ沿海及淡水漁業上ニ止マルモノニシテ遠海漁業ハ列國同盟的ノ問

題ニ屬ス千八百八十二年五月六日ノ發布ニ係ル英、佛、白、蘭、丁トノ北海
 漁業條約ノ如キ是ナリ凡ソ水産經濟ニ便ナラサル漁權ハ其所得高ナ
 賠償シテ之ヲ制限シ或ハ廢止スルコトヲ得又町村ニ於テ漁權ヲ所有
 スル時ハ特ニ備入レタル漁夫ヲシテ之ヲ執行セシメ或ハ之ヲ他人ニ
 貸貸ス連續シタル一大漁區ノ漁權所有者ハ協同シテ監視、保護、營業上
 ノ目的ヲ以テ協會即漁業組合ヲ組織スルヲ得ヘシ漁權所有主ト同
 行セスシテ漁撈ヲ爲スモノハ必ス其許可狀ヲ攜帶セサルヘカラス毒
 餌破裂藥ノ如キ有害的ノ漁法及魚類ノ通行ヲ妨クヘキ裝置ヲ設クル
 ヲ禁シ水族ヲ養護センカ爲メニ特別ナル州法律ヲ發布シテ販賣ス
 ヘキ魚類ヲ最小寸尺及重量ヲ定メ禁漁期ヲ設ケ漁具ニ制限ヲ設ケシ
 ム又該法律ハ水族ノ放卵及其海中ニ出入スルヲ妨ケサルカ爲メニ内
 地漁業上禁漁區ナルモノヲ置カシム漁道ヲ設ケテ鮭、鱒、鱒魚、鰻魚ノ昇
 降ヲ便ニシ農工業的ニ使用シタル惡水殊ニ晒麻用ニ供シタル汚水ヲ
 流水中ニ注流スルヲ禁シ新タニ「トールピーン」水車ヲ建築スル者ニハ

上流ニ護柵ヲ設ケシメ又漁權者ヲシテ鳥銃ヲ用ヒサル以上ハ隨意ニ
 獺鷺等ノ有害禽獸ヲ獲殺スルヲ得セシメ其他漁權者漁業組合及町
 村ヲシテ漁業監視者ヲ置クヲ得セシメ政府モ亦監漁官、監漁官ヲ任
 命シ地方警察規則上漁撈ニ關スル事務ヲ掌理セシムル等注意頗ル懇
 篤ナリ右等ノ法律ニ違背シタル者ハ各其罪ニ處セラル現行犯ヲ發見
 スレハ右等ノ官吏ハ犯罪者ノ攜帶シタル漁類ヲ沒取シ漁船及漁具ヲ
 差押ヘテ罰金ノ抵當ト爲スヲ得
 幸國ノ漁業制度ハ小官與水産局長ト共ニ調査シ殆ソト其精細ヲ得タ
 リ右取調書類ハ與水産局長隨行官牧野農商務屬攜帶歸朝スヘキヲ以
 テ今茲ニ之ヲ贅セス

○工業

工業トハ總テ物品ニ加工シテ利益ヲ得ルハ職業ニシテ原料ノ生産及製造物ノ配布即農ト商トハ中間ニ位スルモノヲ謂フ然ルニ其實農工商ノ三業ハ混淆シタルモノ多ク原料ヲ産シテ直チニ之ヲ製造スルモノアリ製造家自カラ之ヲ販賣スルモノアリ今左ニ記載スルモノハ純然タル工業ニ關スルモノトス

工業ハ特ニ製造ノ原料ヲ要スルノミナラス又大ニ資本ト働方トヲ要スルモノナリ此ノ三者大小ノ關係ニ由リテ大工業グロウスケウエリス中工業クライネグロウエリス及小工業ノ別起ル大工業ニ於テハ通常機械ヲ使用スルヲ多クシテ小工業ハ手術ヲ主トス又大工業ニ在リテハ其工場主ハ之ヲ監視スルニ止マレ小工業ニ於テハ自カラ勞働シテ職ニ就クモノトス然レモ此ノ二者ノ境界頗ル判然タラス唯比較的ノ名稱ニシテ何等以上ヲ大工業トシ以下ヲ小工業トスルカヲ概定スルヲ能ハス學國ノ法律文中往々大中小工業ノ文字アルヲ以テ茲ニ一言スルモノナリ

從前ハ加工品ノ種類ニ依テ工業ヲ分別シタレハ職業ノ自由ト工藝ノ
 進歩トハ全ク此ノ區畫ヲ排シタリ故ニ今ヤ各工業ノ各地ニ散在スル
 ヲ知ラシムヘキ職業統計ハ特ニ其大体ニ就キテ種類ヲ區別スルニ
 過キサルナリ千八百七十五年ノ職業調査ニ依ルニ孛國ノ人口二千七
 百二十八萬七千八百六十名中職業ニ從事スル者ハ一千七百七十一萬二
 千四百八十五名ニシテ其種類左ノ如シ此ノ統計調査ハ財政的ノ目的
 ニ基キタル千八百八十二年二月十三日ノ法律ヲ實行シタルモノトス

番 號	職 業 ノ 種 類	總 數	百 分 比 例
壹	農業、牧畜、園藝、山林、漁業、蠶蠶	四六九二三四八	四〇、〇六
貳	鑛山、冶金、製造、建築	三六五〇六二六	三一、一八
參	商業、運輸	九一一七〇六	七、七八
肆	從僕、日傭、及其時々變更スル者	二七八九二三	二、三八
伍	官吏、軍人、僧侶、學者、代言人等	五八七二一〇	五、〇一
陸	無職業	七〇五四九五	六、〇二

質 總 計

無職業者ニ使役セラル、者

八八六一七七
一一七一二四八五

七、五七
一〇〇、〇〇

工業ヲ管理スル獨逸帝國ノ最高衙門ハ帝國內務省ニシテ孛國ニ於テ
 ハ其商工務省トス而シテ職業警察上ニ於テハ內務省又工學上ニ於テ
 ハ文部省ト連帶掌理スルモノナリ而シテ立法上ノ監視權ハ帝國政府
 ニ屬シ職業ヲ保護進歩セシムルヲ勤ムルハ各國政府ニ任ス孛國商
 工務卿ノ諮問機關ハ工藝會議及工業學校是ナリ工業ニ關スル一般ノ
 詞訟ハ普通裁判廳及行政廳ニ於テ之ヲ掌理ス唯其異ナルモノハ萊因
 州ノ工業裁判所及州及ヒ縣ニ置キタル工場監督ナリ工場監督ハ工場
 ノ視察及幼工ノ就職ヲ視察スルノ責ニ任ス工場監督ハ工職參議官ト
 稱シ候補官吏ノ上席トス其職務章程ハ千八百七十九年五月二十四日
 ノ達ニ由ル千八百七十六年以來工場監督ノ報告ハ年々政府ヨリ之ヲ
 出版スルニ至リタリ曩ニ千八百四十九年職業協會ナルモノヲ設置シ
 タレハ永續スルヲ能ハサリシ今ヤ商業ト聯帶スルモノハ商業會議所

又全体ノ經濟ニ涉ルモノハ經濟會議ニ於テ之ヲ代表ス其他學國ニ於テハ特ニ工業者ヲ代表スヘキ機關ナシ
 何レノ國ニテモ工業ナルモノハ最初市府ニ於テ發生スルモノニシテ學國ノ工業モ亦然リ故ニ其保護上ノ必要ヨリシテ中古以降市府ノ法律ヲ以テ工業者ヲ團結セシメタリ此ノ如キ組合ヲ「ギルド」ツツテ及「インダンゲン」等ト稱シ一種ノ特權ヲ有セシメタルモノナリ此ノ組合ハ工業ヲ振起セシムルヲニ與カリテ力アリシト雖又傍ラ其特權ヲ特ニ禁制權ヲ濫用シ組合中ニ他人ノ加入スルヲ拒ム等ノ利己主義ヲ行ヒタルヲモ亦寡ナカラス此ノ弊ヤ第十七世紀ニ於テ最甚シカリシモ第十八世紀ニ至リ政權殊ニ警察規則ヲ以テ之ヲ制限シ當世紀ノ初メニ於テハ尙ホ種々ノ餘弊アリシモ有名ナルスタイン、ハルデンブルクノ法律出テ工業家ノ舊弊ト政權ノ壓制トヲ除却シ工業ヲシテ自由ノ域ニ入ルヲ得セシメタリ爾來學國ノ政府ハ市府ノ工業ニ制限ヲ設クルヲ或ハ一定ノ人物若クハ市府ニ限リ之ヲ制限スルヲ其他各

種ノ特權及特有權等ヲ廢止シ唯公益上止ムヘカラサルノ制限ノミヲ存シタリ今ヤ又此ノ原則ニ基キ帝國ノ法律ヲ以テ全國一般畫一ノ職業條例ヲ發布シタリ斯ク職業ニ關スル監督及法律ノ帝國政府ニ於テ掌理スル所トナリシヨリ凡テ帝國ノ臣民タルモノハ帝國內ニ於テ工業上又同等ノ權利ヲ有スルニ至レリ唯タ或ル物品ノ製造及技藝學術ニ關スル職業及他ノ營業ニ對シテ帝國或ハ各國ノ法律ヲ以テ特別ノ規則ヲ設ケタルモノアリ即チ職業條例第六條ノ規則ハ漁業者、代言人、公證人、藥舖、兒童教育場（教授料ヲ收ムルモノ）外國移民會社、保險營業、鐵道企業者、航海營業ニ適用セズ鑛山營業及醫術ヲ開業スルヲ醫藥ヲ販賣スルヲ富講ヲ開設スルヲ及牧畜ニ關シテモ亦普通ノ職業條例ニ違フモノアルカ如キ是ナリ建築、火災、衛生、保安、風俗ノ警察ニ關スル規則ノ如キモ亦然リ又帝國及各國ノ法律ノ外各種ノ職業上其地方應ノ規則ニ從フヘキモノアリ是風俗習慣ヲ酌量シテ適當ノ政治ヲ行フノ餘地ヲ殘スモノナリ

字國ノ工業ニ關スル制度ヲ知ラント欲セハ職業條例

獨逸職業條例

第一章 通則

- 第一條 本法律ニ特定シタル制限ナキ以上ハ各人營業ノ自由ヲ有ス
現在營業ノ權利ヲ掌有スル者ハ本法律ノ望ム所ノ資格ニ欠クル所アルカ
爲メニ營業權ヲ失フコトナシ
- 第二條 營業上市在ノ別及其範圍ノ制限ヲ廢止ス
- 第三條 同時ニ數職業ヲ營ミ及數所ニ同一ノ工場或ハ賣店ヲ置クコトヲ得
ル職工カ自製ノ物品ヲ販賣スルコトヲ制限セス
- 第四條 同業組合及商會ハ他人ノ營業ヲ故障スルノ權利ナシ
- 第五條 關稅租稅及郵便ノ諸規則ニ關スル營業ノ制限ハ本法律ノ爲メニ
變更セス
- 第六條 本法律ハ漁業藥舖ノ開業及移轉報酬ヲ收ムル幼兒養育所教育事
業代言及公證事務海外移住事務及其金主保險營業鐵道營業地方運送營業

船○船○上○海○員○ノ○權○利○等○ニ○適○用○セ○ス
鑛○山○營○業○開○業○醫○藥○種○商○水○先○案○內○及○牧○畜○營
業ニハ本法律ニ於テ其明了ナル規則ヲ掲ケタル箇條ノミヲ應用ス
何等ノ藥品ハ自由賣買ヲ許スヘキヤハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第七條乃至第十條(古來ノ習慣上ヨリ成立シタルモノニシテ所謂營業株ヲ有
スル者ノ外ハ該營業ヲ爲スコト能ハス或ハ酒店販賣區域ヲ定メ需用者ヲ
テ他ノ區域ヨリ購求セシメサル制限等種々ノ習慣ヲ廢止スル規則ナルヲ
以テ反譯スルノ必要ナシ)

第十一條 獨立營業ヲ爲スノ權利上ニ於テ男女ノ區別ヲ設ケス
獨立シテ職業ヲ營ム所ノ女子ハ其結婚シタルト否トヲ論セス其營業上ニ
關シ特立シテ裁判ヲ仰キ且法庭ニ出ツルコトヲ得然レモ其營業上ノ事件ニ
於テハ聯邦各國内ニ行ハル、所ノ女子ノ法律上ノ特典ナルモノヲ請求ス
ルコトヲ得ス此ノ場合ニ於テハ特立營業ナルト合業ナルト又自身ニ營業ス
ルト他人ニ代理セシムルトヲ以テ分別スルコトナシ

第十二條 外國ノ法人ノ營業上ニハ聯邦各國ノ法律ヲ適用ス

軍人官吏及其家眷ノ營業ニ關スル制限ハ本法律ノ爲メニ變動スルコトナシ
第十三條 何等ノ町村ニ於テ何等ノ職業ヲ營マント欲スルモ其町村ノ住民權ヲ有スルト否トニ關係ナシ

一旦職業ヲ開キ三ヶ年ヲ經タル後其現行邑治法ニ基キ町村廳ノ請求アレハ該營業者ハ其住民權ヲ帶フルノ義務アリ然レ此ノ場合ニ於テハ慣例ノ住民權金ナルモノヲ賦課シ或ハ該營業者カ他所ニ於テ得タル住民權ヲ棄ツヘキコトヲ請求スルヲ得ス

第二章 常營業

(壹) 通則

第十四條 特立シテ常營業ヲ始ムル者ハ聯邦各國ノ法律ヲ以テ定メタル所轄官署ニ届出サルヘカラス徘徊營業第三章ヲ爲ス者モ亦同シ
動産或ハ不動産火災保險會社ノ代理若クハ其代理トシテ火災保險ノ媒介ヲナシ代理ヲ擔任シ及之ヲ廢業シタル者ハ八日以内ニ又書籍印行石版印行書籍圖画古本貸本商書籍縱覽所持主印刷物新聞紙及畫像ヲ販賣スル者

ハ遅クモ其開業或ハ移轉ノ日マテニ其地ノ所轄官署ニ届出ツヘシ

第十五條 所轄官署ハ三日以内ニ届濟ノ證書ヲ下附スヘシ

許可ヲ得テ開業スヘキ職業ヲ許可ヲ經スシテ始メタル時ハ警察上其營業ヲ停止スルコトヲ得

(貳) 特則

(イ) 特許ヲ受クヘキ工場

第十六條 工場ノ位置或ハ性質ノ爲メニ所有主或ハ近隣若クハ公衆ノ爲メニ著シキ損害危險及困難ヲ來タスノ恐アル工場ヲ建設セント欲スル者ハ聯邦各國ノ法律ヲ以テ定メタル官署ノ許可ヲ得ヘシ
此ノ許可ヲ仰クヘキ工場左ノ如シ

火藥製造所煙火及各種摺附木製造場石腦油蒸溜場褐炭釜見石炭釜見及骸炭再製場玻璃竈松煙竈石灰煉瓦及石膏竈製鐵所熔鐵爐鑄造場鍛冶場各種化學的工場速成晒布場假漆製煉場澱粉製造場馬鈴薯澱粉製造場ヲ除ク澱粉糊蠟引布腸條屋瓦紙膠肝油石鹼製造場獸骨ヲ燃燒シ乾燥シ或

ハ水素スル工場、獸毛加工場、脂肪熔製造屠畜場、鞣皮場、剝皮場、肥粉製造場、積水堰、葎草燻製場、地漚青及漚青再製場、紙紗製場、獸腸加工場、汽鐘或ハ他ノ鑄着鉄板ヲ製造スル工場、加里製煉場、木材ニ熱油ヲ浸入セシムル工場、獸毛染場、ツェルロイド及デグラース製造場

右ノ工場ヲシテ特許ヲ受クルコトヲ要セサラシメ或ハ他ノ工場ヲシテ特許ヲ受ケシムルニハ聯邦參議院ノ決議ニ由リ次回ノ帝國々會ノ認可ヲ經ルヲ要ス

第十七條 右等ノ工場建設ノ許可ヲ請求スルニハ其詳明ニ必要ナル圖面及解説ヲ附スヘシ

此ノ請願ヲ許可スルモ不都合ナキヤ否ヤ明了ナラサル時ハ其官署ノ官報ヲ登載スヘキ新紙ヲ以テ新ク工場ヲ設置スルニ附キテ故障アレハ該新紙發布ノ日ヨリ起算シテ十四日以内ニ故障ヲ申出スヘキコトヲ公告スヘシ私權ニ涉ラサル所ノ抗拒ハ該期限ヲ經過シタル後ハ總テ効力ナキモノトス

第十八條 他ヨリ故障ヲ申出ル者ナキ時ハ官署ハ果シテ該工場ハ著シキ公衆ノ危險損害ヲ來タスヘキヤ否ヤヲ検査スヘシ此ノ検査ニ際スレハ併セテ現行建築火災衛生ノ三警察規則ニ注意シテ之ヲ許否シ或ハ必要ナル訓令ヲ爲スヘシ此ノ訓令ニハ職工ノ生命及健康ヲ保護スヘキ箇條ヲモ亦含蓄スヘシ許否ノ指令書ニハ許可セサルノ理由或ハ許可スルニ必要ナル約束ヲ記載スヘシ

第十九條 特別ナル私權上ノ故障ハ裁判官ノ判定ニ任シ工場ノ許可ヲ與フルコトハ其裁判ノ如何ニ關係セズ

其他ノ故障ニ關シテハ充分ニ企業者及抗拒者ヲ吟味シタル後第十八條ニ從ヒテ之ヲ検査裁定スヘシ此ノ裁定ハ企業者及抗拒者ニ申渡スヘシ

第二十條 此ノ裁定ニ對シテ復審ヲ乞ハント欲スレハ裁定ノ申渡ヲ受ケタル日ヨリ起算シテ十四日以内ニ之ヲ上班官署ニ訴フヘシ復審ノ判決書ハ其理由ヲ附シテ企業者及抗拒者ニ下附スヘシ

第二十一條 右ノ始審及復審ノ官署及其裁判法ハ聯邦各國ノ法律ニ依ル

ト雖此須テ左ノ原則ニ基クヘシ

(一)始審及復審ノ裁定ハ合議体ノ官署ニ於テスヘシ該官署ハ現場ニ臨ミテ
檢査ヲ行ヒ證人及鑑定者ヲ招キ其他可及的多クノ證據ヲ集ムルノ權利
ヲ有ス

(二)合議体ノ始審官署ハ兩造ヲ召喚尋問シタル後公開席ニ於テ裁判ヲ申渡
スヘシ又別ニ抗拒ヲ申出ル者ナキモ官署ニ於テ直チニ許可ヲ與フルコ
ト欲ヒス且企業者ニ於テ其許可ヲ拒ミタル裁判或ハ訓令ヲ受ケタル後
十四日以内ニ口頭ノ吟味ヲ請求スル時モ亦裁判ヲ公開スヘシ

(三)合議体ノ復審官署モ亦其裁判ヲ公開シ兩造ヲ召喚シテ申渡スヘシ
(四)企業者請求者及抗拒者ヲ以テ兩造トス

(五)裁判ノ公開ハ裁判法第七十三條乃至第七十六條ニ基キ之ヲ廢止シ
或ハ制限スルコトヲ得

第二十二條 不理ノ抗拒ノ爲メニ生シタル費用ハ抗拒者ニ於テ之ヲ負擔
シ其他裁判ノ爲メニ生シタル費用ハ企業者ニ於テ負擔スヘシ

新工場設置ヲ許スルノ裁判ト共ニ費用ノ負擔法ヲ命スヘシ

第二十三條 積水堰ニ關シテハ第十七條乃至第二十二條ノ規則ノ外之レ
カ爲メニ設ケタル各國ノ法律ヲ應用スヘシ
各國ノ法律ニ於テハ公立屠畜場ノ設充分ナル土地ニ於ケル私立屠畜場ヲ
停止シ或ハ其設立ヲ拒否スルコトヲ得ル

第十六條ニ列舉シタル種類ノ工場ハ何等ノ土地ニ設立スルコトヲ許スヘキ
カ又何等ノ土地ニ於テハ全ク之ヲ許サス或ハ規約ヲ奉セシメテ之ヲ許ス
ヘキヤノ地方規則ヲ制定スルモ亦各國ノ法律ニ任ス

第二十四條 總テ瀛鐘ヲ設置スルハ其機械ヲ運轉スルト否トヲ問ハス各
國ノ法律ニ於テ定ムル所ノ官署ノ許可ヲ經ルヲ要ス許可ヲ請求スルコトハ
詳細ニ必要ナル圖書及解説ヲ附スヘシ

右ノ官署ハ現行建築火災及衛生警察規則及聯邦參議院ヨリ瀛鐘設置ニ關
シテ發布シタル一般ノ警察規則ニ照ラシテ之ヲ許否スヘシ或ハ必要ナル
豫防法及裝置法ヲ指示スヘシ

凍罐ヲ設置シテ之ヲ使用スル以前其設置法ハ能ク許可ヲ得タル所ノ方法ニ適ヒタルヤ否ヤヲ検査シテ許可證ヲ下附スヘシ此ノ許可證ヲ落手セシテ營業ヲ始メタル者ハ第四百四十七條ノ罰ニ處ス移轉スヘキ凍罐ニモ亦此ノ規則ヲ適用ス

此ノ裁定ニ關スル復審ノ手續及裁判法ハ第二十一條及第二十二條ニ依ル
第二十五條 第十六條及第二十四條ニ載セタル工場ノ許可ハ其位地及性質ヲ變更セサル間ノミ効力ヲ有スルモノトス此ノ二者ヲ變更セサレハ其所有主ノ更迭アルモ特ニ許可ヲ經ルヲ要セス然レモ若シ工場ノ位地或ハ性質ヲ變更スル時ハ第十七條乃至第二十四條ニ基キ所轄官署ノ許可ヲ要ス第十六條ニ掲ケタル諸工場ノ營業法ヲ著シク變化シタル時モ亦同一ノ許可ヲ要ス所轄官署ハ企業者ノ届出ニ接シ其企圖スル所ノ變更ハ従前ノ工場ニ比シ近隣或ハ公衆ニ對シテ更テ大ナル損害危険ヲ呈スルヲナガルヘシト認メタル時ハ之ヲ公告第十七條ニテ故障ノ有無ヲ問フヘシ此ノ規則ハ本法律發布以前既ニ成立セル工場第十六條乃至第二十四條ニ

モ亦應用スヘシ

第二十六條 或ル土地ヨリシテ其隣地ニ損害ヲ被ラシムルヲ防禦スルカ爲メニ現行法律上隣地ノ所有主ニ訴ス所ノ私訴ハ許可ヲ得テ設置シタル工場ニ對シ其營業ノ停止ヲ請求スルヲ得ス

唯其有害的ノ作用ヲ免ルヘキ構造ヲ設ケンヲ請求セ或ハ斯ノ如キ構造ヲ設クヘカラサル時ハ安全ナル構造ヲ設クヘキヲ請求スルニ限ルヘシ

第二十七條 第十六條乃至第二十五條ノ許可ヲ經ルヲ要セサルモ異常ノ響聲ヲ發スル工場ヲ設立シ或ハ移轉スルニハ其地ノ警察署ニ届出ツヘシ警察署ニ於テハ其設立ノ場所寺院學校病院其他公ノ建築物ニ接近シ著シク之ヲ妨害スヘシト認ムレハ其場所ニ於テ該工場ヲ設立スルヲ許可スヘキヤ或ハ規約ヲ設ケテ之ヲ許可スヘキヤニ關シ高等行政廳ノ裁定ヲ請フヘシ

第二十八條 高等行政廳ハ隣地及公道ヨリ幾許ノ距離以外ニアラサレハ風車ヲ設クルヲ得サルヘキ警察規則ヲ定ムルノ權利アリ

(ロ)特許ヲ得ヘキ品術

第二十九條 合格ヲ保證スルカ爲メニ免許狀ヲ下附スヘキ職業左ノ如シ
 製藥者醫師(内外科醫、眼科醫、產科醫、齒科醫及獸醫)及政府若シハ町村ヨリ醫
 師ト認定セラレ或ハ醫師ニ任命セラレタル者ハ免許狀ヲ受領セサルヘカ
 ラス此ノ免許狀ヲ得ルニハ必シモ大學ノ學士免狀アルヲ要セス
 聯邦參議院ハ現時ノ需要ニ應ジ聯邦各國ニ於テ聯邦全体ニ向ヒテ効力ヲ
 有スヘキ免許狀ヲ出スヘキ官署及合格證明法ヲ指定ス免許狀ヲ受ケタル
 者ノ姓名ハ聯邦參議院ニ於テ指定スヘキ官報ヲ以テ免許狀ヲ下附シタル
 官署ヨリ之ヲ公告スヘシ
 右ノ免許狀ヲ領有スル者ハ聯邦中何レノ土地ニ於テ營業スルモ妨ケナシ
 製藥師ノ開業及移轉(第六條)ハ此ノ限りニアラス
 聯邦參議院ハ何等ノ學術試驗ニ及第シタル者ハ特ニ前記ノ免許狀ヲ受ク
 ルヲ要セストノ規則ヲ設クルヲ得
 本法律ノ發布以前既ニ聯邦各國ニ於テ内外科醫、齒科醫、產科醫、製藥師或ハ

獸醫ノ業ヲ營ムノ權利ヲ有シタル者ハ全聯邦内ニ於ケル免許狀ヲ得タル
 者ト見做スヘシ

第三十條 私立ニ係ル病院分院所及狂癲院ヲ設置セント欲スル者ハ高等
 行政廳ノ允許ヲ得ルヲ要ス

允許ヲ與フルヲ拒ムヘキ場合左ノ如シ

- (イ) 病院、狂癲院ノ企業者ニシテ之ヲ指揮管理スルノ任ニ堪ヘサルノ事實明
了ナル時
- (ロ) 企業者ヨリ呈出シタル解説及圖面ニ依ルニ其建築裝置ノ衛生警察規則
ニ抵觸シタル時

産婆ハ其國ノ法律ニ於テ定メタル所轄官署ノ試験証ヲ所持スルヲ要ス

第三十條 蹄鉄打營業者ノ爲メニ其國ノ法律上試験證ヲ所持スルニアラ
 サレハ之ヲ許可セサル規則ヲ設クルヲ得而シテ此ノ試験證ハ全帝國内
 ニ向ヒテ有効ナルモノトス

第三十一條 航海船手、航海樺師、航海汽船機關師及水先案内者ハ其必要ナ

ル學術ヲ有スルヲテ證スル所轄行政廳ノ免許狀ヲ示シテ營業許可ヲ請ハ
サルヘカラス

聯合參議院ハ此ノ試驗規則ヲ制定スヘシ此ノ試驗合格者ニ附與シタル免
許狀ハ聯邦諸國ニ向ヒテ有効ナルモノトス氷先案内者ノ免許狀ニハ其水
路ヲ記載スヘシ

川河ノ船手及氷先案内者ニ關シ外國政府トノ條約アルモノハ此ノ條約ノ
規則ニ依ル

第三十二條 劇場興行人ハ營業許可ヲ得ルヲ要ス若シ所轄官署ニ於テ該
興行人カ其營業殊ニ風俗伎倆及財政上ノ信任ヲ欠キタルノ事實ヲ瞭知ス
レハ其許可ヲ拒ムヘシ

第三十三條 旅店酒肆或ハ火酒燒酎ノ小賣店ヲ營業セント欲スル者ハ其
許可ヲ經ルヲ要ス

左ノ場合ニ於テハ其許可ヲ附與セス

(一)出願者カ該營業ニ依リテ酖酒禁制ノ遊劇隱匿或ハ淫褻ヲ勸スルノ媒介

ヲ爲スノ事實確固タル時

(二)該營業ヲ爲スヘキ場所ノ性質及位地ニシテ警察規則ニ抵觸スルモノア
ル時

此ノ他聯邦各國ノ政府ハ左ノ營業ヲ許可スルニ際リ現在ノ需用ヲ證明セ
シムルノ權利ヲ有ス

(イ)燒酎及火酒ノ居酒若シハ小賣店

(ロ)人口一萬五千ニ滿タス或ハ人口一萬五千以上ナルモ其土地ノ規程第百
四十二條ニ制限アル土地ニ於ケル旅店或ハ葡萄酒麥酒其他火酒燒酎外
ノ酖酎性飲料ノ居酒店

右ノ許可ヲ與フル以前其地ノ警察署及町村廳ノ意見ヲ問フヘシ

第二十三條 (イ)特ニ美備若シハ學藝上ニ效能ナキ唱歌演劇觀物ヲ興行シ
或ハ其場所ヲ貸シテ營業トスル者ハ預メ劇場營業ノ許可ヲ得タルト否ト
ヲ問ハス興行ノ都度許可ヲ得ルヲ要ス
左ノ場合ニ於テハ許可ヲ與フルヲ拒ムヘシ

(一)該興行ヲ許可スレハ法律ニ觸レ或ハ風俗ヲ紊ムヘキノ事實判然タル時
 (二)營業ニ供スヘキ場所ノ位地及性質警察規則ニ抵觸スルモノアル時
 (三)既ニ町村區ノ小ニ比シテ充分ナル人員ニ許可ヲ附與シタル時
 右ノ風俗ヲ紊リ或ハ法律ニ觸ル、モノハ其許可ヲ取消シ本法律ノ實行以
 前既ニ營業ヲ開キタルモノハ之ヲ禁止ス

第三十三條 (ロ)特ニ美術若クハ學藝上ニ効能ナキ音曲歌舞其他ノ遊嬉ヲ
 爲シテ家毎ニ徘徊シ或ハ市街路傍ニ立チテ營業ヲ爲ス者ハ豫メ地方警察
 署ノ許可ヲ得ルヲ要ス

第三十三條 (ハ)踏舞ノ娛樂ヲ制限スルハ聯邦各國ノ法律ニ從フ

第三十四條 質營業ヲ爲サント欲スル者ハ其許可ヲ受ケサルヘカラス企
 業者ニシテ質商ヲ營ムヘキノ信任ヲ欠クノ事實明ラカナレハ之ヲ許可セ
 サルヘシ此ノ他聯邦政府ハ其規程ヲ設ケタル土地ニ於テハ質營業開設ノ
 必要ヲ證明セシメテ而シテ後ニ之ヲ許可スヘキノ規則ヲ設クルノ權利
 アリ

買戻權ヲ保證シテ動産ヲ買取ルヲ以テ營業トスル者モ亦質營業ト見做
 スヘシ

聯邦諸國ノ法律ハ毒藥販賣及氷先案内營業ハ特別ナル許可ヲ受ケシメ且
 試験ヲ受ケ免許セラレタル者ニアラサレハ鑛坑測量ノ業ヲ營ムヲ得セ
 シメサルノ規則ヲ設クルヲ得

第三十五條 踏舞體操泳游ノ教授及浴場ヲ營業セント欲スル者ニシテ其
 業ニ任スルニ堪ヘサルヲ明カナレハ之ヲ許可セサルヘシ

古○着○古○道○具○商○其○他○絹○糸○獸○毛○綿○麻○ノ○履○ダ○イ○チ○マ○イ○ト○及○他○ノ○爆○裂○藥○ノ○小○賣○商
 モ亦前ニ全シ其他此ノ規則ニ從フヘキノ他人ノ訴訟及官署ニ對シテ
 爲スヘキノ事件ヲ擔任スルヲ以テ職業トシ不動産抵當金貸借結婚ノ媒
 介○備○人○口○入○及○競○賣○ヲ○以○テ○營○業○ト○ス○ル○者○ト○ス○競○賣○ヲ○營○業○ト○ス○ル○者○ハ○政○府○地
 方廳若クハ合同体ヨリ任命セラレタル者ノ外不動産ヲ競賣スルヲ得ス
 本條ニ記載シタル職業ヲ營ム者ハ其開業ノ際所轄官署ニ届出ヲ爲スヘシ
 第三十六條 土地丈量競賣金銀ノ鑑定物品ノ分量及包裝法ノ鑑定ヲ營業

トスル者荷物護送者秤量者等ハ隨意ニ營業ヲ爲スヲ得ヘシト雖ヒ憲法ニ基キ其權利ヲ有スル官衙地方廳或ハ合同体ハ現行規則ニ基キテ誓約ヲ爲サシメ且之ヲ任命スルノ權利ヲ有ス

右ノ營業者ノ行爲ニ對シテ特別ノ信認ヲ置キ或ハ特別ナル法律上ノ効力ヲ有セシムルノ規則ハ右ノ如ク官衙地方廳若クハ合同体ヨリ任命セラレタル者ニ限リテ論スヘキモノトス

第三十七條 一地方内ニ於テ各種ノ馬車小舟輪輿馬其他ノ運輸器械ヲ以テ交通ニ從事スル者及道路街衢ニ立チ人ノ使役ニ應スルヲ以テ營業ト爲ス者ハ其地ノ警察ノ監督ニ從フヘシ

第三十八條 中央廳ハ其國ノ法律ニ於テ確定セラレ、所ノ質商ノ權利義務ノ範圍ヲ定ムルノ權アリ右ニ關スル各國ノ規則ハ第三十四條第二項ノ營業者ニモ亦應用ス此ノ營業ニ於テハ賣渡代金ハ即チ借金ニシテ賣渡代金ト買戻代金トノ差ハ即チ利子物件ハ即チ抵當物ト見做スモノナリ又中央廳ハ第三十五條第二項第三項ノ營業者ノ簿記法及警察ノ監督法ヲ制定

スルヲ得

第三十九條 各國ノ法律ハ煙突掃除人ノ受持區ヲ定ムルヲ許スヲ得ル然レモ既ニ受持區ヲ定メ或ハ新ヲニ設クル土地ニ於テハ高等行政廳ハ右ノ受持區ヲ廢シ或ハ變更スルノ權利アリ而シテ區内ノ煙突掃除人ハ之レカ故障ヲ爲シ或ハ賠償ヲ請求スルヲ得ス

第四十條 第二十九條乃至第三十三條(イ)ノ免許及許可ハ年限ヲ定メテ之ヲ與フルモノニアラス又第三十三條(イ)第五十三條及第四百十三條ノ場合ヲ除ク外取消ヲ命スルモノニアラス

第三十條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條及第三十七條ニ載セタル營業ヲ許可セサルヲニ對シテ再審ヲ請フヲ得ル再審廳及其手續ハ第二十條及第二十一條ノ規則ニ依ル

(ハ) 營業ノ範圍實行及消滅
第四十一條 獨立シテ常職業ヲ營ムノ權利ヲ有スル者ハ隨意ニ職工助手及傭夫ヲ置キ本法律ニ抵觸スルヲナケレハ徒弟ヲ養フヲ得ル本法律ニ

定ムルモノ、外職工及助手ノ撰擧上ニ制限ヲ設クルヲナシ
製藥師カ助手及徒弟ヲ置クノ權利ハ各國ノ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 特立シテ常職業ヲ營ムノ權利ヲ有スル者ハ其營業場ノ在ル
所ノ町村内及第三章ノ規則ニ觸レサレハ其町村外ニ於テモ亦營業スルヲ
得

營業者若シ内國ニ於テ常時或ハ定期ニ使用スル所ノ家屋ヲ所有セサレハ
營業場ナキ者ト見做スヘシ

第四十二條(イ) 徘徊シテ販賣スルヲ許サ、ル物品ハ麥酒葡萄酒ノ販賣杯
賣及第三十三條ニ基キ許可スヘキモノ、外或ハ營業場ノ在ル町村内ト雖
モ戸毎ニ賣リ歩キ或ハ道路街衢等ニ於テ販賣シ又轉賣スルヲ得ス
所轄縣廳ハ其地ノ需要ニ應ジ此ノ禁制中ノ物件ニ特許ヲ與フルノ權利ヲ
有ス

特別ナル需要アル場合ニ於テハ地方警察署ハ戶外ニ於テ酩酊性飲料ヲ販
賣スルヲ許可スルヲ得

第四十二條(ロ) 高等行政廳ハ町村ノ決議ニ由リ該町村内ニ居住シ或ハ營業
場ヲ所有シ該町村内ノ通路街衢或ハ戸毎ニ徘徊シ豫メ注文ヲ受ケタルヲ
ナシシテ左ノ營業ヲ爲ス者ヲシテ許可ヲ受ケシムルヲ得ル

(一)行商

(二)商人製造人或ハ市場以外ニ於テ物品ヲ購求シテ之ヲ轉賣スル者或ハ其
人ノ職業上ニ使用セサル物品ノ注文ヲ受ケルヲ求ムル者

(三)營業上地方ノ習慣コアラサル使役ニ應スル者

此ノ規則ハ或ル種類ノ物品ト使役トニ限リテ之ヲ定ムルヲ得ル
許可ヲ附與シ拒絕シ及取消スルニ關シテハ第五十七條第五十七條(イ)第五
十七條(ロ)第五十八條及第六十三條第一項ノ規則ヲ適用シ營業ノ實行ニ關
シテハ第六十條(ロ)第六十條(ニ)第六十條(三)第一第二項及第六十三條第三項
ノ規則ヲ適用ス

第五十九條第一項第二項ニ記載シタル生産物及製造品(假令自家ノ生産或
ハ製造ニ屬セサルモ)戸毎ニ販賣スルヲ得ヘキ印刷物及圖書ノ販賣其他

第四十四條第二項ニ基キ聯邦參議院ニ於テ許可シタルモノハ其居住地或ハ營業場ノ在ル土地ニ於テ營業スルカ爲メニ許可ヲ經ルヲ要セシムルヲ得ス第五十九條第一項第二項ニ記載シタル物品ニ關シテハ第五十七條第一項乃至第四項ノ規約ニ從ヒテ拒否シ或ハ第六十條(ロ)第二項及第六十條(ハ)第二項ノ規則ニ由リテ制限スルヲ得ル此ノ營業ヲ拒否スルニハ第六十三條第一項又之ヲ制限スルニハ第六十三條第二項ノ規則ヲ應用ス高等行政廳ハ聯邦參議院ヨリ第五十六條(ニ)ニ基キテ發布シタル規則ヲ應用シテ居住地或ハ其營業場ノ在ル土地ノ道路街衢ニ於テ營業シ或ハ豫メ注文ヲ受ケス戸毎ニ徘徊シテ第一項及第二項ノ職業ヲ營マントスル外國人ニ及スノ權利アリ

第四十三條 印刷物或ハ他ノ書類畫圖ヲ道路街衢等ニ於テ呼賣シ頒布シ或ハ揭示スルヲ以テ營業ト爲ス者ハ地方警察署ノ許可ヲ經其姓名ヲ記載シタル許可狀ヲ携帯スルヲ要ス

此ノ許可ヲ與フルト否トニ關シテハ第五十七條第一第二第四項第五十七

條(イ)第五十七條(ロ)第一第二項及第六十三條第一項ノ規則ニ從フ

立法機關ノ撰舉ニ際シ撰舉ノ目的ノ爲メニ投票切符及印刷物ヲ頒布スルハ官ヨリ撰舉ノ日ヲ公告シタル時ヨリ撰舉ヲ結了スルマテハ地方警察署ノ許可ヲ受ルヲ要セス

營業ニアラスシテ議員撰舉ノ目的ヲ以テ投票切符及印刷物ヲ頒布スル者モ亦之レニ準ス

公衆ノ出入ヲ制限シタル場所ニ於テ營業ニアラスシテ印刷物或ハ他ノ書類畫圖ヲ頒布スルニハ許可ヲ得ルヲ要セス

千八百七十四年五月七日ノ出版條例第五條第一項ノ場合ニハ本法律第五十七條第一第二第四項第五十七條(イ)第五十七條(ロ)第一第二項ヲ應用ス

第四十四條 常職業ヲ營ム者ハ其營業場ヲ置キタル町村區外ニ於テ自己若シハ其使役スル者ヲシテ其營業ノ目的ヲ以テ物品ヲ購買シ或ハ物品ノ注文ヲ求ムルノ權利アリ

購買シタル物品ハ直接ニ其定メノ場所ニ送附シ注文ヲ求ムル物品ハ小量

高價ニシテ通常轉賣人ニ賣渡シ聯邦參議院ニ於テ特許ヲ與ヘタルモノ、
外見本或ハ雛形ノミヲ携帯スヘシ

營業用物品ヲ購求スルニハ必ス商估製造家或ハ公ノ賣買所ニ於テスヘシ
第四十四條(イ) 第四十四條第一項第二項ニ基キ營業用物品ノ注文ヲ求メ或

ハ之ヲ購賣スル者ハ許可狀ヲ有スルヲ要ス此ノ許可狀ハ常職業者ノ請求
ニ由リ其營業場所所在地ノ所轄行政廳ヨリ下附スルモノニシテ全帝國ニ向
ヒ一歷年度間ノ効力ヲ有スルモノトス此ノ許可狀ニハ所有主ノ姓名或ハ
代理人若クハ代理店ノ名稱及職業ノ詳細ヲ記載スヘシ

許可狀ノ所有主ハ營業中常ニ之ヲ携帯シ所轄官署或ハ官吏ノ請求ニ應シ
テ之ヲ示シ若シ之ヲ携帯セザレハ之ヲ取寄ルマテ營業ヲ停止セサルヘカ
ラス

右ノ許可狀ヲ下附スルヲ拒ムハ請求者カ第五十七條第一項乃至第四項
及第五十七條(ロ)第二項ノ規則ニ觸レタル時ニ限ルヘシ
許可狀ヲ下附スルニ際シ既ニ第五十七條乃至第四項ノ規則ニ觸レタルモ

ノアリシモ官署ニ於テ知ラスシテ之ヲ下附シ或ハ之ヲ下附シタル後右ノ
規則ニ觸レ或ハ營業上第四十四條ノ制限ヲ侵シタル時ハ許可狀ヲ下附シ
タル官署ハ之ヲ取上ルヲ得ヘシ右ノ處分法ハ第六十三條第一項ノ規則
ニ依ル

關稅同盟或ハ通商條約ノ規則ニ依リ既ニ營業許可狀ヲ得タル者ハ該職業
ヲ營ムカ爲メニ特ニ許可狀ヲ受クルヲ要セス然レモ此ノ營業人ニハ前記
ノ規則中許可狀携帯ノ義務此ノ義務ヲ果サ、ル時ノ結果許可狀ノ下附及
取上ニ關スル規則ヲ應用ス

第四十五條 常營業ノ權利ハ代理人ヲシテ之ヲ執行セシムルヲ得ル然
レモ代理人ハ該營業上特ニ定メタル資格ヲ具ヘサルヘカラス

第四十六條 營業者ノ死去シタル後ハ其職業上特ニ定メタル規則ナキ
モノハ寡婦若クハ未丁年ノ相續人ノ爲メニ第四十五條ノ資格ヲ具ヘタル
代理人ヲシテ該職業ヲ營マシムルヲ得ヘシ後見人ヲ置キ或ハ遺産整理
人ヲ置クモ亦之レニ全シ

第四十七條 第三十四條及三十六條ニ從ヒテ許可ヲ受ケ或ハ任命セラレタル者ノ代理人ヲ許スト否トハ其許可ヲ與ヘ或ハ之ヲ任命シタル官衙ニ於テ其都度之ヲ定ムヘシ

受持區ヲ定メタル煙突掃除人(第三十九條)ノ代人モ亦然リ

第四十八條 營業權所有主ハ本法律ノ規則ニ從ヒ職業ヲ營ムニ堪ユル者ニハ何人ニテモ其權利ヲ讓渡スヲ得ヘシ然レモ其讓受人ハ自費ヲ以テ此ノ營業權ヲ執行シ得ル者ヲラサルヘカラス

第四十九條 第十六條及第二十四條ニ記載シタル諸工場私立病院分娩所、狂癲院ノ設置演劇及第三十三條ニ記載シタル營業ノ許可ヲ附與スルニ際リ官署ハ事情ニ依リ期限ヲ定メテ其設置或ハ興業ヲ始ムヘキヲ命スルヲ得ル此ノ如キ期限ヲ定メサルモノハ許可ヲ得タル後一ケ年間ニ着手セサル時ハ其許可ハ自カラ消滅スルモノトス
此ノ期限ノ延期願ハ別ニ差支ナキ以上ハ該官署ニ於テ許可スルコトヲ得
許可狀ヲ所有スル者延期ヲ追願シ且其許可ヲ得スシテ三ケ年間其營業ヲ

罷メタル時ハ許可狀ハ無効ニ歸スルモトス

第十六條ニ記載シタル諸工場ノ延期願ハ其遺産相續或ハ裁判事件ヨリシテ財産上ノ不安ヲ來タシ或ハ行政ノ執行處分等ノ爲メニ全ク營業スルヲ能ハサルカ或ハ著シキ損失ヲ生シタル場合ノ外ハ之ヲ拒否スルヲ得ス
延期ノ請求法ハ新クニ工場ヲ設置スルノ許可ヲ請求スル時ノ手續ニ同シ

第五十條 本法律發布以前既ニ許可狀ヲ掌有シタル者ニモ亦第四十九條ニ定メタル延期ヲ許可スヘシ而シテ其期限ハ本法律發布ノ日ヨリ起算スルモノトス

第五十一條 公衆ノ不利益及危險タルヲ著大ナル時ハ高等行政廳ハ何時ニテモ各營業場ノ使用ヲ禁止セシムルヲ得ル然レモ其所有主ノ判然タル損失ハ賠償ヲ受クヘシ

此ノ禁止ノ命令ニ對シテ再審ヲ請フヲ得ル又賠償額ノ不服ハ裁判所ニ訴フルヲ得ヘシ

第五十二條 第五十一條ノ規則ハ本法律發布以前既ニ現存シタル工場ニ

モ亦應用スヘシ然レモ從前ノ許可狀中ニ許可ヲ取消スヲアルモ賠償ヲ與
エストノ明文アルモノハ其禁止ヲ命セラレタルカ爲メニ賠償ヲ請求スル
ヲ能ハス

第五十三條 第二十九條ニ記載シタル免許狀ヲ行政廳ヨリ取上ルハ其免
許狀ヲ與フルノ原因トナリタル證據不正ナルヲ明ラカナル時或ハ免許狀
所有主カ公權ヲ剝奪セラレタル時ニ限ルヘシ後ノ場合ニ於テハ公權ヲ剝
奪セラレタル間ニ止マルモノトス

右ノ場合ノ外尙ホ同一ノ方法ニ據リ第三十條第三十條(イ)第三十二條第三
十三條第三十四條及第三十六條ニ載セタル許可及任命ヲ取消スヲ得ヘ
シ即チ許可狀所有主ノ行爲或ハ過失ニ由リ本法律ノ規則ニ基キ許可ヲ與
ヘ或ハ任命スルニ必要ナル性質ノ欠乏シタルヲ明白ナルニ至リシ時是ナ
リ此ノ行爲或ハ過失ニ對シテ處罰スルト否トハ法官ノ裁判ニ任ス
千八百七十九年七月二十三日ノ法律實行以前既ニ營業ヲ始メタル質商ニ
シテ其營業的ノ信認ヲ欠キタルノ事實明白ナル者ハ營業ヲ禁止セシムル

ヲ得

第五十四條 工場ノ使用ヲ禁止シ(第五十二條營業ヲ禁制シ)第三十五條免
許狀許可狀或ハ任命狀ヲ取上ルヲ(第三十三條(イ)及第五十三條ニ關スル處
分法及官署ハ第二十條及第二十一條ノ規則ニ從フ

第三章 徘徊營業

第五十五條 居住町村區或ハ高等行政廳ノ特別ナル命令ニ依リ居住町村
區ト見做スヘキ接近地ノ外ニ於テ營業場ヲ設ケス又豫テテノ注文ナクシ
テ左ノ業務ヲ營ム者ハ徘徊營業證ヲ受クルヲ要ス第二項ノ場合ニ於テハ
第四十四條(イ)ノ許可狀ノミニテハ不充分ナル時ニ限ル

- (一)物品ヲ販賣スルヲ
- (二)物品ノ注文ヲ求メ或ハ商估ニアラサル者又ハ公ケノ賣場ニアラサル所
ヨリ轉賣ノ目的ヲ以テ物品ヲ買入ルヲ

- (三)技術ヲ賣ルヲ
- (四)特ニ美術上或ハ學術上ノ效能ナキ音曲技藝其他ノ遊戯ヲ演スルヲ

第四項ノ場合ニ於テハ開市場第六十四條ニ在リテモ亦徘徊營業證ヲ要ス
第五十六條 常營業ニ於テ全ク販賣ヲ禁止シ或ハ之ヲ制限シタルモノハ徘徊

營業ニ於テモ亦其販賣ヲ禁止シ或ハ制限ス
徘徊シテ賣買スルヲ禁止スルモノ左ノ如シ

(一) 酩酊性飲料特別ナル需要アルニ際シ一時地方警察署ヨリ特許シタル時
ハ此ノ限リニアラス

(二) 古着古蒲團臥牀具殊ニ彈線毛髮絲屑絹毛麻綿ノ屑

(三) 金銀器金銀地金及懷中時計

(四) 骨牌

(五) 公債證書其他有價紙富講札有價紙及富講札ノ引出手形及部分手形

(六) 發火藥殊ニ煙火用火藥銃砲用火藥及「ダイナマイト」

(七) 鑛油及燃火シ易キ油類殊ニ石油及酒精

(八) 刺衝用打撲用及射彈用ノ武器

(九) 毒藥及含毒藥劑類

徘徊シテ販賣スルヲ禁止スルモノ

(十) 印刷物其他書類圖畫殊ニ風俗及宗教ニ妨害アルモノ

徘徊シテ印刷物其他書類ヲ販賣セント欲スル者ハ其目錄ヲ居住地ノ所
轄行政廳ニ届出テ許可ヲ請フヘシ行政廳ニ於テハ此ノ目錄ヲ檢シテ風俗

宗教ヲ紊乱スルモノナキ時ハ許可ヲ與フヘシ營業者ハ唯其許可ヲ受ケタ
ル印刷物及書畫ノ類ノミヲ携帯スヘク又其營業中目錄ヲ携帯シ所轄官署

或ハ官吏ノ求メニ應シテ之ヲ開示スルノ義務アリ若シ目錄ヲ携帯セサル
時ハ該官署若クハ官吏ノ命令ヲ以テ目錄ヲ取寄スル間其營業ヲ停止スヘ
シ

第五十六條(イ) 右ノ外徘徊シテ營業スルヲ禁止スルヲ左ノ如シ

(一) 免許ヲ得スシテ醫術ヲ行フ

(二) 豫メ注文ヲ受ケテ貸金及買戻事件ノ口ヲ求メ或ハ媒介ヲ爲シ公債

證書其他有價紙富講札及其引出手形部分手形ノ注文口ヲ求ムル

(三) 營業上ニ需要ナキ人ニ對シテ燒酎及火酒ノ注文口ヲ求ムル

第五十六條(ロ) 聯邦參議院ハ何等ノ需要アルニ際スレハ第五十六條第二項ニ載セタル各物品ヲ徘徊シテ賣買スルヲ許スヘキヤヲ命令スルノ權利アリ

公安ヲ保護シ或ハ傳染病ヲ豫防驅除スルカ爲メニ聯邦參議院ノ決議ニ依リ或ハ危急ナル場合ニ於テハ聯邦參議院委員ノ同意ヲ得又帝國大宰相ハ帝國內或ハ其一部分内ニ於テ第五十六條第五十六條(イ)ニ記載シタル物品勞力及其他ノ物品勞力ヲ賣ルヲ以テ業トスル者ノ營業ヲ一定時間制限シ或ハ禁止スヘキヲ命令スヘシ此ノ命令ハ直チニ帝國々會ニ通知スヘシ若シ開會中ニアラサレハ次回ノ國會ニ報道スヘシ帝國々會ニ於テ認可セサル時ハ此ノ命令ハ効力ヲ失フモノトス
府縣廳ニ於テハ種牡馬ヲ牽キ歩キテ牝馬ト交尾セシムルヲ制限シ或ハ禁止スルヲ得

第五十六條(ロ) 徘徊シテ物品ヲ販賣スルニ投骰抽籤賭博等ニ類似シタル方法ヲ用ユルヲ得ス 所轄官署ハ例外トシテ此ノ禁制ヲ解クヲ得

營業ノ公告ニハ必ス營業人ノ住所姓名ヲ記載スヘシ營業上賣店ヲ使用スルモノハ其見易キ場所ニ營業人ノ住所姓名ヲ記載シタル看板ヲ掲クヘシ所謂ユル遞鋪ナルモノハ殊ニ此ノ看板ヲ掲クルヲ要ス

第五十六條(ニ) 外國人ハ徘徊シテ其職業ヲ營ムヲ得ヘシ外國人ノ徘徊營業ニ關スル必要ナル規則ハ聯邦參議院ニ於テ制定スルノ權利アリ
第五十七條 左ノ人物ニハ徘徊營業證ヲ下附スルヲ拒絶スヘシ

- (一) 嫌疑スヘキ疾病或ハ傳染病ニ罹ル者及嫌疑スヘキ不具者
- (二) 警察ノ監視中ノ者
- (三) 財産、風俗、生命、衛生ニ對スル罪、放火、人畜傳染病防禦規則ヲ犯シタル罪ニ處セラレ或ハ三ヶ月以上ノ懲役禁錮ニ處セラレ放免後未タ三ヶ年ヲ經過セサル者
- (四) 怠惰、乞丐、漂浪、酒狂等ノ癖アル惡評高キ者

(五) 所轄官署ノ管區ニ比較シテ既ニ充分ナル人員ニ徘徊營業證ヲ下附シ或ハ他管下ノ者ニ營業ヲ許可シタル時ニ際リ第五十五條第四項ノ營業ヲ

願出ル者

第五十七條(イ) 左ノ人物ニハ徘徊營業證ヲ下附セサルヘシ

(二)未丁年者

(三)盲目、聾、啞、風癩人

第五十八條(ロ) 右ノ外徘徊營業證ノ下附ヲ拒ムハ左ノ場合ニ限ルヘシ

(一)志願者カ内國ニ於テ定マリタル住所ヲ有セサル時

(二)財産、風俗、生命、衛生ニ對スル罪、放火、人畜傳染病防禦規則ヲ犯シタル罪ニ處セラレ或ハ六週日以上ノ懲役禁錮ニ處セラレタル者コシテ放免後未タ三ケ年ヲ經過セサル時

(三)志願者最近三ケ年内ニ徘徊營業規則違犯ノ廉ヲ以テ再三罰ヲ受ケタル時

(四)志願者若シ一名或ハ數名ノ兒子ヲ有シ其養育及學齡兒童ナレハ其教育ヲ欠クノ憂アル時

第五十八條 第五十七條第一項乃至第四項第五十七條(イ)或ハ第五十七條

(ロ)ニ記載セル規則ニ觸レタルヲアルモ官署ニ於テ之ヲ知ラスシテ徘徊營業證ヲ下附シ或ハ其下附後之レニ觸ル、ニ至リタル時ハ徘徊營業證ヲ返納セシムヘシ

第五十九條

徘徊營業證ヲ要セサルモノ左ノ如シ

(一)農業、山林、園藝、養禽、牧畜及獵漁上ヨリ自カラ收獲シタル原産物

(二)毎週開市ノ日ニ通常販賣スル物品ニシテ自カラ製造シタルモノヲ住所ニ距ルヲ十五キロメートル以内ノ地ニ於テ販賣シ或ハ地方普通ノ勞務ニ就ク

(三)自カラ收獲シタル原産物或ハ自製ノ物品ヲ舟漕シテ舟ヨリ直チニ販賣スル

(四)國祭日、觀兵式日其他異常ノ場合ニ臨ミ地方警察署ニテ許可シタル物品ヲ販賣スル

縣廳ハ其管下限り徘徊營業證ヲダシテ此他ノ物品ヲ販賣スルヲ許可スルヲ得

第五十九條(イ) 第五十九條第一項乃至第三項ノ場合ニ於テ第五十七條第一項乃至第四項ノ規則ニ觸ル、時ハ營業ヲ禁止スルヲ得

第六十條 徘徊營業證ハ一歷年度限リ其所有主ヲシテ全帝國内ニ於テ其國ノ課税ヲ拂ヒテ該職業ヲ營ムヲ得セシムルモノナリ

第五十六條第一項ニ從ヒ特別ナル要需アルカ爲メニ酩酊性飲料ノ行賣ヲ許サル、時ハ此ノ特許ノ時間ト場所トノ制限ヲ徘徊營業證中ニ記載スヘシ

第五十五條第四項ニ記載シタル職業者ハ他縣ノ行政廳ヨリ許可ヲ得レハ其徘徊營業證ヲ下附シタル官署ノ管轄地外ニ於テモ亦營業ノ權利ヲ有スルモノトス之ヲ權利ノ延長ト云フ此ノ徘徊營業證或ハ其權利ノ延長ハ一ケ年ヨリ短カキ期限或ハ一定ノ時日ヲ限リテ許可スルヲ得ヘシ縣ノ大小ニ比シテ既ニ充分ナル人員ニ徘徊營業證ヲ下附シ或ハ其權利ノ延長ヲ許可シタル時ハ更ラニ權利ノ延長ヲ許可セサルヘシ
行政廳ハ第五十八條ノ規則ニ基キ一旦許可シタル權利ノ延長ヲ取消スルヲ得

ヲ得

徘徊營業證ニハ所有主ノ住所姓名年齢及職業ノ詳細ヲ記載スヘシ

徘徊營業證ノ書式ハ聯邦參議院ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第六十條(イ) 一地方ニ於テ第五十五條第四項ノ技藝ヲ賣ランカ爲メニ戸毎ニ徘徊シ或ハ道路街衢等公ノ場所ニ營業セント欲スル者ハ豫メ其土地ノ警察署ノ許可ヲ經ルヲ要ス

第六十條(ロ) 未丁年者ノ徘徊營業證ニハ日没後ハ營業ヲ得サル旨ヲ記載シ未丁年ノ女子ハ日没後ハ勿論道路街衢ノ外戸毎ニ徘徊シテ營業スルヲ禁止スル旨ヲ記載スヘシ

地方警察署ハ其所轄區内ニ於テ未丁年者カ第五十九條第一項第二項ノ物品ヲ日没後ニ販賣シ又未丁年ノ女子カ戸毎ニ徘徊シテ之ヲ販賣スルヲ禁止スルヲ得

第六十條(ニ) 徘徊營業證ノ所有主ハ其營業中之ヲ携帯シ所轄官署或ハ官吏ノ求メニ應シテ之ヲ開示シ若シ之ヲ携帯セザレハ其命令ニ由リ之ヲ取寄

スル迄ハ營業ヲ停止スルノ義務アリ又其求メニ應シテ携帯シタル物品ヲモ開示スヘシ

豫メ許諾ヲ受ケサル營業ノ目的ヲ以テ他人ノ居住ニ入り又夜間ニ他人ノ家屋及圍内ニ入ルヲ得ス

第五十九條第一項及第二項ノ物品ヲ販賣スル者モ亦本條第二項ノ規則ニ從フヘシ

第六十條(ニ) 徘徊營業證ハ他人ニ貸附スルヲ得ス

他人ノ爲メニ徘徊營業ヲ營ム者ハ自カラ本法律ノ規則ヲ遵奉スヘシ

數人協同シテ第五十五條第四項ノ職業ヲ營マント欲スル時ハ其組合ノ人名ヲ列記シタル共同徘徊營業證ヲ下附スヘシ其一名毎ニ徘徊營業證ヲ下附スル時ニハ該營業證中ニ此ノ所有主ハ或ル組合ト合併シテ營業スルニ限ルヘキ旨ヲ記入スヘシ

徘徊シテ營業スル演劇組合ニ徘徊營業證ヲ下附スルハ其興行者カ第三十二條ノ許可ヲ有スル時ニ限ルヘシ演劇興行者ノ徘徊營業證ニハ此ノ所有

主ハ興行者タルニ止マル旨ヲ記載スヘシ

第六十一條 徘徊營業證ハ志願者ノ居住地域ハ寄留地ノ所轄高等行政廳ヨリ下附スヘシ寄留地ノ行政廳ハ志願者ニ居住地ノ行政廳ニ向ヒテ之ヲ

請求スヘキ旨ヲ命スルヲ得第五十五條第四項ノ場合ニ於テハ興行地ノ所轄高等行政廳ヨリ徘徊營業證ヲ下附スヘシ

徘徊營業證ヲ取上ルハ其所有主ノ居住地域ハ寄留地ノ所轄高等行政廳ヨリ之ヲ命スヘシ

第六十二條 所々徘徊シテ營業ヲ爲スニ際リ他人ヲ同伴セント欲スル者ハ徘徊營業證ヲ下附シタル官署或ハ其地ノ官署ノ許可ヲ請フヘシ此等ノ

官署ニ於テ之ヲ許可スレハ其趣ヲ營業證中ニ記入スヘシ

第五十七條ノ規則ニ觸ル、時ニ此ノ許可ヲ拒絕シ其他ハ第五十七條(ハ)及第五十七條(ロ)ニ掲ケタル規則ニ觸レサル限リハ其許可ヲ拒絕セサルヘシ

此ノ許可ヲ取上ルハ第五十八條ニ從ヒ之ヲ下附シタル官署ヨリ之ヲ命スヘシ

營業ノ目的ヲ以テ十四歳未満ノ兒子ヲ同伴スルヲ禁ス

第六十三條 徘徊營業證ノ下附ヲ拒絕シ或ハ下附シタル營業證ヲ取上ケ
或ハ又其權利延長ノ許可ヲ取消ス時ハ其理由ヲ記載シタル命令書ヲ本人
ニ下附スヘシ此ノ命令ニ對シテ再審ヲ乞フヲ得ルト雖モ再審ヲ爲シタ
ルヲ以テ命令ノ執行ヲ停止スルヲ得ス再審廳及其處分法ハ第二十條及
第二十一條ニ據ル印刷目錄第五十六條第四項ノ許可第五十九條イノ營業
ノ許可ヲ拒絕シ及第六十二條第二項ノ場合ニ於テ其許可ヲ拒絕シ或ハ與
ヘタル許可ヲ取消ス時ニ際リテモ亦前ニ同シ

第四章 市場營業

第六十四條 祭市歳市及每週市ニ至リ物品ヲ賣買スルハ各人自由同等ノ
權利ヲ有ス

然レモ其土地ノ習慣トシテ第六十六條ニ載セタル物品ニ屬セサル手細工
物ヲ其開市場ニ住居スル者ニ限り每週市ニ於テ販賣シ來タルモノアレハ
高等行政廳ハ町村ノ上申ニ由リ其土地ノ商人ニ限り此ノ手細工物ヲ其毎

週市ニ於テ販賣スルノ習慣ヲ維持スルヲ許シ他ヨリ來リタル商人ノ之
ヲ販賣スルヲ禁スルヲ得ヘシ

外國ニ於テ帝國ノ臣民ニ對シテ市場營業上制限ヲ設クレハ聯邦參議院ハ
其返報トシテ其國民ニ對シテ相當ナル市場營業ノ制限ヲ設クヘシ

第六十五條 祭市歳市及每週市ノ度數及時間ハ所轄行政廳ニ於テ之ヲ定
ムヘシ

右ニ關スル所轄行政廳ノ命令ニ對シテ市場ノ權利者ハ抗拒ヲ爲スヲ得
ス

又此ノ命令ノ爲メニ從來ノ動カスヘカラサル許可ヲ得タル開市ノ度數ヲ
減シタル時ニアラサレハ其損害ノ賠償ヲ請求スルヲ得ス此ノ賠償ノ請
求ヲ爲サント欲スル町村ハ特別ナル理由アリテ開市ノ權利ヲ有シタルヲ
テ證明セサルヘカラス

第六十六條 每週市ニ於テ販賣スヘキ物品左ノ如シ
(一)天○產○物○(家○畜○ヲ○除○ク)

(二)農林園藝或ハ漁業ト直接ノ關係ヲ有スル製造品及地方農家ノ副業或ハ日傭ノ職業上ヨリ製出スル物品(醋酐性飲料ヲ除ク)
(三)各種ノ生食料

所轄行政廳ハ町村廳ノ上申ニ由リ土地ノ習慣需用ニ從ヒ此ノ他ノ物品ヲ管下ノ每週市ニ於テ販賣スルヲ許可スルノ權アリ

第六十七條 歲市ニ於テハ第六十六條ニ載セタルモノ、外各種ノ消耗品及製造物ヲ販賣スルヲ得

然レモ市場ニ於テ飲用スルカ爲メニ醋酐性飲料ヲ販賣スルハ地方警察署ノ許可ヲ經ルヲ要ス

第六十八條 市場營業者ハ何等ノ場合ト雖モ地面店小屋及器具等ノ貸渡賃ノ外別ニ課税スルヲ得ス右等ノ貸渡賃ニ關スル規則ハ本法律ノ爲ニ變更スルヲナシ土地ノ者ト他郷ノ者トノ間ニ貸渡賃ノ差ヲ設クルヲ得ス

第六十九條 第六十五條乃至第六十八條ノ規則ニ關シ地方警察署ハ町村廳ノ同意ヲ得テ其土地ノ需要ニ應シ市場規則ヲ制定スヘシ

第七十條 特別ナル機會ニ際シ或ハ一定ノ物品ニ限リテ開設スル市場ハ各其從前ノ規則ニ從フヘシ

此ノ如キ市場ヲ擴張スルハ町村廳ノ同意ヲ得テ所轄官署ヨリ之ヲ命スヘシ

第七十一條 祭市其他ノ市場ニ持來リテ賣レ殘リタル物品ヲ販賣スルノ制限ハ本法律ヲ以テ廢止ス然レモ此等ノ物品ヲ市場外ニテ販賣スルニハ市場ニ持來ラサル普通ノ物品ヲ販賣スル規則ニ從ハサルヘカラス

第五章 定價

第七十二條 次ノ條款ニ於テ特別ナル規則ヲ設ケサルモノハ將來警察的ノ定價ヲ設ケス現ニ其定價アルモノハ其土地ノ警察署ニ於テ定ムヘキ永クモ一ケ年ノ期限ノ後之ヲ廢止スヘシ

第七十三條 麵粉製造人及麵粉類販賣商ハ地方警察署ノ命令ニ由リ種々ノ麵粉類ノ一定期日內ノ代價及重量ヲ記載シタル看板ヲ賣場ニ掲ケテ公衆ニ示スヘシ

此ノ如キ看板ハ無料ニテ警察署ノ證印ヲ請ケ賣買時間中日々之ヲ揭示シ置クヘシ

第七十四條 麵粉製造人及販賣人カ其賣場ニ揭示シタル代價ニアラサレハ販賣スルヲ得サル麵粉類ヲ販賣スル場所ニハ地方警察署ヨリ麵粉製造人及販賣人ニ命シテ權衡及法馬ヲ備ヘ置キ販賣シタル麵粉類ノ再秤ニ供セシムルヲ得

第七十五條 旅宿營業者ハ其宿泊料表ヲ地方警察署ニ届出且客室内ニ揭示スヘシ宿泊料ハ何時ニテモ増減スルヲ得ヘシト雖モ其増減ヲ警察署ニ届出且客室内ノ揭示ヲ改メサル間ハ従前ノ代價ニ據ルヘシ宿泊料ノ定價ヲ超過シタルニ對スル旅客ノ訴願ハ假リニ地方警察署ニ於テ裁判スヘシ且之レカ爲メ法庭ニ訴フルヲ得

第七十六條 地方警察署ハ町村應ト協議シテ道路街衢及旅館ニ在リテ人ノ使役ニ應スル者及馬車乗用馬輪輿小舟其他公衆ノ使用ニ供スル運漕用具ノ賃錢ヲ定ムルヲ得

第七十七條 地方警察署ハ又町村應ト協議シテ受持區ヲ有スル煙突掃除人ノ賃銀ヲ定ムルヲ得ヘシ若シ其受持區ニシテ二町村以上ニ亘レハ下等行政應ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 第三十六條ノ規則ニ從ヒ官署ニ誓ヲ立テ且任命セラレテ營業スル者ノ賃銀ハ本法律ノ爲メニ變更スルヲナシ第三十六條ニ載セタル官署ハ從來右等ノ營業者ノ賃銀ニ定價ナキ時ハ之ヲ設クルヲ得ヘシ

第七十九條 第七十三條乃至第七十八條ニ記載シタル營業者ハ確定セラレタル代價及賃銀ヲ減少スルノ權利アリ

第八十條 製造舖ノ定價ハ中央政府ヨリ之ヲ定ムヘシ然レモ同業協議ノ上此ノ價ヲ減少スルヲ得ル
免許醫等(第二十九條第一項)ノ療治料ハ交互ノ相談ニ任ス此ノ相談ノ調ハスシテ爭議ヲ生スル場合ノ準率トシテ中央政府ハ療治料ノ定價ヲ設クヘシ

第六章 同業組合

(壹) 在來ノ同業組合

第八十一條 總テ現時法律上成立スル處ノ營業者ノ組合同業組合ハ依然繼續スヘキモノトス其規程ハ本法律ノ規則或ハ第九十二條ノ決議ノ爲メニ變更セラレサル以上ハ其効力ヲ有スヘシ

第八十二條 各組合員ハ其組合ノ義務ヲ果シタル以上ハ何時ニテモ組合ヲ脱シ且其營業ヲ繼續スルヲ得ヘシ組合ヲ脱シタル者ハ其規程ニ明條ナキ以上ハ總テ組合ノ財産及組合ノ財産ヲ以テ全体或ハ一部分ヲ形成シタル貯蓄金ニ對スル請求權ヲ失却スルモノトス

第八十三條 左ノ人物ハ同業組合ニ加入セシムルヲ得ス

(一) 公權剝脱中ノ者

(二) 裁判所ノ命令ヲ以テ其財産ニ關スル權利ノ制限ヲ受ケ居ル者

第八十四條 何人ニテモ前記ノ規則(第八十三條)ニ觸レス且組合ノ規程ニ載セタル規約ヲ奉シタル以上ハ組合ニ加入スルヲ拒ムヘカラス
組合ニ加入スルニ試験ヲ經ルヲ要スル時ハ該職業普通ノ事務ヲ獨裁スル

伎倆ノ有無ヲ檢スヘシ試験問題及受験者ノ負擔スヘキ費額ハ組合ニ於テ之ヲ定ム

各職業ノ爲メニ特ニ命セラレタル試験局及従前試験ヲ托セラレタル委員會ノ試験證ハ該營業ニ關スル伎倆ヲ表スル充分ナル證據ト爲スヘシ
少ナクモ滿一ケ年以上實地該營業ニ従事スル者ニ對シテ右ノ試験ヲ行フヲ得ス

第八十五條 組合ニ加入スルノ際負擔スヘキ加入金ハ悉皆ノ組合委員同額タルヘシ

組合ノ加入金額拾五馬克以上ナレハ之ヲ增加スルニハ高等行政廳ノ許可ヲ經ヘシ拾五馬克以下ノ加入金ヲ増額シテ拾五馬克以上トナス時モ亦同シ一組合ニ加入スルモ敢テ他ノ組合ニ加入スヘカラサルヲナシ

第八十六條 組合員ノ決議ヲ以テ現ニ第八十三條第一項及第二項ノ關係ヲ有スル者ニハ投票權及組合内ノ榮譽權ノ執行ヲ停止スルヲ得

第八十七條 組合員ノ死後寡婦或ハ未丁年者ニ於テ代理人ヲ以テ該職業

ヲ營マシムル時ハ死者ノ權利義務ハ組合會議ノ投票權ヲ除クノ外寡婦若クハ未丁年者ニ屬ス

第八十八條 裁判所及裁判所外ノ組合ノ商議ハ頭取ニ於テ之ヲ代理ス頭取ハ町村廳ノ公證ヲ經テ任命セラル、モノトス頭取ノ代理權ハ法律上全權委任ヲ要スル事件及訴訟ニ及フモノトス
組合ノ外交事務ハ組合規程ヲ以テ頭取中ノ一名或ハ數名ニ委任スルヲ得ヘシ

第八十九條 不動産ノ買入賣却及使用其他一ケ年以上組合ノ不動産或ハ其取得ニ關係スル負債ノ契約ハ町村廳ノ許可ヲ得テ其効力ヲ有スルモノトス總テ組合ノ義務ヲ果シ且組合解散ノ場合ニ於テハ第九十四條ノ規則ニ從フヘキヲ保證スル以上ハ町村廳ニ於テ此ノ許可ヲ與フルヲ拒絶スルヲ得ス

第九十條 規程ニ明文ナキ以上ハ組合ノ取得金或ハ資産金ヲ組合員ニ分配スルヲ得ス又決シテ之ヲ其酒食ニ消費スルヲ得ス

第九十一條 組合員ノ負擔金及規程違反ノ廉ヲ以テ其罰則ニ照シテ命シタル料料金ヲ徴収スルニ行政ノ執行法ヲ用ユルヲハ以來廢止セシム

第九十二條 組合ノ規程ヲ改正スルコトハ豫メ議案ヲ記載シタル招狀ヲ發シテ投票權ヲ有スル總組合員ヲ召集シ會議ヲ開キ出席者ノ多數說ニ從ヒテ之ヲ決スヘシ而シテ組合ノ收得金若シクハ資産金ヲ組合員ニ分配スルヲ其他組合ノ財産ニ關スル決議ハ高等行政廳ノ許可ヲ得ルヲ要ス
組合ニ於テ其義務ヲ果シ且解散ノ場合ニ於テハ第九十四條ノ規則ニ從フヘキヲ保證スル以上ハ高等行政廳ニ於テ此ノ許可ヲ拒絶スルヲ得ス

第九十三條 組合ヲ解散スルニハ豫メ其趣ヲ投票權ヲ有スル總組合員ニ通知シテ會議ヲ開キ出席員ノ多數說ニ從フテ之ヲ決スヘシ此ノ決議ハ高等行政廳ノ許可ヲ經ルヲ要ス負債ノ消却及第九十四條ノ規則ヲ奉スヘキヲ保證スレハ此ノ許可ヲ得ヘシ

第九十四條 組合ヲ解散スレハ其財産ヲ以テ先ツ負擔ヲ消却シ其他ノ義務ヲ果サルヘカラス從來此ノ財産ノ全体若クハ一部分ヲ教育場其他公

其ノ目的ニ供シタル時ハ之ヲ負債消却ニ使用スルヲ得ス右等ノ財産ハ町村ニテ引受ケ其義務ヲモ負擔スヘシ

負債義務ヲ消却シタル後尙財産ノ殘額アレハ解散ノ際現在ノ組合員ハ其負擔額ヨリ生シタル部分ノ配當ノミヲ受クヘシ

右ノ如クシテ尙ホ殘額アルモ規定若クハ法律ニ明文ナキ時ハ組合ノ在リシ土地ノ町村ニ引渡シ之ヲ職業上ノ目的ニ使用セシムヘシ

右ノ規則ニ關シ町村ト組合トノ間ニ爭議ヲ生スレハ高等行政廳ニ於テ之ヲ裁判スヘシ高等行政廳ハ組合解散後該組合ト結合シタル救場救濟金庫

其他公共ノ目的ニ供スルモノニ集合体ノ權利ヲ與フルヲ得

第九十五條

町村應ハ組合ヲ監視シ組合員ノ加入除名頭取ノ撰舉及其權利義務ニ關スル爭議ヲ裁判ス此ノ裁判ニ對シテ不服アレハ高等行政廳ニ

控訴スルヲ得此ノ控訴ハ四週日以内ニ町村應ヲ經テ差出スヘシ

組合ノ規定ヲ變更シ或ハ組合ヲ解散スルヲニ關スル會議ノ席ニハ町村應

ヨリ役員或ハ委任ヲ派遣スヘシ然レモ他ノ議事ニハ參與スルヲ得町村應ニ於テ頭取ノ當撰ヲ認定スルノ規則ハ將來廢止セシム

第九十六條

法律或ハ組合ノ規定上組合事件ニ關シ町村應ヲシテ本法律ヲ以テ定ムルモノヨリ重キ權利ヲ有セシムル所ノ規則類ハ總テ廢止ス

(貳) 新設組合

第九十七條

獨立シテ一職業ヲ營ム者ハ協同職業上ノ利益ヲ謀ルカ爲メ

ニ新クニ組合ヲ設クルヲ得

新設組合ノ目的左ノ如シ

(一) 協同ノ精神ヲ養成シ組合員ノ名譽ヲ損傷セス且之ヲ増進セシムルヲ

(二) 棟梁ト職工トノ關係ヲ調理シ職工ノ宿泊所及業務ヲ保管スルヲ

(三) 徒弟ノ管理及其技術營業終身上ノ教育

(四) 組合員ト其徒弟トノ間ニ生シタル第三百二十條(イ)ニ關スル爭議ヲ町村應

第九十七條(イ) 第九十七條ニ記載シタルモノ、外組合ハ尙ホ其働キテ組合